大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年十月一日發行　昭和三年九月二十八日印刷納本

無產階級戰鬪雜誌

進め

第六年十月號　第十號

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎重版又重版！噫！幸德秋水の〇〇

解放群書（7）―本社編―四六判二百頁―定價壹圓送代拾錢（半額宣傳版あり）

新重版

幸德秋水文集

◎秋水の名文は世既に定評がある、豈茲に贅するを要せんや。

〔内容一般〕

■隨筆集……〇世田ケ谷の襤褸市〇東京の木賃宿〇歌牌の娛樂〇排流行論〇菜食の研究〇北遊漫錄〇ダアヰンとマルクス〇プレシコウスカヤ女史〇ジンミー・ヒンギンス〇止續「一年有半」〇「平民主義」〇「基督抹殺論」〇「海外より見たる社會問題」〇「帝國主義」〇「工業衛生學」〇神愁鬼哭〇婦人と政治〇秩序風俗の壞亂ラサールと吉田松陰〇痛快至極〇一片の耿々〇風氣蕭索たり…………

■漢詩集（目次略す）…………

■短言集（目次略す）…………

◆文豪秋水幸德の名文は世既に定評あり。後世評して敎科書中の敎科書、國民文學の精髓、萬人必携の大寶典と稱する又故あり。

「解放群書」「宣傳用書」及月刊誌「解放」發行所

解放社

東京芝區新櫻田町十九
振替東京三六九四四番

◎見よ！階級人士の發狂的熱プン！！！

進め案内

三行迄　一圓　申込本社廣告部

1. 社會新聞　山潜編輯
東京社會新聞　西川光二郎編輯
高價讓り受く

2. 二十世紀の怪物帝國主義　幸徳秋水著
破帝國主義論　山口孤劍著
右の書籍至急讓り受けたし

3. 讓りたし
幸徳秋水珍藏書英書（署名　署印あり）

4. 片山潜　西川光二郎著
右不要の方あれは高價にて買ひたし

5. 堺利彦編輯　明治三十九年發行
社會主義研究――お讓り下さい

6. 進め　創刊號より七號迄三十圓にて賣り
たし希望者は進め社本部迄申込まれたし

7. 雇れたし　二十五歲　大學卒業
思想雜誌　新聞社希望編輯の經驗もあり

8. 平民主義
至急讓り受けたし

9. レーニン著作集全卷
讓りたし

10. 國體論及び純正社會主義二十五圓にて至
急買ひたし進め社本部宛紹介乞ふ

11. 日本における社會運動家直筆執筆者に
よつて次の値段にて應ずる故照會あれ
短冊　一圓、三圓、五圓、
額　三圓、五圓、拾圓、
軸　五圓、拾圓、貳拾圓

12. 日刊平民新聞全號希望者に安價に提供社
會運動資料多數保存あり眞摯なる研究家
に保存願ひたし、日勞黨員

13. 週刊平民新聞全號
希望者は相談に應ず

14. 高尾平兵衛
寫眞と直筆買ひたし

15. 幸徳秋水署名入り寫眞高價にて求む
進め社九州支局開設門司市花山町通三丁
目柴尾與一郎、書[illegible]よりの注文にも應ず

日本勞農新聞を守れ

新聞基金の爲めに戰へ

日本勞農黨は眞に民衆の眞先に立つて戰ふ政黨である。
日勞新聞は無産階級の唯一の大砲であり唯一の機關銃だ！
この我等の唯一の巨砲は今や必死の戰を戰つてゐる！

新聞部員一同は、我等の巨砲の標準を正しくするために、紙面の改良のために努力してゐる。しかし經濟難！のために、この努力に沒頭し切ることが出來ぬのだ吾々は更に以上に、新聞資金のために沒頭せねばならぬのだ！

吾等の巨砲を抹殺しにしていゝといふのか？吾々には言論機關がなしでいゝといふのか？そうではあるまい。言論的鬪爭に對し、從つて言論機關に對して、正當なる價値評價をなし得ざる者は回復し難ひ誤つた指導者であり、輝く理想に突進する新興無産大衆ではない。

諸君はきつと思ひ異いたしてゐるのだ！「何とか本部が工面するだらう」と。いけない！黨は諸君のものだ！新聞も諸君のものだ。皆が協力せずして、さうして花が咲くものか。また五萬圓募集などと稱してゐる此の基金募集と一所にしてはいけない。あれは金があつて、その出口の口實を作るための手段としての募集だ。吾々のは、集る金でやつて行かねばならぬのだ！

新聞の經營は、紙代と廣告代と寄附だ。新聞を維持し、更に擴大するためにはこの寄附基金が大にあらねば不可能だ！諸君の貧しいのは承知だ。お互の通りである。しかしこの貧苦の中に、なほ階級の大義のために戰ふのが、新興プロレタリアートの義務であり、光榮の權利ではないか！

無産階級は日勞新聞を守らねばならぬ。
十錢でも二十錢でも巨砲擁護の爲めに戰へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

第六年 第十號

十月號

卷頭言……既成政黨の內訌……（五）
勞働組合の戰線は如何にして統一さるべきか……望月源治（一〇）
戰線統一と組合會議……岩崎正三郎（一四）
戰線統一に關する一斷想……上條愛一（一六）

時評
反動陣營と再組織……佐々木敬三（四四）
夢醒めた和製赤色戰士同盟……羽田光雄（四七）
矛盾せる平和主義……清水寛一（四九）

青年運動再建の急務……南三平（一九）
階級戰線を攪亂する者は誰ぞ……吉田源藏（二四）
進め讀者はこうして戰ふのだ……伊倉繁郎（六）

資料
富山電燈争議と聲明書……（三四）
東京市會醜悪史……（三四）
市政革新無產者同盟の聲明書……（六三）
時事日誌……（五一）

勞農政黨と合同問題……上杉定義（五二）
幣原外交の正体……佐々木敬三（二七）

全土戰報

朝鮮旱魃災民を救へ……朝鮮××支部
西の宮市朝鮮村立退問題と朝陽同志會の活動……進め、神戸支部
佐賀縣同志諸志に訴ふ……佐賀、有明呑洋
三不良團體及び不良分子排撃聲明書……全國水平社本部
電化の同志勝つ……進め、難波支局
日本勞農政治經濟研究會に參加せよ……進め關西通信局
（一八）

搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係……加藤利藏（六六）

講座
無產政黨とは何ぞや……稲田狂二（五六）

創作と特別讀物
憎まれ者……吉田金重（七三）
嵐を衝いて……土佐和芳（七七）
理想郷を造らんとして支那革命に從ふ……福田狂二（八一）
社會主義運動思出話……岡野辰之介（八八）

進め社だより……（六四）
編輯ノート……（九二）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民勞働社出版取次書目

■一般啓蒙

一、プロレタリアの使命（住谷）一〇
一、無產青年に與ふ（辻井）一〇
一、社會主義大意（堺）一〇
一、無產青年運動（高橋）一五
一、青年に與ふ（レーニン）四〇
一、勞働者の明日（野田）一〇
一、失業と階級意識（林）一五
一、唯物史觀解說（河上）一〇
一、資本主義のからくり（山川）三〇
一、社會主義學說大要（堺）三〇
一、社會主義と進化論（パンネコック）一五
一、社會進化の過程（ハインドマン）一五
一、人一生の經濟學（河野）一〇
一、プロレタリア經濟學（田所）七〇
一、無產者經濟學（プレブス）八〇

■勞働運動

一、勞働組合の基礎智識（松澤）一五
一、勞働運動と理論鬪爭（荒畑）一〇
一、國際組合運動の統一（ロソウスキー）三〇
一、組合の國際統一運動（荒畑）一〇
一、前衛と勞働組合（ロソウスキー）七〇
一、メーデー　一〇
一、婦人と勞働組合（野坂）一〇

■農民運動

一、百姓は何故貧乏するか（行政）一〇
一、町村政の話（吉田）一〇
一、爭議調停法の話（小岩井）一〇

一、農村振興策批判（杉山）一〇
一、獨佛の農民運動（エンゲルス）二〇
一、解放戰線に於ける農民の地位　二〇
一、農民組合の理論と實際（杉山）一〇〇
一、小作爭議の實際（杉山）一〇〇
一、農民組合論（莊原）一〇〇
一、世界の農民運動（大西）一〇〇
一、農業と社會主義（平野）一〇〇
一、立入禁止と如何に戰ふか（泉）二五

■政治運動、社會主義

一、無產政黨の戰術（上條）一〇〇
一、無產階級の政黨（山川）一五
一、何から初むべきか（レーニン）二〇
一、史的唯物論（ブハーリン）一〇〇
一、辨證法的唯物論大要（ブハーリン）三〇
一、史的唯物論について（エンゲルス）三〇
一、何をなす可きか（レーニン）一〇〇
一、前衛當面の任務（ロソースキー）二〇
一、日本無產階級運動批判（猪俣）一〇
一、私は此ふ考へる（山川）二〇
一、或同志への書翰（山川）一五
一、左翼小兒病（レーニン、堺）三〇
一、無產者政治必携（產勞）一〇〇
一、無產者法律必携（產勞）一〇〇
一、十一月七日（堺）二〇
一、パリーコンミユン（堺）二〇
一、ゴタ綱領批判（マルクス）二〇
一、支那革命の理論的考察　四〇
一、レーニンと消費組合　一〇
一、健康保險法のからくり　一〇

一、共產制より資本制へ（ハインドマン）二〇
一、辨證法的唯物論（堺）一〇
一、暴法と如何に戰ふか　二五
一、組織問題（レーニン）一五〇
一、資本主義の安定より危機へ（スターリン）一〇〇

■その他

一、マルクス傳　二〇
一、レーニン（ロソースキー）三〇
一、レーニンの生涯と學說（ジノビエフ）一〇〇
一、婦人問題の本質（堺）一〇
一、新ロシアの婦人（近藤）一〇
一、勞働辭典（勞研）五〇
一、社會運動辭典（田所）二〇〇
一、ロザの手紙（堺）一〇
一、社會講談數種　各一〇
一、勞働讀本（山名）一〇〇

右書籍は單に十月十五日現在の在庫品の一部に過ぎない。本社取次部はいやしくも無產者運動に關するものであつたら、如何なる大部の書籍でもパンフレツトでも新刊舊刊を問はず取次する。注文者は但し、明瞭に發行所著者定價を記して申込みありたい。送料はパンフレツトを除き一圓まで五錢、一圓を増す每に五錢宛注文者側で負擔のこと。

◆注文は振替にて前金のこと
◆送料は本書目記載のものに限り不要

東京・芝・二本榎西町二
振替東京七六二七〇番

農民勞働社

既成政黨の内訌

床次の脫黨に次いで、小寺、田中一派亦一新會に據り、民政黨の内紛は今や收拾の術なきにまで至らんとしてゐる

このブルヂョア政黨の離合集散の意義を日本プロレタリアートは、いかに看取し、いかに問題とすべきであるか單に既成政黨の内紛をブルヂョア階級の内に起つた一波動として我々は看過すべきであらうか。

勿論このブルヂョア政黨分解の裏面には利權、政權の爭奪が中心とされてゐる事は自明であるが、それと同時に日本ブルヂョアジーは、所謂從來の議會主義の上に既成政黨的大政黨の對立を必要とせず、從つて實行權なき大政黨を支持し、その資金を貢ぐ余裕を失つた事を示す。この社會的必然性は現在小康を得てゐる政友會も、田中内閣の瓦解によつて分解作用を起す事は明かであり、かくして二大既成政黨の對立より、ブルヂョア政黨とプロレタリア政黨の對立への道を辿るのである。

ただ日本プロレタリアートの當面の問題としての民政黨の分裂は、一には田中反動内閣の存續を助長し、他面行詰れる日本ブルヂョアジーの現狀打開策としての帝國主義戰爭の危機を深める。見よ。床次、小寺一派の充ては田中政府の對支外交政策を支持してゐるではないか。

現下の帝國主義戰爭の危機は、一に支那外交政策の上に包藏せられてあり、田中政府の對支外交政策の硬化は、列國帝國主義の對立をしていよ〱深刻化せしめる。民政黨の分裂によつて日本プロレタリアートは、田中反動政府の基礎の強化と、日本ブルヂョアジーの走狗としての田中外交の硬化を看た。

これによつて日本プロレタリアートへの彈壓はます〱強烈を加へ、支那勞働大衆のプロレタリア××の完成をしていよ〱困難ならしむる。

こゝにおいて日本プロレタリアートの任務は愈々加重され、分裂の克服による勞働戰線の統一は當面の緊急事となつた。いざや全勞働者、農民は起つて合同に邁進せよ。而して田中反動内閣を打ち倒せ。

對支干涉絕對反對！　帝國主義戰爭の危機と戰へ！　全國非戰同盟を支持せよ！

（上杉）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め讀者はかうして闘ふのだ！

伊倉繁郎

「進め」の讀者は單に讀むだけの讀者であつては何もならない。讀者は讀者であると同時に行動者でなければならぬ。俺は「進め」を五年間一號も缺かさずに讀んでゐるぞ、と云ふだけならばこれ程くだらない名譽はないであらう。すべて我々の新聞雜誌はこれを通じ支配階級に對するところの鋭い武器でなければならぬ。一冊の雜誌が數人の同志をつくる機關となり、眞に無産者の方向を示し、之を闘爭に導き、資本家地主に鋭い鉾先を向けてこそ「進め」は彼等にとつて憎むべく呪ふべき惡魔の降誕である。

「進め」は我々の武器だ。そうだ、進めのあるところ、讀者のある所必ず闘爭の烽火が上がらねばならぬ。「進め」の讀者は常に階級的な立場から總ての民衆運動の先頭に立つてゐなければならぬ。工場に鑛山に農村に船上に、我らの兄弟の痛ましい血痕の滴るところ、我らの姉妹の酷使に泣く涙のにじむ所、「進め」讀者はそのたくましい巨腕にこれらの兄妹の手をしつかりと握つてゐなければならぬ。之が「進め」讀者に脊負はされた使命である。資本家の出現とともに勞動者は鐵鎖に縛され、「進め」の發刊とともに其の讀者は社會主義社會の建設てふ重大使命の實行を脊負はされてゐるのだ。

さて「進め」讀者はどういふ風にして此の重大使命を果さねばならないか。讀者諸君、わけて新しい經驗の少い讀者諸君の爲めに、私は其の闘爭方法の一端を書かう。それも茲では主として農村を中心として、勞働者諸君への言葉は別に稿を改めて書くことするが、一般に利用すべき所はたとへ一行なりと雖も容赦なく取上げて貰ひたい。

讀者倍加運動

一人で讀んでそつと自分の頭の中だけに丁度何か寶物みたいに藏つて置くと云ふ方法は無産階級のすることではない。それは資本主義のすることだ。我々の知識は無産階級全體の知識だ、そしてまた我々の運動は全無産階級の團結といふ大多數の兄弟との握手によつてのみ可能なのだ。だから「進め」の讀者諸君は自分で讀んで理解し得た知識はなるべく多數の兄弟の中に宣傳すべきである。また一人が一人の讀者をつくる考へで次から次へと新しい讀者を募集して行かねばならぬ。之をやらなくては絶對に運動は出來ないのだ。讀者倍加運動、之こそ實踐的運動の第一歩である。之もそうく容易なことではないだらうけれども、我が若き闘士は之等の如何なる困難な仕事と雖も、否困難な仕事こそ好んで

敢然と成し遂げなければ運動の運も出來はしないだらう。先づ此の初歩的な仕事を注意深く、根氣よく、勇敢にやつて始めて他の運動に進み得べき資格は與へられるのだ。

諸君は先づ自分の知つてる周圍にある人で最も望みのありそうなのから手をつければいい。あらゆる機會に無產階級の打ちのめされた姿をそして戰はねばならぬことを話しかけ或は「進め」を見せ、之について語り俺も讀まうと云ふ氣を起させろ。(餘り親くない人には先づ親しくなる爲めに運動のことなどには餘り觸れずに本人の氣に入りそうな話から始めて行くこと等よく注意すべきだ)當人が愈々讀むといふことになつたら、是非誌代をとつて之を本當の讀者にしなければならぬ。無代でやつては資金が續かぬといふばかりでなく、自分が金を拂つた讀者であるといふ氣持を起させることは雜誌を熱心に讀ませる第一條件を得るからだ。かうして一人々々根强くしらみつぶしに讀者を作り、また出來た讀者にも此の仕事をさせる樣にする。一方またポスター、ビラ等によつて「進め」の存在を知らしめ、未知の人からも讀者を得ることに努める。演說會其の他集會の場所等は見逃すべからざる好機である。またブック、デイ等もやるべきだ。たゞ之等の仕事には根氣が絕對に必要だと云ふことだ。一ぺんやつて見て失敗したからと云つてすぐ止めてしまふ樣なことではいけない。何べんも何べんも厚かましく働かねばならない。面の皮の無產階級的に厚くなることも其の間になされ、他の種々な經驗も一々自分のものとなつて行く譯だ。また警察や反動家の壓迫も勿論あるだらう。之については徹底的にやらねばならない。理由もないのに讀んではいけないといふ樣な巡査等があつたら、いやといふ程逆ねぢを喰はせてやるがいい。また發賣禁止になつたからと云つて一冊だけなら巡査なんかにとられる理由はない。禁止にならぬものでも發禁になつたからと云つて取上げることがあるから注意をしなければならない。それでもあくまで邪魔をしたら秘密的にやるより仕方がないだらう。

もう一つ注意すべきことは、之は一般的にだが、俺は社會主義者だといふ樣なひとりよがりな氣障な態度氣構へは絕對にやらないことだ。之は小兒病と小ブルのすることであつて我が讀者諸君は飽くまで實質的に本當に勞働者や農民になり切つてゐながら、しかも勇敢に階級的行動をとつて行かねばならない。

支局、座談會、讀書會、研究會

かうして一人々々讀者を集めると支局が出來る。そこで或數に達した(二三人でも)讀者が其の儘無方針に捨て置いてはならない。直に集めて一ケ月に二回とか三回とか決めて最初はほんの漫談會でもいい。會合が開くことだ。かうして集まつてゐる中にお互に同志愛といふ樣な一層深い親しみが出來、また語り合ふ話は否でも雜誌のこと、生活のこと、運動のことに觸れないではゐないだらう。そこで今度は此の會合を組織的にやつて行くことだ。お互によんで來た雜誌や書物の解らない所を研究し合ひ、または座長といふ樣なものを置いてお互に講義若くは問答し合ふ研究

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會。讀書會、研究會、討論會をやる。此の際に我々の階級的知識がめきめきと高揚して行く。そして新しい出版物を更にどし〳〵讀んで行くといふことになり。實際の運動へ入つて行く階段となる。勿論此の間に勞農組合、若しくは無産政黨の附近にあるところではどし〳〵其の中に入つてゐるだらう。全然未組織の處と雖も之等の會合は必然に會合自體意識を高め、更に讀者倍加運動、同志糾合の上に大きな力となり組織的、計畫的に進行して行くはずだ。

此處に注意すべきことは、かやうにして一度得た讀者や小グループの人員は絶對に離さないことだ。喰ひついたら底の底まで喰ひ下がつて行くことだ。之にも努力と腕とは要る其の爲めには運動に對する若干の興味を起さしめ最後まで戰はふといふ熱情を煽り、自分達は戰はなくして生きられないのだといふ意識を戰ひとらすべきは勿論だが、それがためには、先づ一人々々に仕事と任務とを與へることだ。よく各人の個性や職業の具合や、才能等を考へた上で最初はほんの、それこそそれでも爲になるのかと思はれる程度からでもさせる。たとへば集會の時の集合掛や記錄掛だとか、産業や町村政あたりの調査だとか、時に新しい讀者の勸誘や座談會への勸誘等に働かせることだ。更にくわしく言へば誰と誰とをどういふ具合にと示す方がいい。

かうして行くことによつて各人は最後には離れ難いものとなつて來る。

集會はあらゆる機會を利用してなるべく多くやらねばならない。我々に關係のない集會をも我々の爲めに利用することは忘れてはならない。青年團の集まりだとか、村の催し物のある時だとか、大勢出合つて仕事をする時だとかは絶好の機會だ。またそれ等の後を利用するのもいい。

實際運動へ

研究會や座談會等のグループも其の儘で發展しなければ藝にもならぬ。此の讀書によつて集會によつて得たところの知識は實際に生きて來なければならない。それは一般大衆と共に其の階級的利害の爲めに戰つてこそ始めて生きて來るのだ。即ち大衆をして階級的日常闘爭に參加せしめ、之を指導するのだ。

勿論組織された組合なり黨なりの闘爭團體のある處では之等の内部に入つてゐなければならない。組織内に於ける左翼分子の運動方法は改めて別に書くとしやう。

全然未組織地に在つて如何にして大衆を闘爭に組織すべきか。「進め」讀者諸君は如何にして反動的青年團、青年訓練所、在郷軍人會と戰ひ、資本家、地主、農會、町村會、支配階級と抗爭し、組合支部、黨支部を組織して備ふべきか。之れこそ實際運動への第一歩として決定的な重大問題である。ただ之を細密に書く紙面は許されないから、公式的に、誰にも解るやうに一般的なものだけを書くことに止めて置く。如何なるものも其の存在の條件なくして存在はない。如何なる運動も運動が起り得る、なし得る、といふ地盤や空氣がなくて起り得るものではない。すべて闘爭の條件が與つてこそ闘爭が生れるのだ。だが讀者諸君、案じ給ふな。幸にして今時の世の中、資本主義社會では、搾るものと搾られ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るもの、支配される者と支配する者との存在する階級性なき社會はないだらう。（ソビエットロシヤを除いては）我等の在る處すべて我等の戰鬪舞臺だ。火藥は放置されてあるのだ。我等は之れに導火線を結び點火すればいいのだ。何時、何處で、問題は之によつて決定せられる。

およそ「大衆は今何を要求してゐるか」を見ることはあらゆる運動の先決的條件である。之を見ることによつて投ずる石と場所と時期と其の波紋が測定せらるる譯だ。日に日にいぢめられ酷使せられ、上から抑へつけられ、飢に泣きつつある民衆は今何を一番欲しがつてゐるかを見ることだ。特別高い借家賃に苦しめられてゐる者は廉い借家を只の借家を欲しがつてゐるし、高い小作料の其の上に作の惡い時には小作人は小作料の減免を望んでゐるし、地主村會が出鱈目な税金を取立てたら税金のやすくなることを願つてゐるのだ。

大衆が何を一番求め、或は何について一番不平を抱いてゐるかを見定めたならば今度はその潮時を見ることだ。何時が一番其の氣持が高まつてゐるかを知るのだ。

之を見定めたならば兼ねて準備して置いたものを與へればいい譯だ。即ち點火するのだ。大衆は立ち處に動くだらう。大衆をして鬪爭に參加させることも、そして團體を組織することも此の秋こそ急速に或時は飛躍的に成立さすことが出來る。

勿論周圍の情勢から、運動の擴大性や相互の力の關係も充分に考へ、またそれまでの潛行的準備運動を怠つてゐたならば、鬪爭は一片の煽動と後の續かない花火線香に終るから之を念頭に置いてかからねばならない。小兒病運動家はよく此の弊をふんで來た。だが我々の運動は實に困難な連續的な仕事、日常鬪爭を××の其の日まで押し切つて行かなければならないのだ。根氣よく——

では次に具體的な運動方法の二三を述べるとしやう。

（村民大會、各種代表者會議、署名運動、示威運動、黨支部の組織、組合の組織、爭議の展開方針、選擧運動、其の他村政、農會、反動的團體との鬪爭方法、農村青年、婦人の運動方法等は次號に書かせて貰はふ。今月はとても書く暇を見出せない）

大阪勞働學校取次圖書目錄

各一部十錢　送料二錢

一錢銅貨物語り	阪本勝
勞働問題早はかり	村島歸之
勞働者の明日	野田律太
タンクの水	山川均
プロレタリアの使命	佐谷悅治
一休自來也	堺利彥
勞働組合早はかり	中川重吉
婦人ゝ勞働組合	野阪龍子
政治運動の一教料	東天紅
町村制の話	吉田賢一
社會主義大意	堺利彥
社會主義の婦人觀	山川均
人一生の經濟學	河野密
唯物史觀の略解	河上肇
小作調停法の話	小岩井淨

大阪市此花區吉野町一丁目三十六番地
大阪勞働學校出版部
振替大阪七四三三六

勞働組合の戰線は如何に統一さるべきか

望月源治

一

勞働組合の戰線統一運動は勞働大衆多年の要望である。此の運動は既に大正十一年九月三十日大阪會議以來續けられてゐるのであるが不幸にして具體的成果は擧げられない。

日本勞働組合總聯合では昭和三年六月十五日、同會大會の決議に基き、全國勞働組合會議の提唱をなすに至つた。蓋し勞働組合戰線の統一は個々の勞働者にしても、各勞働組合にしても之が必要なることの理窟は知りぬいてゐる今日、更に勞働組合に對する最近に於ける資本の攻勢と取締官憲の壓迫と懷柔の分割的支配は、依り強固なる階級的結成を刺激し、各團體共に此の形勢に適合すべく努力を拂ひつつある際とて、同會議提唱は各方面の注目の標目となつた。

二

同會議提唱案が今日に於ける公然の所謂「戰線統一」の唯一のものである。勿論統一又は合同の必要に切迫せる今日の諸狀勢下にありては、他に各々統一に對する理想的腹案の存することは論ずる迄もない。

組合總聯合提唱の全國組合會議の協議會は、七月十五日東京本所公會堂にて開催され、曲りなりにも全國勞働組合會議第一回準備會として成立された。

第一回準備會は、同會議成立條件として、「政黨的、思想的立場を離れて、全國勞働組合戰線統一をはかる事」の決定を見た。之は

體が考へても一應問題となるべき重大な難關に相違ない。其他三四の討議をなしたるも本質的には無討議であつたと言ふべきである。それは同提唱團體が豫め具體案を明示せざるにもよるが、當日の出席團體の不充分なること、組合會議其のものに就ての概念のまち〱であつたことにも存する。

第一回準備會はか樣な譯で、準備會としては不成績であつたと謂ふの外はない。

三

第二回準備會は、八月十九日大阪中之島公會堂に開かれた。出席團體は、大阪勞働組合會議參加團體（總同盟、官業は同會議に參加してゐない）と第一回準備會出席の關東の主なる諸團體であつて、從つて依然充分なる出席團體の顏觸を會するわけにはゆかなかつた。

第二回準備會の主なる協議事項は、當日即時會議成立の可否の討議であつたが、結果は、準備會續行と決定された。此の決定は、一部の團體には、多大なる失望を與へたるが如く感ぜられたが、それは期待する人々の空疎なる希望に對してであつて、寧ろ當然の結果と言ふべきである。何故かなれば、參加團體の不充分殊に總同盟、海軍聯盟、官業總同盟、東京市電現業員同盟等の各團體の不參加は、成立さるべき會議の社會的印象上、徒らに左翼結成又は左翼の足たまりを造る云々の標目となるのみならず然も成立さるべき會議が當分極めてゆるやかな組織形態と緩まんなる運動しかなされないのであるから、個々の勞働組合としての生存的立場からは、敢て自らを不利の地位に置くことになる。かゝる事情即ち大義名的分觀念に對する實質本位的な考へ方は、數年前と異なり今日では、相當なる自信の下に判斷さるる樣になつてゐるが故に、全體參加を第一條件にして成立すべき筈と思はれた同會議の內容としては根本的な致命傷と言ふべきである。故にかゝる缺陷の補點は準備會としてなすべきが當然の義務である。他に諸他の理由存するも右の一點よく即時結成不可能を示して餘りある。

かくて第二回準備會は、組合會議の大體の組織と輪かくを示し、運動方針の一端が明かとなつて、未參加團體勸誘の途を講じて終了した。

四

全國勞働組合會議が成立するか否やは、未だに大きな疑問である。第一は、前記未參加の主なる團體が容易に參加せらるるや否やであり、第二に參加されないことが判然とされた後に現在準備會に參加しつつある團體中、此の缺點をそのまゝに果して思ひ切つて、結成に贊成するや否やである。然も第二の決斷には、同會議そのものが相當強大なる力を具有するに至らざれば思ひ切つて結成することは出來ないであらうし、さ樣にすることは、各團體の獨自の組織と運動に或程度の拘束の及ぼすことが考へられるので、至つて困難と見なければならない。準備會の實行委員會は、極力未參加團體の參加

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勤務に努めるであらうし、又第二の方法に就ても充分な協議を進めるであらうが、かくて全國組合合議結成の熱望は決して樂觀を許さないし、却て困難さが見透かさる。

五

以上大體の今日眼前の統一問題を表面的に觀察したのであるが、戰線統一に對する實際的具體的解決方策としては他に之を論ずべき點多々あると思ふ。

× ×

分散的勞働組合の發展と勞働組合自體としての充實發展に確乎たる主張と理想とを有せざる我國勞働組合運動の行くべき途は、決して單なる名分と努力とにて平坦なる丘に到達し得るわけには行かない。勞働組合の實際は、一人の思想家が自己のテーブルでまとめ上げた一個の思念を、他の新なる條件の出現のために、又は自己の思念の誤りのために書きかへらるべき程容易な仕事ではない。組合員を有し、其の利害のために活動し、かつて明示した一定の方針で運動して來たのであるし、從つて、それ相當の歷史と根據とを有してゐる。分散的發展の下に成育さるべき我が勞働組合はあたかも、資本主義社會に於ける工場經營とか、一般的經營とかに相當するのであるから、自己の團體の基礎を守り發展を期するためには、他團體と對立もすれば競爭もする。かゝるが故に莫然たる戰線の統一と言ふ場合には、單に名分のために統一に贊成の意を表する場合と、自己團體が覇權を握らんと意圖する場合と、群少團體が單に自己の立場を失はずして、然も有利な立場に立つことを欲する場合等との内容が層をなして現はれる。然しながら分散的發達の我國の現狀にありては、前記の如き「自己の團體の基礎を守り發展を期するためには他團體と對立もすれば競爭もする」ことの止むを得ざる現實の事實がより進展する以外には本質的な解決案は生れ得ないのである。

今日の戰線統一の機運は、機運としては正しいし、大衆の要求としては將に要請さるべきものである。が決定的條件の備はらざる間は一見、大衆の要望を裏切るが如く見えたり、一部團體の利己心の妨害の如く現れたりする。階級意識とか階級的理論とか言ふても、それが空中の產物でない限り、此の苦き現實の具體的存在を超越して勞働大衆を當然の途に進ましむることは出來ない。世論往々にして單なる抽象理論を以て團體の動きを批評したり、傷け罵倒したりするの弊風が多かつたが、今や勞働組合運動も日毎に、其の理論的根據を現實の具體的事實に置き以て其の矛盾の解決に總ての努力を拂ふべき時代に到達し得た。

六

我々は勞働組合の戰線統一の標目に對し次の如く其の根本的解決案を提出するものである。

A

(一) 鬪爭上の力を有し統制上の組織を具有する強固なる組合 (職

合體に非ず）を造ること

（二）其のために必要なる時間の與へらるべきこと

（三）産業別的勞働組合の漸次的完成をなしとげること

（四）現在の數十の全國的團體の組織機關を漸次的に減少するに努めること

B

（一）勞働立法の如き共通的闘爭目標のための共同機關を造り、從來の問題を分散化したことを收め、勞働大衆の全般的標目を合一化し中心的運動の必要性を勞働大衆に知悉せしむること

（二）從來の如き極左翼の分裂的、獨裁的、空想的、獨善的運動に徹底的批判を加へること

（以上二項目は、組合會議が成立すれば當面の任務となるべきもの）

七

右の根本策には、具體的に說明を要する個所が多分に存するが後日にゆずるとして、最後に、現下の問題たる組合會議準備に對し更に一言をつけ加へる。

我々は、或大きな然も全般的に關係のある問題を提起する場合は愼重なる態度と、充分なる注意と周到なる要意が必要とすべきであると信ずる。何かしら新しい提議をなして所謂、空氣で成立せしめようとしたり、押しででつちあげようとしたり、する態度は、單に要意が足りなかつただけでは濟まないのであつて、此の失敗は既に過去に於て多く經驗した所である。

此の意味に於て、今度の會議提唱に、提起に際して、大團體間の了解の缺除が多分にわざわいされてゐる。統一運動をかゝる形式で形成せんとするならば此の點は一層の注意を要することを御互に自省したい。今後同會議の成立に對しては、前記の困難があるのであるが萬全の努力を拂つて行くことに意見の一致を見なければならないしつまらぬむりは餘程の決心と確信とがなければはせないに限ると言ふことに留意すべきである。

× ×

勞働組合は明かに一個の團體的經營である。鬪爭も意識も其の強固なる經濟基礎の土臺の上にのみ育くまれる。一時的感激は勞働組合團體の發展からは大なる禁物である。階級鬪爭に於ける車輛としての勞働組合の組織は不斷の發展以外に効を得ることは出來ないものである。一足飛びを許されない我等の仕事は、堅々として、大勞働組合の完成に産業別勞働組合の完成に、之等の全國的、全體的統一の完成に努力する以外に眞の統一の途なきことを再論して止まない。大きな資本の攻勢の前には、我等が正義の叫びが、ここのみごとに粉碎され、蹂躙されてゐることは、何を敎へるのか。

（昭和三年八月二十八日記）

戰線統一と組合會議

岩崎正三郎

一

八月十九日大阪中央公會堂で開催された全國勞働組合會議第二回準備會は期待に反し會議の成立を次回に延期した。

一日も早く、一つでも多くの無産團體が全國的統一の目標の下に連絡、協同を强めんとすることは誠に願はしき限りであるが各無産團體の全國的統一に達するまでには幾多の迂余曲折があることはまぬがれないところだ。

二

我等は全國組合會議の速かなる成立を希ふまた全無産團體の全國的統一の日の近からんことを願つて止まない。然し、それは斷じて組雜な社會民主々義的統一に就てではない。すべての運動はあくまでも現段階に於て最も熾烈に戰ひ抜かねばならない必然性の下にある全面的政治闘争を大膽に戰はんがための目的を以てなされねばならない。そして今日眞に力ある全面的闘爭を敢行せんとすれば、それは眞の大衆的協同戰線黨の確立が必須的前提條件である。而もこの必須的條件は各勞働組合の統一によつてのみ階級的基礎が置かるるのであるから組合會議の完成乃至組合の統一は今日プロレタリヤが第一に要求してゐる階級的大衆黨の確立と決して分離して考へ得られない。

三

階級的大衆黨は日常闘爭の機關たると同時に必然にそれは全無産團體統一の任務を負はされてゐるものである。大衆的協同戰線黨が縱に種々の階級層を抱含すべきは勿論であるが、その礎石は勞農諸團體の廣汎なる横斷的統一の上に置かなければ大衆的政黨として完全なものではない。この意味に於て今日の勞働組合會議の成立は大衆的政黨の確立といふ目標を外にしては考へられないのだ。換言すれは眞實の大衆的政黨の確立は諸勞農組合の統一的基礎の上に立つてのみ可能なのである。茲に於て組合會議の成立と大衆的政黨の確立との間の辨證法的關係が見出だされるのである。

四

所謂極左或はその追随者は一齊に組合會議の即時成立を要求したるに對し、所謂中間派と俗稱されてゐる組合同盟、總聯合等は右翼諸團體の參加を極力努力せざるべからざるを說いて延期說を主張し、ともかくも會議の成立は次回に延期された。極左及び追随派の會議を成立せしめて然る後に改めて總同盟其他に參加を勧誘せよといふことは一應尤もにきこえるが、それは右翼をして益々右翼のみの聯盟を企圖せしめ右翼の固定化を强める結果

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を誘引しないたらうか。右翼は從來左翼の戰術の間隙につけこんで自家安泰の策に汲々としてゐるのであるから眞に階級的立場に立つて右翼の固定化と戰はんとするものは寧ろ此隙間の拔けたと思はれるほどに、その一歩々々に注意し從來の失敗を取返すべく愼重に行動せねばならない。我等は今、組合會議を長く未完成のまゝにをくことの危險性を知つてゐるがそれ以上に意識的右翼に策動の機會を與へることを恐れる。

日本資本主義は右翼によき温床を與へる客觀的條件を有しないとはいひ、極左の分裂政策と資本家共の右翼擁護とによつて我が國に於ける右翼は不當の優勢を續けて來た。右翼幹部は資本家政府のために、卑劣な小ブル心理を以て常に左翼排擊の口實を鵜の目鷹の目で探して自家勢力の維持に努めてゐるのだ。

然るに從來の極左的戰術は餘りにも屢々右翼に對して失敗を繰返して來た。眞の階級的立場を守るものは最早、右翼に一分のスキを與へてもならない。而もそれは從來の極左戰術では斷じて不可能なる分野に屬する。

五

我等は總同盟が不參加なら組合會議を永久に延期しやうとする事大主義には絕對に反對するが、また行詰れる運動を糊塗せんとする性急な行爲が百年の大計を誤らしむる如きを憂ふものだ。總同盟を中心とした東洋勞働者會議の開催とかアルベル、トーマの來朝を機とする右翼聯盟の策謀とか、虎視眈々としてゐる右翼の策士共に乘ぜられることは足並の亂れてゐる今日の左翼にとつては致命的打擊である。右翼が固定して、左翼が孤立する、これこそ大衆的政黨確立にとつて最も根本的な失敗である。大衆的政黨樹立の可否は實にこの點に於て決するとさへも思はれる。

かゝる危險性を內在するこの種の間、組合會議が準備會として流動性のまゝに存在し右翼の策謀に對して彈力性ある對策を講じ得る可能性を保持してをくことは右翼の策動に對するかなりの牽制となるであらう。

六

右翼の固定化を防止することは大衆的無產政黨を確立するために絕對の必要條件である否、大衆的政黨は右翼固定化を防止することに一つの重大なる任務を持つ。

我が國の今日の段階に於て、大衆的政黨の一應の確立は解放戰の當然の第一步である。大衆的防波堤なくして、武裝堅固な、死に物狂ひの日本帝國主義と如何にして戰ひ得るか武裝をして完全な武裝たらしめるには大衆的壓力以外には策なきを思ふ。而も勞農戰線の統一なくして大衆的壓力は常にカケ聲のみである。カケ聲は聞きあきた。眞の壓力を蓄へるために臥薪嘗膽することだ。

石山實吉著
日勞パンフレット第一輯
惡稅撤廢の叫び
一部十錢　本社取次

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰線統一に關する一斷想

上條愛一

○

△「どうか其の後は、相變らず貧乏にして暇ありといふやつか。其れはさうと秋の大會の季節に入つて、一入社會運動の戰線統一問題がやかましくなつて來た樣だが、どう進展して行くか、

△「さうさ、無產黨の合同問題も今までは單なる掛聲の時代だつたからね、ほんとに切らうといふ眞劍味がないのに、矢鱈聲はかり大きくして空の掛け聲だけをかけてゐたのだ、然し此の頃どうやら戰線統一問題も具體的に眞面目になつて來た樣だね。犬たつてほんとに嚙みつく奴はやたらに吠ぬ。眞に合同をやらうといふのには堅明な聲や指令や合同協議會の提唱だけでは駄目だらう。

△「日勞黨はどうするのか。

△「どうするか？知らんが、又未だどうするといふ態度をはつきり決定しては居らんらしいがね、然し戰線統一の行き道は大凡定つてゐるではないか、今日の日本の社會運動の狀勢から云つて、今日直に右から左までを一まとめにする事は不可能だらう。さうすれば實際問題としては左から合同を始めてどこまで右の方を包容して行くかといふことが一つ。右から合同を始めてどこまで左の方を獲得して行くかといふ方法が一つ。さもなければ日勞黨は從來の樣な獨自の立場に立つて左右兩翼をどの程度までなぎ倒して行くかといふ問題と思ふがね、

△「勞働組合の最近の動きはどうかね、

△「資本の攻勢に對して勞働組合運動は受難の秋さ、どの組合だつて血みどろの戰ひさ、背水の陣をしいてどこまで自らの陣營を守つて將來の戰ひに備ふるかといふ問題だ。そして資本家と支配階級と正面衝突をやつてゐる勞働運動者の頭は、理論や理窟はどうでもよい。眞實の力を知り度い。勞働大衆の强大な組織と訓練といふことが眼目になつてゐる。其のためには今日の樣な四分五裂の味方の陣容ではどうにもならぬ。戰線の統一は熱望してゐる。然し日本の勞働組合運動は思想を中心にして陣營が混亂し過ぎてゐる。其の思想も日本の實際運動から生み出した根據のある力强い思想ではない多く外國からの輸入の思想ではないか。大正七八年歐洲戰後からの日本の勞働組合運動を回顧すると、朝にサンヂカリズムを迎へ、夕

にコムミニズムに走るといふめまぐるほしい轉廻であつた。そして結局空疎たる思想の御輿をかついで日本の勞働階級にヘトヘトに疲れ切つた。眞に得たるものは何ものかと言ふことになる。かち得たるものは味方の陣營の混亂と味方同士の對立鬪爭ではなかつたか。極論すればそういふ傾向がある、そして一通り思想の御輿かつぎも濟んだかと思ふと今度は無產政黨を中心にして對立鬪爭が始まつた然し思想を中心の對立鬪爭も無產政黨を中心にしての戰線の分裂も敢て無意義ではなかつたであらう。大觀すれば日本の勞働階級の一度は經驗しなければならぬ運命ではあつたであらう。然し長い間苦い經驗をなめ來つた今日の勞働運動者は自覺して來た、オイ兄弟！さうた。しつかり手を握り合つてやらうぜといふ率直な眞劍な意氣を持つてゐる。そこへ行くと智識階級運動者は弱い。大義名分や理論や思想に齷齪して居る。世評や人氣を苦にしてゐる。此の間も九州のＳ君がやつて來て憤慨して居たよ智識階級の書物や雜誌の原稿の材料になるために吾々は運動をやつてゐるのではない。マルクスがなんぢやエ、九州の山の炭坑の勞働者に聞いて見よ、マルクスは西洋菓子の名かと言ひ居る。吾々は十數年中央の諸君の指令や聲明書を忠實に守つて九州の一角で苦鬪して來た。其れは文字通り吾等の仲間は食ふや食はずの運動を繼續して來た。然るにいつまでも雜誌や新聞を賑はす輕薄な中央の諸君に追隨してやれるか、理論鬪爭が何た。鑛山王國のもとに默々としてやつつけられてゐる坑夫や勞働者は、大義名分や理論では腹がふくれぬのぢや。革命の飯事や机上の理論鬪爭は諸君に任せろ。是れから己れらは自分からの信ずる所に猛進するのぢやと云ふてゐた。是れも時節に覺醒した彼の極論であらうが一面の眞理は存してゐる。

此の間日本海員組合のＡ君が對外船の爭議の勝利解決後言ふてゐた吾々は今回の爭議をやるため七年間苦心し準備して來た。世間からは右翼たダラ幹た協調主義者たと惡罵されつつ七年の間隱忍して來ました。七年の苦心が今日や、報ひられたかと思ふと、私の心の中には人知れぬ喜びが湧いて來ますと述懷してゐた。私は彼の此の述懷が眞實かどうか知らんが、大資本家を向ふに廻してほんとに戰ふといふには此の決意は必要である。マルクス主義を戰ひ取れとか資本主義の崩壞とかが雜誌や書物の上で豪語するのは朝飯前たが、そんなことでは數十年に亘つて築きあげて來た現在の資本主義制度はビクともしないのた。結局は實力の問題ではないか。私は且て鐵工組合の支部の解散式に行つた。解散式後組合員が支部旗を抱いて泣いてゐる有樣を見て無理がないと思ふた。資本家の壓迫を忍んで一つの支部を作るといふことは容易なことではない。間違へは自分の首は飛ぶのた。支部の發會式をやるにも支部旗を作るにも、安い賃銀の中から絞り出さねばならぬ。ビラを作るにも會合に出る電車賃も輕い財布をはたいての事た。一つの支部を守るためには彼等は凡ゆる犧牲を拂つて人知れぬ辛酸を甞めつくして來たのた。然るに今爭議慘敗の結果其の支部の崩れ行くを思ふ時、無限の感慨を禁じ得ないのは當然である。此の熱意と感激がなければ組合は發達し

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ないのだ」

○

○「君、僕ばかりベラベラ喋るのぢやがね、日本の社會運動は今までは宣傳の時代だつたが、是れからは實戰の時代だ。一つの戰爭も、騎兵、歩兵、工兵、砲兵、輜重兵、航空隊、斥候、間者、電信隊樣々の兵隊が必要なのだ。民衆の中へなどと麗しいかけ聲をかけて社會運動の陣營へ飛び込んで來る近頃の若いマルキストや自稱コンミニストなどは、要するに生活に困らぬ學生あがりのダンテやチエツホの代りに流行に從つてマルクスやレーニンを讀んだといふ文學青年ではないか。戀愛の詩の代りに革命歌を歌ふにすぎぬ結局趣味の運動ではないか。たまに殊勝に組合運動に身を投じて來るかと思へは、組合の青年闘士に油を注いで自分は天晴れマルキストを氣取たいといふ罪のない連中が多いのだ。實際運動となると徒らに世評や人氣を苦にして、右翼だダラ幹だといふ空虚な攻撃が恐ろしい樣ぢや問題にならぬのだ。古い言葉だが自ら信ずる所は千万人といへども吾行かんといふ骨のある人物が必要なのだ。何でも左翼だマルキストだといはねば安心出來ぬ樣な人々は今後の實戰には役立たぬのではあるまいか。人各所信ありて今日左翼の陣營にも右翼の陣營にも其の所信に忠實な勇敢な眞劍な吾等の敬愛する多くの眞面目な闘士諸君が居る。どちらでもよい腹のすわつた眞劍な人々は無產階級運動に役立つて來る。唯世評や人氣を氣にしてふらつく人々は多く運動の邪魔になると思ふのだ。

△「大分君は今日に氣焰を擧げるではないか、

△「うん、實はさつき珍しい友人に逢つて飲みつけぬビールを一杯やつたのでね。ビール氣焰の氣味があるがね。然し人間は醉へは幾分正直になる、自分も智識階級の片われでゐて馬鹿に今日は智識階級の攻撃をやつた樣になつたがね、まあ是れは自分の弱點を拾ひあげた樣なものさ。今後も無產階級運動殊に無產政黨運動には智識階級の活躍すべき舞臺が多いと思ふがね、今日は惡口だけ言つてしまつたのだ。其れに話しが大分中心から外れてしまつたが、要するに戰線統一の問題も今までの樣な掛聲では駄目だと思ふのだ。新聞宣傳のために合同協議會を提唱したりインシエニチイブをとらんがために聲明書を出したつて何にもならぬのだ。やらうと思ふならばほんとに心をぶちまけて誠意を以て手を握るでなければ戰線統一などは空宣傳に終るのだ。

御互同志のことを政策的や腹に一物を藏して置いて、よし合同をやつて見た所がうまく行く譯がないではないか。大衆と大衆との結合なぞと大聲叱呼しながらコツソリ乘り取策を講ずるなぞは古い手だからね。其れはそうといい氣になつて喋べつたら腹が減つたがどうだ一つ飯でもオゴらぬか。

△「馬鹿を言へ、いい加減な氣焰をきかされた上、おごらされてたまるものか。

△「君も友達甲斐のない奴だなあ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

青年運動再建の急務

南　三　平

一

無產階級、戰線の一翼として、無產靑年運動は重大なる意義と役割を持つものであり、その獨自の任務を遂行す可く、獨立した鬪爭組織を確立することは、全無產階級の利害を代表して鬪ふ階級黨の指導の下に、一日と雖も等閑に附し能はざる問題でなければならぬたが我國に於ては、既に一般には、靑年運動の必然性は認められたとは云ひ、今尙、依然として強力なる鬪爭組織の實現を見ない。

既に本誌前號に於て同志上杉が、靑年同盟の再建を叫び、その一般的任務に就いて述べてゐる。たが、それの持つ必然性に於て把握せられたる靑年運動は、現在の狀勢に於て、いよ〳〵焦眉の急務として我々に課せられるに到つてゐる、國內、國際の逼迫せる諸情勢は、今こそ切實に、勞働人口の大半を占むる無產靑少年の大衆的鬪爭組織の必要を告げてゐる。

國際的、狀勢に於ては、如何なる平和條約をも一片の空文に化せしむるのであらう。世界帝國主義戰爭の危機が刻々迫りつゝある、即ち勢力の均を失し、動搖しつゝある帝國主義列國強間の關係は、國內に於ける階級對立の激化、支那無產階級の革命的勢力の擡頭サヴエツト聯邦の力強い進出等々の諸情勢の下に、いよ〳〵その對立を尖銳化するに到つた。しかも、最近に於けるサヴエツト聯邦の躍進は、帝國主義諸國間との對立を深化し日本帝國主義の支那出兵を端として、支那をめぐる世界の帝國主義諸國間の利害關係は異常なる緊張を現して來た。

此くて必然に展開さる可き世界戰爭は、市場の開拓や資本の投下地を獲得するための、侵略戰爭であると同時に、それは、ロシアプロレタリアの影響の下に各帝國主義諸國內に階級的使命の段階を步一步遂げつゝある世界プロレタリアと、更に、それ等の支持を背後に、打到帝國主義の戰ひのため苦鬪しつゝある支那被壓迫民衆の革命的勢力、及び凡ゆる植民地に於ける被壓迫民族の解放運動、そして、此の全鬪爭の先端に立つサヴエツト聯邦と列強に對立抗爭する點に於て、將しく國際的階級戰をも意味するものである。

靑年運動の持つ重大なる特殊的役割は、先づ反帝國主義の鬪爭で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。

茲に強力なる農村プロレタリアの大衆的組織が必要となる。

更に、産業合理化の名に於て世界的に開始されたる資本の猛襲は勞働時間の延長、賃銀の引下げ等によつて今や勞働階級を極度の窮迫に陷れてゐる。そして、青年勞働者に支拂はるゝ、成年勞働者と同量の勞働賃銀は、成年勞働者のそれに比して甚しく引下げられてゐる。經濟的條件に於て、此ゝる不等の賃銀を與へられ、政治的條件に於ては、凡ゆる政治的活動が禁壓せられ、青年は資本の完全なる奴隷としてのみ生くることを余儀なくされてゐる。

此かる現下の國際的國內的諸情勢は、その特質を指適するならば帝國主義列國の一切の活動の主方向が益々、世界再分割のための帝國主義戰爭の危機に向つて進行しつゝあることである。

軍隊の大部分を構成し、工場勞働者の三分の二を占むる我國青年プロレタリアの運動は、特に、こゝに重大なる意義を有つものである。

二

一般に青年運動の有つ役割は何であるかと云ふならば、それは云ふまでもなく青少年プロレタリア及び農村青年の政治的經濟的並に社會的利害のために鬪ふものであり、從つて階級運動の一翼として他の鬪爭機關との協力の下に行はるゝものであり、その特殊的な鬪爭目標を、我々は大體次の如く規定する。

第一に、戰爭反對、兵營の民衆化、兵士の政治的自由の獲得等を內容とする反軍國主義のための鬪爭

第二に、青年プロレタリアの問題として、見習徒弟制度の撤廢、賃銀の增額要求等の勞働條件のための經濟鬪爭

第三は、政治的活動を禁壓する一切の抑壓制度の改廢、選擧權、政治結社權の獲得

第四に、ブルジョア教育に對するプロレタリア教育のための鬪爭

然して、此等の鬪爭を通じて、廣汎なる青年を動員し訓練し、統合し、以て全階級のため鬪爭の戰線にまで進出合流せしめねばならぬ

たが、一般的には此く規定するとしても、當面先づ現在の具體的情勢に應じて現實的鬪爭目標が決定されねばならぬ。それは、先づ資本主義の現狀勢に於て、無產青年が現に與へられてゐる政治的經濟的諸條件と無產者運動內に於て占む可き地位の批判を前提とする。かゝる究明を俟つ時初めて、青年運動の持つ歷史的使命とそれの正當なる評價が認識される。

無產青年は來る可き世界戰爭のため、その侵略戰爭のため先づ第一に資本の犧牲として血祭りにあげらる可く、支配階級によつて絕大なる努力の下に凡ゆる組織的計畫施設によつて軍國主義的教化を受けてゐる。支配階級は青年層を肉彈として徵發するために、先づ青年をして軍國主義の完全なる奴隷たらしめねばならぬ。たから此くあらしむる爲には、青年をして、資本主義の一切の機構に對して目を覆はしめ、政治的活動への參加を禁壓し青年の凡ての獨自的活

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

動を拘束しなければならぬ。此のための支配階級の諸政策は最近に到つて漸く強大なる計畫となつて現れて來たるは今更あげる必要もなく明かである。

（參政權の拒否獨占せる教育機關の全活動による資本主義奴隷教育の普及官製青年團の全國的組織、青年訓練所修養團宗教文藝等々）

一方、全無産階級に襲ひかゝる帝國主義的抑壓は強烈になるに及んで勞働青年は、その勞働狀態に於て、成年勞働者以上の窮迫につき落される。云ふまでもなくかゝる賃銀の差異は、成年勞働者と青年勞働者とを分裂させて、搾取を高めんとする資本家の分割支配の現れであることは明かである。そして更に青年の多くは、徒弟制度に依つて、極度の搾取と隷屬を強いられてゐる。

かゝる狀態は、必然に我々の有たなければならぬ青年運動の當面の任務を決定し、此の青年獨自の特殊的要求のために鬪ふ獨立した組織を必要ならしめる。然しながら、青年特殊の要求と雖も、それは全無産階級の階級的要求の一部をなすものであり、從つて鬪爭方面もまた階級鬪爭の一翼として、正しきプロレタリア黨の指導の下に行はれねばならぬことは云ふまでもない。

青年運動が、獨立した組織を持たねばならぬ所以は、青年共通の特殊的事情に基く獨自の組織の鬪爭を通じてそこに初めて青年層を全階級的鬪爭にまで動員し合流せしめ得る強固なる鬪爭力が發揮され得るがためである。卽ち我々の待たねばならぬ青年同盟は、青年プロレタリアの些末なる端初的要求をも拾ひあげて此のために鬪ふ、廣大なる青年層を結集する大衆的組織でなければならぬ。

三

茲に今一應我々は數年前華々しく展開せられ、全日本無産青年同盟の名の下に、最近まで續けられて來た吾國の無産青年運動の經驗を顧みる必要がある。

田中反動内閣の手によつて行はれた三月十五日の彈壓は一瞬にして、此の青年同盟をも蹂躙し去つたことは既に衆知のことである。そして、此の青年同盟の再組織運動は、その後直ちに開始せられ、着々進められてゐる。

然し乍ら、我々は、若し、此の再組織運動が、解散されたる舊青年同盟の、そのまゝの復活であるならば、依然として、それの持つ指導精神の誤謬の故にそれを斥けねばならぬ。我々は本質的に決定的にそれを否とするのではなく、現在の狀勢の下に於て青年運動の持つ任務は、從つてそれの遂行のための鬪爭を行ふ組織の指導精神は、明かに、舊青年同盟のそれとは異なるものであるとなす點に於て、我々は新しく再建さる可き青年同盟の活動の基準を他に求める必要を感ずる。

舊青年同盟の犯した根本的誤謬は、嘗てはいちぢるしく活潑にその全國的に擴大せられたる活動が次第に衰退し、その勢力に於て全く少數意識分子の集團と化しつゝあつた、解散直前の狀態が何よりもこれを雄辯に物語つてゐる。勿論、此の數的減少は、反動化せる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支配階級の絶えざる壓迫によつて日常鬪爭を封ぜられるに歸つたのも一半の理由ではあるが、けれども我々はその本質的なる原因を指導方針の錯誤に基づくが故の活動の行詰りに認める。

舊青年同盟の指導者は、明かに、青年の凡ゆる不平と要求――それはほんに初歩的なる政治的經濟的社會的要求の片鱗――をも拾ひあげて、それのために鬪ひ、それを通じて行はる可き運動の基礎的方針に代ふるに、ひたすらに前衛的役割を青年同盟に課することを以て指導精神とした。即ち一方、廣大なる青年を抱擁する大衆的組織たらしむると共に此の大衆組織そのものを共産主義的鬪爭組織にまで押し進めることに力を注いたのである。だから此の二つの役割を同時に遂行せんとする或意味の二重團體主義に導かれたる活動は必然に、或る段階に來るや自體に內包する二方向の指導精神の矛盾に陷り遂に一定の限界に突き當つて終つた。此處に現實的破綻が暴露されたにも拘らず指導幹部によつて強力的に遂行せられたる活動は、遂に、意識の遲れたる後進プロレタリアに對して、現實に於て門戶閉鎖を行ひ、此の大衆との離反は、ために組織の基礎なる可き大衆的支持を失ひ、全く少數尖銳分子の集團化への傾向を辿るに到つた此の孤立的傾向は指導精神の根本的誤謬の必然的結果であつた

●我々の將に持たなければならぬ青年同盟はかゝる誤謬の嚴正なる批判と卒直なる訂正の上に創られねばならぬ。現狀勢の下に於てかゝる二重體團主義的指導精神は全く現實への批判を缺く誤りであるそれは現實の鬪爭の大衆的規模への發展性を抹殺し去ることに他ならない。

かゝるが故に當面する青年運動は先づ第一次的要求を結合の基礎的條件とする大衆的青年同盟を持たなければならぬ。此くしてこそ初めて、青年はその獨自の組織を通じて、全階級のための鬪爭を深化し、強大ならしめることが出來る。此の點に就いては、既に各方面に於て批判し盡された事であるが、我々はその誤謬を大膽に認める事により一の教訓として再び繰返すことなく細心の批判的努力を要するものである。

四

青年の獨自の鬪爭機關は、勞農組合の青年部の必要を否定するものではなく、却てその必要の重大性を認めるものである。特に青年勞働者・農村無產青年の組織は、勞農組合青年部の鬪爭を通じて、或は協力の下に、初めてなされ得る。また、青年部は、組合の鬪士の養成部門であり、產業別的基礎に於て結合せられたる組合の鬪爭に於て、組合青年部は特に共通の經濟的事情を有するが故に、青年同盟と協力する事によつて、組合の全鬪爭に對して、強力なる前衛部隊となる此の鬪爭の前線に起つ先頭部隊として絕對に必要である

けれども勞農組合の本質的役割は、勞農階級の經濟的鬪爭の分野を受持つてゐることである。此ふした鬪爭分野の限界は、必然に、經濟鬪爭意識より全階級的鬪爭即ち政治的、鬪爭への進出を困難ならしめ、青年勞働者は組合主義的意識の限界內にとぢこめられて終

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ危險性がある。のみならず、勞働者は、その制約されたる諸條件の下に生活する關係上、一般にその意識に於て全階級的政治鬪爭意識への發展が經濟鬪爭意識の埒内に制限される。青年運動の果さねばならぬ一の重なる任務は、か〻る制限を克服し、組合内に組織されたる青年の意識を全階級的鬪爭の領域にまで高揚せしめるにある。かくして、青年はその經濟的鬪爭のみならず、凡ゆる青年特殊の要求のため鬪ふことが出來る。

青年運動が、獨自の組織を必要とすることは、青年の獨立的行動の必要を意味する。

青年同盟は、黨の一機關ではない。從つてひたすらに無批判に黨の命の儘に動く從屬物ではない。青年同盟は、青年層の全面的鬪爭を指導して戰ふところの、政治的大衆的日常鬪爭の機關であり、黨組合と別個なる組織である。たが、それ故に無産階級の全般的鬪爭を指導する階級的黨との間に密接なる關係を有し、その政治的指導を離れる事は出來ぬ。青年同盟が黨から全然獨立し、政治的中立を持するが如きは大なる誤りである。

青年同盟は、積極的に執拗に黨に働きかけ黨の日常鬪爭と組織の中に、青年の要求を有力に反映せしめなければならぬ。此のためには、同盟の前衛分子は黨の活動的青年黨員として戰ひ、黨と同盟との組織の上に於ける關係を密接ならしめねばならぬ。かくて、青年は青年の要求を黨の日常鬪爭の上に強く要求する事が出來る。

たが、云ふまでもなく、青年の要求を抑壓、無視するが如き黨に對しては斷呼として反對し抗爭する。黨をして誤りなく、全階級の政治的指導を遂行せしむ可く、即ち、眞の階級黨たらしむ可く、黨に對する批判的自由を保留する。たから、青年は、黨の政治的指導下にありながら、黨の鬪爭に協力しつ〻黨への大なる影響力を有せねばならぬ。階級的立場を嚴守して、黨の日和見主義化に對しては敢然と戰ひ、黨をして階級的使命を果さしめねばならぬ。

五

再建さる可き青年同盟は、かくて、大衆的組織である。而して、明確なるプロレタリア的指導精神を確保せねばならぬ。然らば此の同盟は如何なる組織形態を持つ可きであらうか。

それは工場（職場・農村）を基礎的單位とする形態でなければならぬ。居住地域を單位とする組織は鬪爭を活潑に圓滑にせしめざるのみでなく、眞に強力なる鬪爭力を發揮せしめる事が出來ぬ。組織の基礎は、生産のその場處になければならぬ。工場農村に根を下すこと、即ち勞働青年が勞働の場處に於て結合し、小作青年が耕作場に結合し此の工場班乃至農村班の日常鬪爭を通じて、全工場農村の青年をひきつけなければならぬ。

支部は、從つて、或る地域の産業班の結合でなければならぬ。

以上の原則が確立せられた時、産業別に組織せられたる青年大衆の強大なる鬪爭力が確立せられる。

（四十三頁へ續く）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

階級戰線を攪亂するものは誰ぞ

―(大山郁夫は何處へ行く)―

吉田源藏

（一）

「階級戰線を攪亂する無産大衆黨の出現」是れ、新黨組織準備會の首領大山郁夫クンが「ブルジョア新聞に報道されたもの」を對象として、「たゞ毫末も忌憚なく」單一無産政黨主義の立場から語りしもの、ブルジョア雜誌「改造」九月號に公にして、「根本的重要點に於て動かせない」彼の「確信を反映した」ものである。

そこで、私は、大山クンと同じく單一無産政黨主義――「闘爭の爲めの戰線統一」――の立場から、しかし、私は「ブルジョア新聞に報道されたもの」を對象としたのでなく、無産大衆黨自身の主張と、舊勞農黨の闘爭精神を固守する、新黨準備會を背負つて立てる大山郁夫クンが、「毫末も忌憚なく」語りし、正眞正銘の、彼の腹の底の底をも對象として、戰線統一を衷心希ふところのプロレタリアーの一人として、「毫末も忌憚なく」「階級戰線を攪亂するものは誰か」を穿鑿して見ようとするものである。

大山クンは、先づ、その「毫末も忌憚なき」その劈頭言つて居る。

「……新に生れた無産大衆黨が、それと新黨準備會との對立を何にもまさつて――さうた、それと支配階級との對立にさへもまさつて――強調してゐる以上は、我々が新黨準備會の立場から、それに對して感じてゐることを一言するのは、決して無意義なことではない筈だ……

「……いづれにせよ、現在の瞬間に於て我々の立場が、彼等のそれと對蹠的地位にあると云ふ根本的事實だけは、何物を以ても變へることは出來ない……

「……私は無産大衆黨の組織者たちの人的關係については、一切口を噤まうとしてゐる……

「……さうした人的關係を通じて、同黨を見ると云ふことは、同黨の本質を知る上に大切なことであるかも知れない、否、大切なことであらう。たが、それは私には出來ないことだし、またよく出來ても、私はそれをすることを欲しない……」と。

實に然り、若し人的關係から無産大衆黨を見れば、その組織者達には嘗て「一般民衆の推戴す可き偉人を選ぶ權利」と云ふような民主々義を唱へた人は一人もなく、同黨の本質が、あまりにもよく知れるので、それはよし出來ても、大山郁夫クン自身には非常に都合

の醜いことになるであらう。

（二）

「無産大衆黨が、それと新黨準備會との對立を何んにもまさつて——さうだ、それと支配階級との對立にもまさつて——強調してゐる……」等とは、一體何に怯へられたのか、浮氣稼業上りの女が、誰にもまして嫉妬心の強いやうに、支配階級との對立にもまさつて、同じ味方の陣營に對立して抗爭を續けられて來た……そして現に、それにもまさつて抗爭を續けられつゝある大山クンとしては、無産大衆黨の結成は、なる程ジユピターの頭の中からミネルバが飛び出した樣に驚かされるのも無理からぬことではあらう。

だが、大山クンよ！御安堵召されよ。無産大衆黨は斯う云つてゐるのです、そしてこれは、ブルジョア新聞の報道せしものではなくして、無産大衆黨自身の言葉です。

「勤勞農民黨々員諸君！

政治的日常鬪爭戰鬪としての勞農黨を奪はれてから、勤勞農民戰線に於ける日常の發端たる政治鬪爭は殆んど休止的狀態である。

此の結果は何をもたらしたか。

一般大衆は政黨中立から政治中立へ、さらに政治的無關心に陷らんとし、之と共に組合運動の鬪爭力も亦萎縮した。

その間隙に乘じて、右翼化の傾向は彌漫し支配階級の彈壓は加重されたのである。

勤勞農民黨々員諸君！

かゝる傾向とたゝかひ、彈壓と有効に抗爭するには、眞の大衆的鬪爭による外はない。しかも政治的日常鬪爭戰鬪を缺く限り無産大衆を大衆鬪爭に動員するは困難である。新黨準備會の所謂大衆鬪爭の失敗は、實踐に於て之を示してゐる。

而して、大衆を動員し得る、かゝる機關は少くとも現在の狀勢に於ては合法的政黨を除いて他に之を求む可くもない。

踏み躙られた戰線の建設、統一、擴大も今や無産大衆の切實なる要求となれる無産政黨の合同も、合法的政黨を使つて、始めて成功的な段階に這入り得る」と。

實にさうだ！踏み躙られた戰線の建設、そして統一、擴大も、亦吾々プロレタリアートの切實に要求しつゝある全無産政黨の合同も、現在の狀勢の下に於ては、合法的政黨を使つて爲すにあらざれば、決して成し遂げられるものではない。

嘗て、日勞黨は、新黨組織準備會の合同提議に對して、合法政黨としてでなければ提議に應じられないと爲した。況んや全戰線の合同に於ては、右翼をも捲き込まねばならないのである。新黨準備會が眞に全無産階級の利害を代表するところの、階級的立場にあるものなれば、先づ何を措いても、合法政黨結成の鬪爭を爲さねばならぬ筈である。爲さねばならぬことを、半年も放置しておくが如きは斷じて階級的立場に起つもの、態度ではない。しかも、之れを成し遂げんとするものに對して「官許」「退却」「武裝解除」等々の難癖をつけて、裏切り呼ばはりをする等は、明かに、それこそ實に裏切りであり、戰線の攪亂者である。

吾々は、君の言はれる「……支配階級との對立にもまさつて強調してゐる」ものが誰な

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るかをヘツキリと知るのである。それは卽ち新黨準備會の立場に立たれる、大山郁夫君その人である。

大山郁夫クンよ！

若し此處に盜賊と妥協するものがあつて、それが、盜賊の加へる害惡を輕くする爲めに妥協しても、君はそれを盜賊と贓品を分配せん爲めに妥協した共犯者として告發せられるであらうか。

君よ！吾々の步む道は「ネプスキー通りのペーブメントはかりではないのです。

吾々の條件を以てして、支配階級に號令することゝ、支配階級の條件の下に吾々が屈服することとは、どちらが望ましきことであるかは、あまりにも明白な事柄である。たゞ吾々は、或る具體的一定の條件の下に於ては吾々が支配階級に號令する爲めに、一定の限度迄吾々の行動を支配階級の條件の下に制約せられることを忍ばねばならない場合もあるのである。

君は「無產大衆黨が出來た當時に、ふと感じ」られて「何を爲す可きか？」の中の「批判の自由とは何を意味するか」の一章の末節の文句を引き合ひに出しておかれる。そこで私も「……その一々の文句を我々の場合に當て嵌めて、具體的意味を帶びさせようとしてゐるものでない」と云ふ君の都合の良い御言葉を拜借して「起り得るあらゆる誤解を防ぐために」キツパリと、特にお斷りしておいて、プハーリンの「カアル、カウツキーとソヴイエツトロシヤ」の中の一句を引き合ひに出すことゝしやう。

「ブルジョアジーとその警察、間諜、著述家等は、久しい以前からデマゴーグ的遣り口を用ひ、それによつて屢々効を奏してゐるのである。彼等の支配を脅かすところの黨が出來上らうとするのを見ると、例令それがどんなに小さなものであらうとも彼等は、直に勞働者に向つて云ふ。

「この黨の首領達は、諸君を肉彈にしようと欲してゐるのだ」と。

かくて吾々は、我が無產階級運動の陣營内に「支配階級との對立にもまさつて」吾々との鬪爭者を見るのである。

× ×

しかしながら「惡魔も聖書を引用」し「反動的論客の側からさへもマルクスからの引用句を屢々發射されるやうな」世の中とさへなつて來たのであるから、況んや「鬪爭の爲めの單一無產政黨主義」を奉ぜられる大山郁夫クンよ、レーニンの「何を爲す可きか？」を銘記せられてゐる限り恐らく、沼地に墮ちられることもあるまいが、そして、君には、常に、より高き形態へと飛躍する爲めの翼……左翼と云ふ翼の持ち合せもあることだから、何れ、さうだ！差當り天上でもされることとなるであらう。

が、しかし、それは御自由です。たとへ天國であらうが、極樂であらうが、いやそれどころか、現實を離れた天國こそ、大山君等のほんとうの居場所なのだ。

我々は、現實の下界に足を踏みしめて、常に夢の國に逍遙されてゐる人達が天上されるときの「左翼」と銘打つた、國際的專賣品の片翼の、使ひ分けの妙技の御手並を「緩々と拜見」させて戴くことゝしよう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

問題の解說

幣原外交の正體

田中反動內閣の對支外交失敗を攻擊する民政黨の外交方針は、加藤・若槻兩內閣の外務大臣だつた幣原坦が確立した故、これを幣原外交といふ。そして內政不干涉主義を聲明し消極的傍觀的對支外交方針を以て臨んだので不干涉主義とも呼ばれてゐる民政黨內閣の外務省參與官であつた永井柳太郎をして、暫く語らしめよう。（東朝所載）（對支外交果して過てるか）

「從來我國の外交は多く追隨外交であつた（中略）幣原外交は日本獨自の見地に立ちて日本國民の生存と使命のために勇敢に戰ひ」云々。

「幣原外交の重要なる部分は、そのアジアに關する關係である」

「最も心血を注ぎたるは對支外交であつた一面支那の國民的宿望中道理あるものはこれを承認して新興支那と日本との間に不可分の情誼を結ぶと共に他面支那に於ける我既得の權利利益を確保し、進んで經濟的進出の機會を開拓する爲め全力を傾けた」

これ等の言は、民政黨內紛の前後資本閥の間に幣原外交に非難の聲がかまびすしい折柄發表されたものである爲、內政不干涉による漢口南京の兩事件、上海の排日運動等の損害に就いてはなるべく觸れぬ樣にしてゐる。併し、九月十七日大阪に於る幣原前外相の演說では

「內政不干涉と權益の擁護といふ事は必ず一致すべきものであり、また一致させねばならぬ」

「滿洲の權益は東三省の政治組織如何によつて左右される樣な薄弱なものではない」

云々と云つてゐる。

日本資本主義の發達が獨自な帝國主義的步調をとるまでに至らなかつた際は「多く追隨外交」によつて、列強の所謂獅子の分前にあづかつて來たが、歐洲大戰後、火事場盜棒的飛躍をして日本資本主義は、支那に於て殊に中支に著大な發展を遂げ、英國の勢力と伯仲するに至り「日本獨自の見地に立ちて」行動する必要が生じた。そして支那の近代的ブルヂョア國家としての結成の爲す動亂休止によるよき條件を獲得するため「支那の國民的宿望中道理あるものは承認しなければならぬ。斯樣な一切は要するに「經濟的進出の機會を開拓するため全力を盡す」日本資本主義の大目的の單なる手段なのだ。故に支那に於ける統一運動が如何なる傾向のものにせよ目鼻のつく迄は御世辭笑ひをして內政不干涉とか消極主義とかの口上を述べて居なければならなかつた。そこで「內政不干涉と權益擁護とは一致し一致させねばならぬ」のである。滿洲は、天然の資源に乏しい日本資本主義にとつては死んでも手離せぬ寶庫である。東三省の政治的關係がどうならうとそれによつて左右される程薄弱なものでもなくさうあらせてもならないのだ。即ち滿洲問題は「支那國民の道理ある要求」としては承認しないのだ。所が、民政黨內閣瓦解の諸原因、產業資本の顚落、寡頭金融資本の壓倒的支配、即ち國內產業の破產と利鞘取りの支配は、從前の、日和見的待機的外交を不可とし、武斷的積極的我武者羅的外交—田中反動外交を要求するに至つたのだ。

幣原外交が對支不干涉であり無產黨の對支外交方針が不干涉であるといふ單なる形式的一致により日、和見的帝國主義的資本主義外交と、兩國の××××のため共同戰線展開を要望するものとの對立といふ本質的差違を、ぼかされてはならない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

朝鮮旱害災民を救へ

　咸南其他同地方を除いては全鮮にわたつて大旱魃に襲はれてゐる。この旱魃による農民の窮乏化は實に我々の想像のそれどころではない。

　「旱魃は豫想外に激甚で、全鮮で水稻植付不能面積十萬町歩（この減收百万石）で植付遲延による減收を合すると全鮮で少くとも三百萬石の減收と稱されてゐる目下代用作としてそは粟の植付を盛んに奬勵してゐるが、旱害の最もひどい慶北の如きは堤防の草まで枯る實情なので代用作もまた枯死する慘狀を呈してゐる」（大每八月廿八日）これはたゞ大每の紙上で見た旱害の一狀況にすぎないが（しかも總督府の二三の技師の口から出た數字である）

　更に東亞、中外等朝鮮人經營紙を見る時に實に言語を絶するやうな朝鮮の慘狀が我々の眼前に展開されつゝあることはいふまでもないところだ。そこに載つてゐる一枚の寫眞版を見てもそれが世界地圖のやうにこまかくひびが入つた田圃であるのだ。

　又或る紙上では五百萬石減收等々報じてゐるものもある。

　たた口で或は筆先で五百萬石、三百萬石等といつてゐてもそれが具體的な一々計上した數字でないことはいふまでもない話だがちよつとした田舍に入れば飮用水すらもが不足勝ちであつたり或は二丈位の深井戸に水が枯たりしてゐるものほとんど全鮮的である。從つて大豆、きび、小豆、芋等の雜穀類はその大部分が枯死してゐるといつてもいい位だ。又ところに依つては松、竹の如きに至るまでが立枯になつてゐる。

　以下旱害の慘狀は枚擧にいとまない位だ。更に我々はその深刻な餘りにも深刻な慘狀を一々書いてゐる時間とよゆうを持たない。

　いづれにせよ、兎角かゝる現場にある二千餘百萬同胞に對して我が×××當局は如何なる救濟策を講じてゐるであらうか？

　さき頃朝鮮視察の途上にあつた日本政府大藏次官の某は「朝鮮農民は實に悲慘だ。悲慘だ。慘めた」と連絡船の訪問記者に語つたそうだ。又我賢明なる次官は「何とか救濟策を講ぜねばならない」と言つてゐたそうだが、我々の現狀は決して金持ちの奥樣や所謂政治家先生共の上つ面丈の救濟策？に依るすゞめの涙程の救濟基金位では救はれそうにもない。又總督府の御役人樣方の御好意？に依つて

進め

代用食としての滿洲粟の關稅低下方について御考究中ださうだが、しかし農産物の枯死に依つて今すでに飢餓に襲はれてゐる我々にいくら關稅の引下を考究して貰つても一升の粟も買ひ得ないことはいふまでもない話しだ。愛らしき小供欺し政治家達よ！諸君のその手品はすでに種あかしの終つたものだ。

それ程朝鮮同胞を愛?してゐるなら、なぜ日本の勞働市場にその飢餓に依る勞働を賣らんとする勞働者、農民の渡日を禁止してゐるのだ！。我々が新附日本國民である以上は我々が御大禮を奉祝してならないといふことはないではないか？しかるになぜ御大禮警備の名の下に渡日を禁止するのだ。又眞實に朝鮮農民を救濟する氣持ちがあるなら、なぜ勞働力を賣るの自由を奪ふのだ。

これこそ田中××内閣の殘忍極まる暴政の發露でなくて何だ！

親愛なる滿天下の同志諸君！

諸君こそは飢餓に瀕してゐる朝鮮農民を救ふ唯一の味方だ。

なけなしの財布をはたいて「朝鮮貧農飢餓救濟基金」に送れ、（本誌發行所事業部宛に）朝鮮人の渡日に對する一切の制限を廢止しろ！

飢餓に直面してゐる二千萬同胞を救へ！

全國的、大衆的救濟運動を起せ！

西之宮市朝鮮村立退問題と朝陽同志會の活動

一九二八年九月八日午後八時尼ケ崎市舊城内、城内俱樂部に於て、我が「朝陽同志會」は第二回總會を行つた。

司會者　李成執
議長　崔浩俊
書記　安光秀
同　金正吉
代議員　二十三名

順序
經過報告
會計報告
規約改正
事務所建設
維持方針
全朝鮮鬪爭團體合同問題

香櫨園夙川堤朝鮮村立退問題

此の總會に於て最も重要問題となつたのは最後の議案である「香櫨園夙川堤の朝鮮村立退問題」である

香櫨園夙川堤にある朝鮮村は戸數二十九戸人口百四十二名にして、男子八十四名、婦人二十六名、兒童三十二名より一部落を成して居るので、去年の二月頃より諸所を失業、住宅難等々の理由の下に該地所に蝟集し來たり、過般の總選擧には、民政黨の前田房之助氏に投票したるもの多數ありて、何れも公民權を有するものなるが、最近該地先が兵庫縣西之宮市にある官有地なるを以て、兵庫縣當局は、警察の手を以て强制的に追放せんとしたものである。

警察當局が追放せんとしたときの理由は「河川法違反」「官有地不法佔居」と云ふにあつて、追放執行吏のあるものは「行き先きがなければ監獄にでも行け」等々の暴言を吐きしとか。

これに對する善後處置に關しては、直

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

援の關係にある西之宮市當局は何等の對策を講じ居らず、前記前田房之助氏に投票せしめたる民政黨の如きは反つて市當局及び縣當局と共に警察力を以て、無理矢理に追放せんとして、土地發展上に良くないとの極めて無謀なる言辭を弄して百數十名の我が同胞の居住權を犯さんとしてゐる。

そこで朝陽同志會は、此の朝鮮村の立退き問題を重大なる社會問題、人道問題として、根本對策を講ずることゝなつた朝陽同志會第二回總會は此の件を滿場一致を以て可決し、直に活動に移つたが一方朝鮮村に於ても、日本勞農黨兵庫縣支部に依賴し、代議士河上丈太郎氏、兵庫縣會議員阪本勝氏、尼ケ崎市會議員藤岡文六氏、朝陽同志會執行委員崔浩俊氏等に一切を委任して對策を講ずることゝなつた。（進め社神戸支局）

佐賀縣の同志諸君に訴ふ

吾佐賀縣にも時代の潮流に押されて無產階級解放運動の漸く盛力を得つゝある事は、一面現内閣及び資本家地主階級の勢力の失はれつゝある事を如實に物語るものだ。

たゞまた階級意識の足りない、或は全く無い大衆が縣下に充滿してゐるのだ。

社民の支部が唐津に出來た。そしてぐんぐん勢力を扶殖しつゝある現實を觀て吾人は默視するに忍びない。

何故なら、吾人は社會民衆黨の指導精神が餘りに右翼的であり、常に戰線統一を破壞してゐるからだ。例へば、最近の組合會議結成に際しても、明かである。

一日後るれば一日吾人の戰線が縮少されるのだ。立て！同志諸君。而して日勞黨支部を樹立仕樣ではないか。

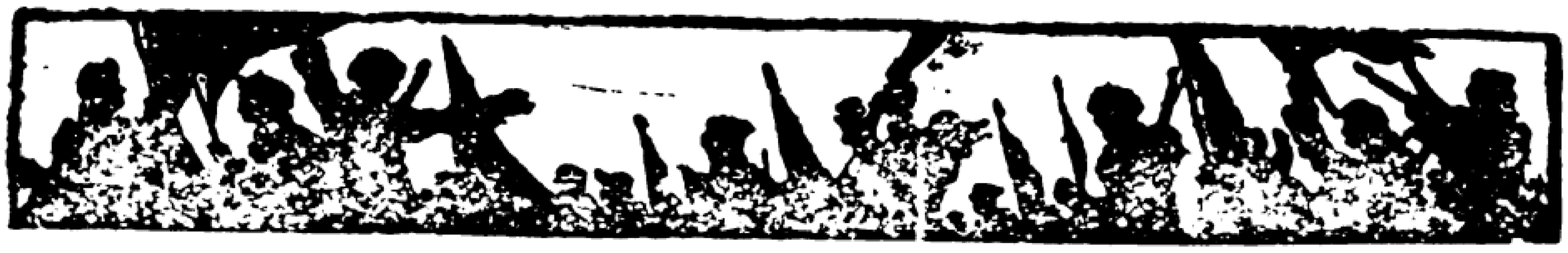
日和見主義と謂ふと、何と謂ふと、現内閣の如き反動政府の下に於ては、所謂合法的政黨に寄らずして何事が出來るか？合法政黨を否認して何が出來ると云ふのか。唯いたづらに聲のみ大にした處で、實行の伴はぬのでは空言では無いか。小兒病的傾向を帶べる結社は地方的にも駄目だ。新黨準備會の指導方針も排撃せねばならない。又最近杵島郡西部立憲青年黨なるものが、先般結黨式を擧げた。世話人として民政黨所屬現縣議某々、其他一味數名、資格者を滿廿才以上四十歲迄として各村に支部を設けてゐる。支部役員も同じ穴の貍、然も覺めない大衆は知らずに彼等の口車に乘つて入黨しつゝある。

純然たる民政黨の別働隊なのだ。嗚呼シヤクだ。斯くして我縣の大衆は彼等にうばはれて仕舞うのだ。

たから俺は叫ぶ！支部をたてよ！

而して彼等から大衆をうばひ返せ自然發生的に放任する事も或程度迄は宜いだらう。然しそれは恰も自然發生的ストライキの組織的ストライキに比して勢力の無い事と同理だ。アジテーションするにも確固たる所屬がなければ餘り効果が無

進め



い。又大衆を迷はす事にもなるのだ。

繰返して叫ぶ

縣下同志諸君立て而して日本勞農黨支部設置に向つて邁進し樣ではないか（一九二八、九、一）佐賀縣住ノ江有明春洋

三不良團體及び不良分子排撃聲明書

本誌六月號全土戰報欄所載の「全國水平社藝術聯盟」生るは、文藝戰線にも同樣掲載されてあつたさうだが、九月十四日、水平社總本部の深川武氏が來訪され、全國水平社藝術聯盟の反動性を指適され一般大衆の誤解を受くるおそれがあるから右の聲明書を掲載してくれとの事であつた。

■今や支配階級の意識的な水平運動抑壓は因んで差別の容認煽動となり並びに懐柔的融和政策、スパイ政策は反動的御用團體の簇出となつて益々露骨な全面的攻勢の魔の手は全部落民の上に現はれて來てゐる。

我々は今や、その差別の根據がブルヂョア社會制度の根幹を爲すものであることを見究める。從つて凡ゆる差別の徹底的除去を期すると共に我々の水平運動を邪壓することにのみ汲々として、何等顧みるところのないブルヂョア支配への徹底的抗爭を期する（中略）

その故に我々は水平運動の假面を被り只々支配階級に阿諛迎合する事に依り、賣名と私利の爲めに反動的役割を大膽に白日の下に演じて、猶部落民を喰ひ物にせんとする似而非水平社及び不良分子の排撃と撲滅を進めて行かねばならぬ。

全國の水平社及び各無產團體諸君！

我が全國水平社は茲に左の三不良團體及び不良分子に何等の關係の無き事を明かにし、而してその排撃を期するものである。

一、日本水平社

日本水平社は既にして全部落民の知れる通り、我が水平運動の前科者南梅吉の統帥する所謂反動的御用團體である。彼等は絶えず全部落民の利害を代表する我が全國水平社に對しては中傷と讒謗に依る對立と抗爭を以つてして警察當局の擁護の下に僅かに南梅吉個人及びその幹下への私腹を肥やして來た。

二、日本主義水平血盟團

右團體は高崎市宮元町に居を構え、小林利吉と稱するもの首領格となり、或ひは高崎水平社と稱し絶えず部落大衆を背景に仕立てゝ惡事を働き、常に反動團體大化會の岩田富美夫等と交り、脅迫團體の名實に副ふた能力を發揮しつゝ來た。

彼等は昨年、菊地寛氏の小說――特殊部落の一夜、其他――の差別的問題に就て反動岩田等と共に正當なる糺彈行動でなくして最も愼しまねばならぬところの強迫的利權的糺彈手段を弄し、菊地氏をして澤田正二郎氏の演劇を高崎劇場でやることを承諾せしめ、その收入利益金をさへ不明ならしめてゐるとか。

實に彼等は差別に對する糺彈運動の本質を忘れ一般民衆に水平運動を一種の暴力團體かの感を抱かしめる等、正しい水平運動を冒瀆せることこそ甚大である。

三、全國水平社藝術聯盟

右は本年五月の中央委員會の時に京都に來り、藝術聯盟を全國水平社の統制機關の下に置くことを認めてくれと建案したるが我が中央委員會は、今認めるわけには行かぬ、と確答を與へなかつたのである。

然るに、その後山本欣三なるもの及び櫻木某（彼等は部落民には相違なきも水平社とは從來無關係のもの――惡質ブローカーである）は全國水平社藝術聯盟の名稱を水平社の機關の承認なきに係はらず勝手に振り廻して全水の統制を破つてゐる。

彼等は最近、劇作家山本有三氏及びキ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醒め

ング七月號長田秀雄氏作品中の差別問題に就て糺彈に行つてゐる。而も、元同愛會員の不良文學青年と共に又は前掲高崎の反動ゴロと通謀して。――

反動團體有馬頼寧の乾分の齊二才、及び暴力團と策謀せる彼等の行動を見よ！やはり、其處には唾棄すべき、強迫がましい暴力團的、寄附強制的、詐欺的、乞食的（長田氏から旅費と稱して二圓なにがし乞食してゐる）な糺彈でない糺彈をやつてゐる。

斯くの如き徒輩、斯くの如き行動の行爲者は、勿論、正統水平社の前には眼まぶしく、東京府水平社の機關を逃げ、避け廻はつてゐる。

勿論、我々は以上の作家の差別的作品、及び何等の良心なき營利出版業者共の無責任に就ては斷乎として糺彈する。それは夫々全國水平社の組織に從ひ東京水平社若しくは東京府水平社（何れも東京市淺草區森田町所在）先づその衝に當ることになつてゐる。

我々は、斯かる藝術てふ假面を被れる差別的作品、ブルヂョア御用作家の反動的作品―資本主義を肯定し、擁護する故に無産大衆の反抗を挑撥さすべくして盛られたその文章の至る處に羅列してある夢の如き美しい文字又は無産藝術運動への挑戰、一般民衆に差別を肯定さす可くしてのその差別的文句の現はれ―に對しては絕えず暴露し排擊し糺彈して行かねばならないことを主張するものである。

但し如上の各團體は我が全國水平社と何等の關係なき無責任なる一人一黨的不良團體にして全國水平社の統制を紊し、更にその糺彈手段たるや卑劣にして、却つて水平運動の有害となる事を知るが故に我々は排擊するものである。

尙、今後は文藝的作品の上に現はれて來る差別に對しては一層の宣傳と與論に依つて糺彈を進めねばならぬ。

四、下 阪 正 茂

右人物は兵庫縣水平社同人であるより、かつて全國水平社の第一線に起つて運動に加はつてゐたこともありしが、その當時より水平運動の第一線に起つべき闘士としては如何はしき行動を續けて來たところの一種の水平ブローカーとも云ふべき非人格者であつた。然るにその後大阪府、向野水平社の同人を瞞着して數千圓を着服したことがあり、又は關西に於ける同志を欺いては金錢の詐欺を働き、自己の遊興の費に充てゝゐた。（中略）

今や彼下阪は公然と警視廳のスパイとして肩で風を切つて歩いてゐるさうだ。

我水平社、貴團體に於かれても宜しく階級的裏切者に對する、苛責なき排擊に努められん事を深く〳〵希望する次第である。右聲明す

昭和三年八月[illegible]日

大阪市浪花區榮町四ノ二三

全國水平社總本部

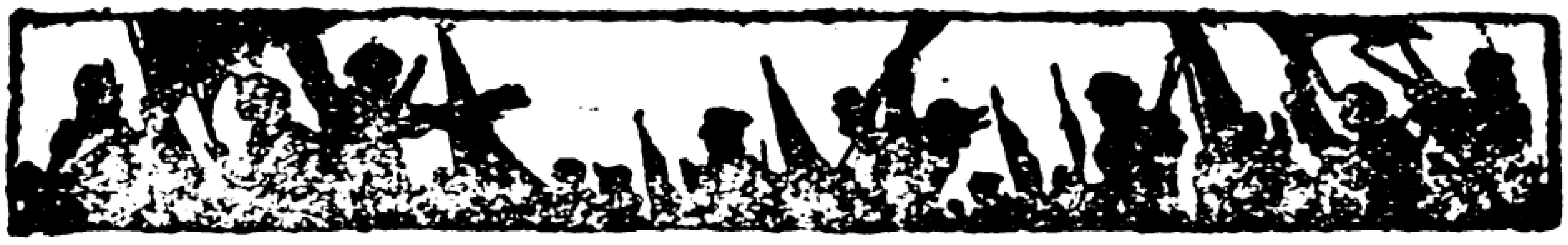
振替大阪六四三七八番

電化の同志勝つ

電氣化學工業株式會社伏木工場に働いてゐる同志達は、「電化從業員組合」を創立せんとしたところ、狼狽した會社は幹部に對して「すぐ組合を解散せよ」とおしつけたが、從業員は、日頃こらへにこらへた不平を一時に爆發して八月十五日十三ケ條の要求を會社につきつけて、若しこの要求をじうりんする事があつたなら、直にストライキを開始するとの意氣物すごく、益々結束を固めて戰ひの決意を見せたので、流石攪亂と詐欺の魔手をふるふ會社もヘコタレ、十ケ條を承認したので、從業員側も之を諒として解決した。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め



しかし、吾々は平常において强い組合の基礎を作つておかねばならぬので伏木勞働組合準備會ではこれを機會に、各工場勞働者の有志、代表者のみの「工場懇談會」を二十一日中伏木常勝寺において開くべく左の加盟勸告のビラを配布した

「全伏木の勞働者諸君！電化の兄弟は會社の待遇にたへられなく「從業員組合」をつくつて、會社に交渉した結果、見よ！見事に大勝利したではないか、夫は全職工が一致團結した組合を以て正々堂々と戰つたからこそだ、王子製紙、阪紙、北陸肥料、北海曹の兄弟諸君！諸君は働らく時間が長くて困らないか？賃銀が安くて生活が苦しくないか？工場の設備はどうだ、衛生設備は完全か、若しその一つでも不滿足だつたらオレ達は安心して働けないではないか？明日オレ達がどんな大ケガをしないと誰が保證出來るか明日會社の都合とかで長年勤めたものが無一文で首を切られるかも知れないではないか、否、そんなことはこれまで數へきれない程あつたではないか？そんな時一人で會社におねがひしてもダメだつたではないか、こうした勞働者の日頃のことを守つてくれるものは、勞働者自身の「勞働組合」より他には何一つないのでそれほど諸君達が團結すれば强くなるのだ團結のみが、組合のみがオレ達を守つてくれるのだ、だから會社にとつては組合があつては自分達の思ふまゝにならぬから、組合のことを惡くいふのだ、それに資本家は「水曜會」といふ資本家同志の團體をもつてゐるではないか全國到る所、勞働者のゐる所、必ず組合があるのだ、組合のあるところ、必ず勞働者の賃銀、時間工場の設備はよくなつてゐるのだ、勞働者は安心して働らけるのだ、一日も早く諸君達は自分の工場の中で寄り合つて各現場の有志が組合をつくる相談會を開け！男も女も少年も老人も勞働組合に直に加入せよ！全伏木の勞働者團結せよ！十一日の「工場懇談會」に各工場代表者有志を必ず送れ

八月二十日　　伏木勞働組合準備會

（難波支局報）

日本勞農政治經濟研究會に參加せよ

日本勞農黨の、關西地方に於ける黨員の有志から成る「日本勞農政治經濟研究會」の第一回研究會が、一九二八年九月十一日夜七時から、大阪進め社事務所に於て開催せられた。

出席者を擧ぐれば左の如し

日本勞農黨關西事務局	岩崎正三郎
日本勞働組合同盟	末永寶吉
高知勞働組合	前田晴生
日本勞働組合總聯合	宮原末男
京都西陣賃業者組合	河邊友吉
日本勞農黨浪速支部	眞松濟美
同	山本義一
同	乾松太郎
大阪勞働組合	大野信良
同	吉田源藏

以上の通り第一回の研究會としては可成りの出席成績を示した。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

富山電燈爭議と聲明書

その一

（富山縣全土を包む爭議の際、電燈問題の文獻として支局調査のもの主として民衆のもの、縣のもの會社のものを紹介いたします。）

横暴なる富山電氣に對し秩序整然たる電燈料値下期成同盟會今次の勇敢なる鬪爭に滿腔の敬意を表し吾が黨創立以來の宿願たる電燈料値下運動の徹底を期し呉山以西の電氣消費者の利益を代表し之を援護せんため電燈問題の根本的調査と電燈料値下期成同盟會の積極的援助を爲すことゝに聲明す

昭和三年八月十日

■

自治倶樂部

富山電氣會社配電區域の電燈爭議滑川町外四ケ町に於ける斷線消燈に始まり爾來消燈の事實なしと雖もその爭ひは逐日熾烈となり今や各地に波及擴大して爲に民心の不安その度を增し公安を妨げ部民經濟の伸暢を抑止し延て健全なる町村自治の進展を阻害するの虞れなしとせず、自治團體の首長たる吾人町村長の深憂に堪えざる所なりこれが問題を解決し爭議を靜止し以て民心の安定を圖るは特に焦眉の急務たるを信ず、吾人町村長は素よりその職責に於て能ふ限り部内の平靜と波動防遏に善處しつゝありと雖も爭議の繼續は益々事態を深刻化しその影響や重大なるものあるを思ひ一日も早く問題解決の曙光を見るに至らむことを熱望して止まず而してこれが調停の實を擧ぐるにあるのみ願むらくは關係者よく此處に思ひを致し速かに圓滿妥協し以て不安を一掃せむことを敢て聲明す

東京市會醜怪史

これは日勞新聞九月十五日號に掲載されたものである。東京市政の腐敗愈々市民の前に暴露する時、この暴露記事は極めて有益な記事たるを失はない。敢て掲載する所以である。

火事と喧嘩は江戸の花だと言ふが今一つの名物が殖えた。それは東京市會の疑獄事件である。板舟補償並びに京成電車乗り入れを機會として暴露した東京市會の腐朽は既に市會議員の收容せられたもの十數名、然もその波及するところ那邊に及ぶか豫測すべからざる状態である。俺は潔白だと御丁寧に聲明書まで出して收容された市會議員があるかと思へば、往生際を惡くして逃げ廻つてゐる市會議員がある。よくこれまで腐敗した人間許を集めたものだと驚歎せざるを得ない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

昭和三年八月十一日

富山縣町村長會

■

無産大衆の全要求の一迸りが今回の電氣爭議を捲起したものでこの事は不景氣のドン底の襲來そのもの丶爲めで無くして實に永い間苦しめられ來たつた大衆の反抗心が不景氣といふ一現象にぶつかつて爆發したものである、そしてこの一要求は決して電氣料値下のみの運動では無くして、それと同時に、税金値下、惡税撤廢（自轉車税、特別所得税等）又、一切の全無産大衆の生活保證に對する要求等と結びつけての運動とならなければならない、それでこそ初めて無産大衆の意義ある要求となるのである、然るに、富山、滑川、水橋、岩瀬各同盟會は無産政黨等の闘爭的應援を拒否し、又、電氣値下は階級闘爭ではないと聲明してゐる。我々は無産大衆の眞の要望はこゝにありと斷定し、各同盟會の誤謬を批判し、指導せんとするものである、全無産大衆諸君は電氣値下のこの大衆的闘爭によつて勝利を占め更に他の凡ゆる無産階級要求にも勝利を占め得る唯一の武器は大衆的闘爭そのものである ことを、はつきりと經驗するであらう、されは、今日の大衆運動こそは實に、全無産大衆の日常利益の勝敗の分け目である事を知り果敢に闘爭しなければならない、この意味に於て、我々無産藝術家は全無産大衆の利益のために、執拗に、電氣料値下同盟會を全幅的に支持するものである

八月十日

全日本無産者藝術聯盟富山支部
富山プロレタリア藝術聯盟
無産文藝社
富山藝術批評社

■

呉山以東に於ける富電對同盟會の經濟的確執は暴戻なる富電會社の、彈壓的闘爭、挑戦的術策によ

東京市政が施行されてから四十有餘年になるが、その市會の歴史は宛然たる一篇の疑獄史の觀がある。先づその主なるものを列記して見るならは

一、明治二十八年の水道鐵管事件
一、明治三十三年の汚物掃除事件
一、明治四十四年の瓦斯合併事件
一、大正九年の砂利事件
一、同十年の瓦斯値上げ事件
一、昭和三年の板舟事件並びに京成電車乘り入れ事件

と、一寸數へる丈けでも十指に餘るほどである。これに依つて見ると、東京の市會議員は四十有餘年間相も變らず水道の鐵管を嚙じつたり瓦斯を飲んだり、砂利を食つたり、縱いはき溜た漁りまわつてゐたと言ふことが解る。

× × ×

明治二十八年の水道鐵管事件と云ふのは水道の鐵管に從來使つてゐた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りて遂に深刻なる社會問題を惹起し今や重大なる思想問題として全國民の環視裡にこの歸趨を憂慮せられつゝあり、單なる經濟的確執をして斯くの如き重大化せしめし責任二者その何れに在りやは吾等の喋々を要せざる所にして、既に、社會民論によりて明かなり。由來我が富山縣は大自然の惠與によりて水電王國を以て全國に誇示する所なり、故にその電力使用料に於ても亦低率ならざるべからず然るに何ぞ、暴戾なる富電會社は事業の獨占を以て、利益の獨占なりと專斷し、需要者と倶に共存共榮の實を擧ぐべき、公共事業會社たるの使命を沒却し、我が縣民の天賦の利益を壟斷して只會社の高率配當に專心するが如きは、天人倶に許さゞる暴擧なり、宜なり偶々呉東の一角に富電膺懲の烽火一度あがるや、電光的速力をもつて同配電區域の團結となり、大民衆運動となり、暴戾なる富電の彈壓に對し勇敢に然も秩序ある抗爭を續けつゝあり、この時に際し富電配電區域に於て最高率の差別料金を強られつゝある吾々が、傍觀的態度を持續し來りしは會社の措置を正當なりとせしに非ず、たゞ事件の紛糾を懸念し、會社の冷靜なる反省によりて圓滿解決を期待せしに他ならず、然るに富電は未だ毫も反省の色もなく、不自然なる手段によりて事件の解決を企圖するが如し即ち吾等はこの不自然なる手段を斷乎として排擊し、合法的積極的手段と紳士的態度をもつて、本部の最高率差別待遇を撤去し更に既成同盟會と共に三割五分の値下を要求しその貫徹を期さんとす、敢て本同盟會の態度を天下に聲明す

昭和五年八月十一日

氷見郡電氣料値下期成同盟會

■

三日市町電氣料金値下期成同盟會は去る七月十一日調停委員會の作成に係る調停案に贊成したるため同盟聯合會の各地とその立場を異にしたる觀ありたるもその後調停委員會は最初の主旨を貫徹することは至難なるを見て八月七日同會を解散したりよつて我が三日市同盟會は調停案に贊成の無意義なるにより當然元の三割五分値下をもつて聯合會と同一步調を以て進む事を聲明す

外國製の鐵管を止めて日本製の鐵管を使ふことを東京市會で決定し、いつもの常套手段で急速に鐵管會社を作つてこれに請負はせることにした。ところが不良品として排除された鐵管に認可の番號を附し、それと知らぬ顏で收めてゐたと云ふ事實が端なくも職工の口から洩れ、朝野の大問題となつてとう〱司直の手が下されたと云ふ事件である。この時には市會議員の繩付きは出さなかつたがその次ぎに起つた、明治三十三年の汚物掃除事件に至るとゾロ〱と繩付き市會議員を出すに至つた

この事件は明治三十三年に施行された汚物掃除法に基いて、東京市の汚物を掃除するために汚物掃除會社を作つてそれに請負はせたがその間賄賂收受の事實が發覺し、一大問題を惹起した事件である。この時には當時市會の元兇と目されてゐた利光鶴松を始めとして左の八名の市會議員

三日市電氣料金値下期成同盟會

我が同盟聯合獨り三日市町同盟會は中途調停委員會の發表したる調停案に贊意を表したる爲め本會の主張と相容れざるものありこゝに離脱せざるの止むなきに立ち至りしは洵に遺憾とする所なり、その後三日市同盟會に對し調停委員會は自個の責任を果さず解散したるは不誠意も甚だしきものと認め自省猛省更生の感を以て強硬なる態度を示したると同時に我が聯合會の主旨に合流し最後まで同一歩調を採る誠心誠意を確認したるに依り茲に再び同盟を容認し飽くまで共同戰線の下に初志の貫徹に勇往邁進せむことを聲明す

富電區域電氣料金値下同盟聯合會

■

多年大衆を僞瞞し搾取し來たる富山電氣株式會社にこの度値下期成同盟會は團結の威力により社會正義の爲富電の暴狀を暴露し勇敢なる鬪爭に滿腔の敬意を表し、吾黨創立以來の主張たる全無產階級の社會經濟生活安定の一步として電燈料値下の徹底を期し全大衆の利益を代表し値下期成同盟會を積極的に支持する事をこゝに聲明す

八月十三日

海勞江勤勞黨

■

その二

富山電氣株式會社對電氣料値下期成同盟會の係爭は昭和二年十月中旬下新川郡三日市町にその端を發し滑川町、東岩瀨町、東水橋町、西水橋町その他の町村亦之に和し相前後して富電區域電氣料値下

が瀆職罪の罪名の下に有罪の判決を受けた。

稻田政吉、大田直次、峰尾勝春、長谷川深造、今井榮輔、横山喜次郎、中島文五郎、後藤亮之助

× × ×

瓦斯の合併と東京市との報償契約は爾來市會に醜聞を流す原泉となつたのであるが、この時は單に尾崎市長がなぐられた位で問題を起さなかつた。

然るに大正九年に至ると多年鬱積した瓦斯問題が大爆發をなすに至つた。

問題の起りは明治神宮の參道工事の不正が發覺し、市の土木係長笠留等が收容されたことから大問題となり、當時市會を牛耳つてゐた高橋義信が先づ起訴され根岸治右衛門も次で收容された。然し當時道路不正事件はつけたりであつて、問題は瓦斯値上事件にあると見られてゐたが果然！大正十年に入ると共に瓦斯事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

期成同盟會を組織し電氣料三割五分の値下を主張して料金不納の儘これが達成運動を繼續す一面會社においては久しきに亘る料金の不納は事業經營に著しく困難を來すを以て供給契約に基きて本年五月十七日西水橋町及三日市町における料金不納者數戸に對し斷線消燈したる處兩者の拮抗は地方產業上に惡影響を及ぼすものとなしその間調停を試みんとする地方有力者の出しを動かさし縣においてもこれが必要を認め會社に對し一時斷線消燈を見合せしめ地方有力者の手に依つて自治的圓滿解決を得んがため、本年五月關係地方有力者を網羅する調停委員會の組織を見るに至れり同會は五月十八日第一回委員會の開催を初めとして爾來兩者の間に立つて各その主張するところを研め愼重熟議を重ぬること數回に及び七月十一日電氣料金一割五分二厘五毛の値下を至當としこれを兩者に提示して同意を求めたるに三日市同盟會は該調停案賛成したるも其の他の同盟會並會社は之を容れず遂に不調の形となりたる結果會社は再び七月二十六七日兩日滑川町、東水橋町、西水橋町、東岩瀨町三日市の各町に亘り料金滯納者の內數十戸に對し斷線消燈を決行したる爲め前記各町は夫々一齊に電球を返還して同情消燈を決行せり爾來同盟會は益々結束を堅めランプ瓦斯燈等の燈火の不足のもとに極めて平靜裡に運動を繼續せり乍去斯る爭議の永續と燈火不足の狀態、治安、衞生、風俗及產業各方面に憂慮すべき事象なるを以て本官は縣治上座視するに忍びず之が調停の勞を執らむと欲し兩者の間に立つて誠意を披瀝し調停一任方交涉したる結果會社は之を承諾し無條件にて本官に一任したるを以て同盟會側に對しても極力之を慫慂し同盟會幹部と折衝を重ぬること六回に及び各幹部も大體本官に一任の意圖ありしもの丶如きも其の間會社側の態度に於て不滿の點あり卽ち會社は知事に一任したりと雖も尙誠意を缺くものありやの理由の下に本月十二日午後九時遂に同盟會側本官の調停を拒絕するに至れり然れども本官はこれを以て圓滿解決し願望を捨てず日夜その實現を衷心より切望し方策につき深思熟慮を重ねつゝありしに同盟會幹部もまた愛鄕の念と共存共榮の精神を發揮し再考熟慮の結果態を飜えして十月十九日改めて本官に無條件一任方を承諾したるを以て茲に一面需用者の聲に聞き他面會社の經營狀態を調査する等各般の事項を考慮し愼重審議最も適切公平なりと認むる調停案を作り二十日午前零時

件に飛び火し市會議員の收容せられるもの相次ぐの狀態であつた。その主なるものを擧げれば

澤川保平、丸山名政、中村鐵二、伊藤清、宮崎三之助、棚橋一郎、所澤貞太郎、山口嶽、辰澤延次郎
增野豐、杉山使十郎、安住佐太郎
柄井泰、岩松兼重

の十數名に及んだのである。

瓦斯料金の値上問題と言ふは、東京瓦斯會社は石炭の値上を口實として、瓦斯一千立方尺に對して一圓の値上を要求し、東京市の理事者はこれを九十錢の値上案として大正九年市會に提出したのである。ところがこれに對しては異論百出し、或は七十五錢案或は五十錢案、或は三十五錢案を提出して爭つたが結局五十錢の値上として決定したのである。ところがこれを通過ぜしむる市會に於て、丸山名政の如きは殊更に「質問をしない」と云ふ動議を提出したりして言論抑壓の下に無理々々に押し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三十分赤十字支部樓上に於て之を關者に披露し又附せり其の内容は別紙の通にして會社の内容に鑑みるに料金値下の余地ありと認め一は産業の發展上より動力料金の値下步合に於て考慮し一は社會政策的見地より低燭光電燈料金の値下步合を多からしめ以て中産階級の福利増進に資せむとすると共に地域に依り或は電力使用方法に從ひ其の料金確衡を生ずる嫌あるものに就きては可成之を統一し以て公平ならむことを期したり而して其の細目に至りては別に會社をして縣の承認を得て之を作成せしめ電氣料金をして本縣實情と需用家の要望に適應せしめむことに意を致せり、茲に本爭議調停に至りたる顚末を述べ併て此の際富山電氣株式會社並需用者各位は調停に對する本官の赤誠微衷を諒せられ共存共榮の精神に基き中斷を誤らず益々自重、自愛せられ累て斯る事態を惹起せざる樣自戒せられむことを切望して已まざるものなり

昭和三年八月二十日

富山縣知事　白根竹介

■

（富山市西四十物町の電氣料値下期成同盟會は白根知事の調停案に對しかされて左の如く聲明書を發表した）

全日本國民が凝視せる我經濟爭議は天の與ふる恵みを少數の人々のみが獨占し然も其獨占業者が自己資本の擴大と共に其の基礎の鞏固を加ふるに正比例して愈々益々其の獨占的權威を逞ふして敢てあくなき暴利を一般消費者の上から搾取せんとするにある、蓋し電燈電力の使用消費が今や國民生活上絶對的必要品にして産業の開發上、社會の保安上、更に文化生活の増進上不可缺の條件となり莫大なる永久的利益の保證は國庫公債に比す可くにも拘らず權威に加ふに暴利を以てし事業自體が安全にして且半は公共的性質を帶るを忘れ純營業的横暴をほしいまゝにして吾人の生活を脅威するものあるを以て吾人等共に相結び先に聲明したる如く富電に對し電燈の三割五分値下を要求したるものである總ての物品は價格如何に依つて甲乙何れの營業者よりも買入られる事は吾人の自由とするも獨り生活

逼迫して了つたのである。その背後には東京瓦斯の金がバラまかれたことは均しく具眼者の豫想する所であつたが、遂に砂利事件をきつかけにしてそれが白日の下にさらされたのである。

×　×　×

大正九年十年の大疑獄事件の後東京市に革新會が組織され、疑獄事件は一時跡を絶つた如くであるが、それは表面丈けのことで、例の瓦斯報償契約更新問題を中心として三木武吉一派と東京瓦斯會社との間に流された醜聞は殆んど公然の事實である三木武吉が猫のやうにおとなしくなつてゐるのは、その尻尾を政友會に握られてゐるからだと言ふことはこれまた殆ど公然の事實である。

今度の大疑獄事件は事未だ進行中に屬するので何とも言はれないが、兎も角大正九年十年以來たまりにたまつて來た内部の鬱積のたまく外

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に絶對必要品とも云ふ可き電氣のみ甲乙を選ぶ自由を吾人から奪ひ敢て飽くなき暴利を一般消費者の上から搾取せんとするは吾等の斷じて默せうとして默せざる所である、然るに此の神聖なる經濟爭議に對し滑川上市を除く東岩瀨、水橋等の聯合側の幹部が自己が其の代表である地位を利用して極めて秘密裡に富電側より十三萬圓の金錢を授受せんと企畫して居るのを突然新聞紙に曝露せられ憶面もなく需用者に慰藉料として一戶當り一日金一圓、十七日間拾七圓の分配をするなどと見透いた辯明を以て世間を糊塗彌縫せんとし然もその金錢の授受に依つて知事に白紙一任するなどと殆ど一般道德の許す可らざる言語を弄し何等恥る所を知らず遂に輿論の沸騰を恐れ身を隱蔽して暗中飛躍をなし俄然金錢問題を表面に現さず無條件知事一任に豹變して殆ど三割五分値下要求を忘却し大衆生活の利益を犧牲として悔る處を知らざる彼等の奇怪極まる態度は實に天人共に容れるところに非ず、今や本縣下電氣爭議は滿天下の問題として全社會から注視の的となつて一進一退は悉く社會批判の資料とならざるを得ない今日この際我同盟會は一に縣外的に一は縣下大衆のために最後の一人となるまで斷々乎として正しき經濟組織の改革を圖らんとするもので今日知事が發表せる調停案はわれ等の要求趣旨と餘りにも懸隔甚しきを遺憾としあく迄初志の貫徹に向つて邁進することを滿天下に聲明す

昭和三年八月二十日

富山市西四十物町二番地
富山市電氣料値下期成同盟會

■

弊社の電氣料金問題につきまして由來半歲の久しきにわたり紛爭を見ました事は洵に遺憾に堪えない次第で一に弊社責務の至らざりし事を謝する次第であります、顧みますれば此の間において弊社は終始一貫社業の實狀を披瀝し或ひは供給規定を改正して誠心誠意需要家の御理解とその御便宜を圖るに努めましたけれども不幸にして事態は却て紛糾を見ました事は返す返すも遺憾の極みでありまして只管至誠の及はざりし事を愧る〻次第であります本縣知事閣下は深く之を憂慮せられ調停解決の一任

部に洩れたものに外ならない。然し問題が板舟や京成電車に限られてゐる限りは吞舟の魚を逸せぬとも限らぬ。それが多年の伏魔殿たる東京瓦斯問題までさらけ出すに至つて始めて問題の當所にふれることが出來るのである。

かく疑獄に疑獄を重ねて來た東京市會を、性こりもなく、默認して行く東京市民の寬大さお目出度さに我々は概嘆せざるを得ぬ。疑獄事件の曝露の瞬間には相當に興奮しながらいか既成政黨の手になした革正運動などの中に卷き込まれてゆくのは、正に前門の虎を追つて後門の狼の口の中にとび込むやうなものである我々はこの時東京市民の一齊に奮起せむことを望むと共に、何れの政黨の革正運動が眞の革正運動であるかと心を潛めて考へて貰ひたいと思ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を要求せられましたので弊社は茲に全部を擧げて無條件一任を申出た次第であります是卽ち弊社が閣下の御裁斷を仰ぎ衷心平和の曙光を希望したる微衷の發露に外ならないのでありまして各位におかれましては右一任は弊社の誠意に出でたることを御認め下さることを確信致します、今や閣下の御裁斷によりまして永き紛議も全くその跡を絕ち昔日の和願を見ることも近きにあるべきを固く信じて疑はない所であります料金改正につきましては誠に甚大なる影響があり社業の經營容易ならざるものがありますが凡ゆる犧牲を拂ひまして御裁斷の御精神に副はん事を期して居ります、こゝに弊社は將來益々責務の重大なるを自覺すると共に社業の改善に精進し江湖に酬ひん事を念願して居りますから一層の御援助を切に御願ひ申上げて止まない次第であります

昭和三年八月二十三日

富山電氣株式會社

追て定額電燈料金中低燭光は元本社區域に付いては左の通り値下をなしその外動力料金等目下愼重審議を凝らしておりますので成案を得ますれば縣當局の御承認を得て之を發表致したいと存じておりますから御諒承を願ひます

九月壹日ヨリ

五燭光	五錢値下げ
十燭光	拾錢値下げ
十六燭光	拾錢値下げ
二十四燭光	拾錢値下げ

■

去二十四日、富山の各文藝團體が電氣爭議の知事調停には絕對反對であるから今後あくまで戰鬪を繼續する所の富山西四十四物町同盟會を積極的に支持することを決議して左の聲明書を發表した

×　×

岩瀨、水橋、三日市等の電氣値下同盟會が先に一割五分の調停會を一蹴し、あれ程、强硬なる三割

日勞黨の無產黨合同への態度

日勞黨支持團體の日本勞働組合同盟は去る二十二日午後一時より芝青年會館で中央委員會を開き、無產政黨合同に對して左の決議をなして、其の態度を明示した。

決　議

一、日勞黨は立黨の精神に從ひ、一大階級的大衆黨の結成に向つて一致邁進すべし

一、日勞黨は單獨に無產大衆黨と合同する事は現下の狀勢に於ては一大階級的大衆黨の結成に支障を來たすものと認め之れに反對す

一、同時に社會民衆黨との合同は日勞黨の立黨の精神たる階級的大衆政黨の結成のための妥當なる第一步と認め、我同盟は誠意を以て之が促進に努力すべし

一、日勞黨の無產政黨合黨に對する方針は經濟戰線(勞働組合)の統一をも有効ならしむるやう努力すべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

纏め

五分の要求貫徹の意氣が、輕はづみにも知事に白紙一任したこと、その事は知事そのものが資本家地主と同じ穴の狢であり、全民衆を嘘で誤魔化す位の事は、いつも見え透えた事實なのに、それを知らなかつたと云ふ同盟會代表等の無智をはつきり物語るものであり、又知事一任をあれ程、反對し續けて來た代表等が急に一任に變更したことは、實に代表等が民衆の要求に飽く迄戰ふといふ意志の薄弱さを示して居り、その事は、彼等が、最も戰鬪的にして民衆の要求貫徹には如何なる彈壓懷柔、籠絡をもはねのけて戰ひ拔き得る所の無產政黨の應援を拒絕する等の誤謬せる戰術を使つたが故である。全富山縣民諸君！諸君は民衆の期待を裏切つた是等代表の妥協的、又、非戰鬪的なるを糾彈する片方に、今、眞に最後の一人となる迄、「三割五分値下」のスローガンを片時も棄てずして、知事一任を飽く迄反對したる滑川、及び富山西四十物町同盟會、外十數ケ町村の運動を積極的に、徹底的に支持應援しなければならない。我々の要求貫徹は決して知事一任では爲い、それは今日少くとも會社に實行させた經驗と同じく實に「大衆的鬪爭」そのものであることは縣民諸君がまざ〳〵今經驗した事であるのだ。我々文藝家もこの際、全富山縣民と同じく、次のスローガンに集中して、飽く迄執拗に、戰ひを續けるものである。三割五分値下徹底的に要求しろ！知事の干渉絕體反對だ！爭議は大衆自身が解決しろ！金で爭議を賣るな！民衆代表に會社監督權を與へろ！町營には原則として贊成！縣營は絕體反對だ！大衆的鬪爭で爭議を戰へ！

八月二十五日

全日本無產者藝術聯盟富山支部
富山プロレタリア藝術聯盟
富山藝術批判社
無產文藝社
農民藝術社

その三

これに對して、同じく日勞黨支持團體の一である全國農民組合の日勞黨系は

「全國農民組合としては、日本勞働組合同盟が無產戰線統一のためには先づ日勞、社民兩黨の合同をなすべしと決議したのとは全然見解を異にし日勞黨は寧ろ無產大衆黨とこそ合同すべしと主張せねばならぬ」

との意見を極めた。

かくして、日勞黨の合同問題は兩派の二大對立となつて現れ、日勞黨分裂の危機が傳へられる事になつた。

吾々は日勞黨の分裂と戰はねばならぬ。無產政黨統一を立黨の精神として生れた日勞黨が統一の使命を果すところか、それ以前において分裂する程馬鹿らしい事はない。大衆政黨においては、民主主義者も共產主義者も共にやつて行けるのだ。日勞黨を分裂させるな。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の爭議はこう云ふ性質の同盟會を至るところに生んだ

■

近時農村の疲弊殆んどその極に達し今にしてこれが救濟の途を講ぜずんば其窮極する處像測するに難しからず、則ち消極的には負擔の輕減をなして支出の減少を圖り積極的には農業の振興を策し一面農村電化の實を擧げて疲弊救濟の道を講ずるを以て刻下の急務なりと信ず、然るに翻えつて本村内に於ける電氣需要の狀態を見るにその架設條件が部落によつて多少の相違ありと雖も概ね苛酷に失し徒らに需要者の負擔のみ重からしめ將來に向つてその禍根を胎すもの實に一にして足らず且年に支拂ふ料金が本村經濟と略匹敵の多額に上るが故に、今にしてこれが條件等を更改せしめ會社の横暴より脫却し以て負擔の輕減を圖るは蓋し焦眉の急務なりとす玆に本會を創設し當初の事業として別項決議の實現を期せんとするものなり右聲明す

昭和三年八月二十三日

野尻村電氣需用同盟會

以上

（中島生）

戰鬪的理論雜誌

「プロレタリヤ」改題、政治、經濟、社會、思想、文藝の批判

大衆時代　十一月創刊　定價　三十錢　十月二十日發行

目次概要――無産政黨統一問題、田所輝明――社會民主主義とは何ぞや、河野密――我國經濟界の現在と將來、清水武雄――その他、時評、座談會、附錄漫畫

申込所　東京市牛込區五軒町登龍閣内

大衆時代社

（二十三頁より續く）かくの如き組織を持つ問題の當面する任務は、現在の狀勢に於て先づ（一）、農村と大工場（殊に重工業工場）、即ち無産青年の密集地點に、深く根を下すことである。これこそ特に切實なる緊急事である。

工場と農村へ！そのために、先づ班の組織に着手せねばならぬ。班の確立、殊に大工場に於ける強固なる班の組織は最も重大であるそして班の組織が凡ての前提的第一條件でなければならぬ。かくて（二）、青年を犠牲とする反軍國主義のための闘爭、官僚、（三）ブルジョア、カルトに對するプロレタリア、カルトの闘爭（四）今や、我國陣營内に發生し來れる日和見主義との闘爭、等青年運動の役割は、現狀勢の下に於て特に重大である。我々は全力をあげて、大衆的青年同盟の再建を計らねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

反動陣營の再組織

佐々木敬三

一

九月號では床次一派の新黨樹立運動を論じたが彼等一黨は九月四日には所屬議員廿五名に達し愈々議會内の交渉團體となつた。一葉落ちて天下の秋を知る。況んや廿數名の頭顱を引きぬかれては、天下の大政黨であり、第二黨であり、憲政常道論で次期内閣組織を夢みてゐる民政黨も無事では濟まぬ。果然九月上旬に入るや不平組と稱せられ自らは刷新派と號する田中善立、森田茂一味の策動が、ブルジョア新聞の政治記事欄を賑はし占領するに至つた。結局四名の除名者を出し、どうやら表面だけは收まつた樣なものの、同時に黨内に於ける總ての暗流を暴露し、民政黨の無力無能な政治的虚脱症の原因を明示した。

今、少しくこれ等の事實が眞實に我等無產階級にとつて如何なる意味を敎へるかを見よう

二

元來民政黨は產業ブルジョアジーを代表し地主黨たる政友會と對立し來つたのであるがブルヂョアジーの發展は、地主と產業ブルジョアジーを既に結合せしめ、金融資本の獨裁を現出せしめてゐる。かゝる今日、民政黨本來の使命は全く消滅し去つた。即ち民政黨の獨自的な立場は崩壞し了つたのである。この點は政友會も同樣であることは田中大將が民政黨の内紛に頗る同情してゐるので明瞭で、民政政友共に單に從來の歷史的因緣行きがかり上對立して居るのに過ぎない。換言すれば、兩黨對立が資本主義の偏倚的發展を防止しブルヂョア、デモクラシーの表現に有用であつたのに、寡頭金融資本獨裁の形勢は如何ともし難く、議會も從つて政府もこれ等の基礎の反映たるを餘儀なくされたした。昨春の金融恐慌が產業ブルヂョアジーと提携せる多數銀行の沒落と民政黨内閣の喪殺を招來し反動的地主黨たる本來の面目に加ふるに近時金融資本獨裁の反動的要求を容れて立てる政友會田中大將の内閣が物々しい面構へで登場した恐慌とモラトリアムとは、三井、三菱、第一、安田、住友の五大

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斷行に預金集中となり完全に田中內閣出現の效果があつた。されはこそ、田中反動內閣は滿州の特殊權益の積極的伸張、共產黨狩り、山東出兵、等々あらゆる武斷振り專制振り、反動振りを內外に遺憾なく發表したのだ。これに對して無論我等は總ての機關を動員して抗爭を續けてゐるが、獨裁的金融資本の支持の下にある田中反動內閣は、買收、威喝至らざるなき陰謀を弄して今春の議會を喜三郎の腕一本を犧牲に供したたけで切拔けた、民政黨は野黨の悲しさ、政友會とは本質を同じうしながら金融資本と結托する機會を漸次失ひ來り、殊に從來三菱の支持を受けてゐたが、これと結合する加藤高明や仙石貢などの人的要素を失ひ、しかも上叙の如く金融資本獨裁の結果、三井三菱の兩財閥間には多少の小競合はあり乍らも大體協調し相犯さざる默契が成立してゐる今日、彼等の懊惱と煩悶とは益々深からざるを得なくなつた。既成政黨の黨員はブルヂョアヂーの政治的俳優である、「お給金」が出るからこそ働いてゐるが、これが出ないとなれは彼等たる者考へざるを得ない。よりよき金主を見出されねばならぬ。

八月一日、民政黨を脫退し新黨を組織せる床次の一黨も、田中樋口、森田小寺の一味も畢竟するに此の既成政黨の經濟的基礎構造の變革に適應せんとする意圖よりして劃策し行動したもので、此間政府筋の魔手が常に動いてゐたのは這般の消息を裏書するものである床次が反動陣營へ參加の手土產は「小選擧區制」といふ無產黨追出しの一手であつた。今や、憲政一新會の手土產は、「外交問題を政爭の具に供せず」といふ帝國主義的日本資本主義の支那侵略の無條件的支持である、されはこそブルヂョア新聞などでは憲政一新會は結局、新黨倶樂部に合流するだらうと評してある。併し彼等が同じ釜の飯を食ふまでに如何なる猿芝居をうつかは我等の問題ではない

三

傳聞する所では、民政黨內部に種々な分派があり、官僚系、改進黨系、本黨系、其の間三木派が介在してゐたりして複雜で憲政一新會發表のパンフレット「噴火山上の民政黨」では極力官僚系の安達江木、町田を攻擊してゐるが、何が故に民政黨の指導分子が官僚であり、且つ今日何が故に此分子が排擊せられねばならぬかに就いては根本的な省察が加へられてゐない。日本資本主義の發達は、明治維新以來溫床的培養によつた。そのため、產業資本は常に官僚政府の指導下に發達し來り、明治初年には產業資本的でさへあつた封建諸侯の後繼者的政府の官營全盛の時代もあつたのだ。されは產業資本の發達と共に勢力を得來つた急進的ブルヂョア黨たる憲政會―民政黨の指導分子が官僚系であるのは必然にして當然である。而も憲政一新會の宣言を借用すれは、「憲法は流轉し時代は推移す」るた、資本主義最後の段階に到達して見れは最早や產業資本は過去の華かなりし時代の幻影を追ふより以外に能はない。過古一ケ年間、新しき獨裁者――金融資本は此の古き指導者を放逐せんとし、これに內部より策應する徒輩を物色してゐたのだ。濱口民政黨總裁が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「田中、樋口兩氏の刷新運動は表面の口實であつて總てを欺いてゐた。實に怪しからん。由つて來る所は遠く根は深い」と言つてゐるのは、知つてか知らずしてか、案外眞相を言外に說明してゐる。また國民新聞が、民政黨内紛の結果沒落し行くものは幹部の官僚系ではないかと論じたのは無論無產者的把握の下に爲されたのではないにしても、ブルヂョアそれ自身彼等の運命を或る程度まで感知した事を示してゐる。

現在除名されたのは數名に過ぎないが、今後、ブルヂョアジーがその陣營再組織のため、如何なる手段をとるか。陣營內の弱味たる民政黨を外部から內部から、或は分離せしめ或は結合せしめるたらう。

四

無產階級は此等反動陣營の再組織運動に直面して爲すべき任務は何であるか。徒らに、既成政黨の內紛醜狀が暴露された、それ見ろと拍手しておればよいのか。否、否、然らず。我等は議會を通じて表現された反動の激化に、その激化の本尊に對して、あらゆる機關を通じて鬪爭せねばならぬ　先づ、彼等に依つて提出された搾取政策から打破せねばならぬ、床次の新黨俱樂部の反動性を遺憾なく曝け出した「小選擧區制採用」の提議は、前號に摘發せる如く無產黨追出しの陰謀で、既に資本家と無產者の明確なる對立鬪爭を開始した九州八幡市會では、それが採用を決議したではないか。政友會所屬代議士中六十名は中選擧區制なるが故に選出されてゐる今日そんな事が、等の氣やすめは狡猾なるブルヂョアをあまりに甘く見過ぎてゐる。更に憲政一新會をして語らしめよ。「議會に於ける帝國の根本主義を主張して一歩も讓らざるは在野民政黨をはじめ、天下公論の肯定せる所、之を鞭撻し之を指導し國策の遂行を期せしむるは國民の義務に非ずや、然るに民政黨は今や小數政爭論者に操られ對支外交の枝葉の失敗を鳴らして政爭の具に供せんとす」これ、日本の帝國主義的資本主義の最大の要求に外ならぬ。天下の公論とは何か。國策遂行と、國民の義務とは何を意味するか。巧妙なる寡頭黨爭、政爭を排斥して政策第一主義を執るとは何か。金融資本の獨裁の要求を表白したものではないか。「巧言令色仁あること鮮し」で、とんた喰はせ者た。民政黨の從來取り來つた不干涉主義、所謂幣原外交を攻擊せしめるため關西のブルジョア連が巨額の資金を刷新派—憲政一新會に與へたのは隱れもなき事實た。これ等ブルジョア樣方の御命令が天下の公論であり、國策であつて、これを遂行するのが、國民の義務たらうか。支那に對する日本の帝國主義的資本主義——反動內閣の政策を支持するのが國民の義務であるとは、無產階級の誰一人も殘念ながら首肯致し兼ねるのた。政爭を排斥するのは、最早既成政黨が明白にブルヂョアのものである事を自白してゐる。公然とブルヂョアジーは其の政治的權力を結合して我々無產階級の咽喉笛に摑みかゝる事を、昨は床次をして、今は田中等をして無產階級に宣言したのた。無產階級の政治的經濟的

戰線は、またそれ故に即刻統一されねばならぬ。ブルヂョアジーの陣營は分裂の形式によつて再組織され整頓されつゝあるが、我等は之に反し統一によらねばならぬ。「結合の前の分離」が反動陣營の戰術として採用せられる光榮に浴したのは皮肉でもある。統一され結合された無産階級全體の力を以て反動の陣營に突擊せねばならぬ日本ブルヂョアジーの發展の必然的産物たる支那無産階級の革命運動と提携し之を支持し、更に米國ブルヂョアジーとの衝突による帝國主義戰爭の危機を××によつて突破せねばならぬ

　反動陣營の再組織による資本專制の激化に抗爭せよ。戰線の統一無産階級××無産黨合同を即刻成就せしめよ、

夢醒めた和製赤色戰士同盟

羽田光雄

「支配階級の權力が、左翼に向つて大衆的政黨すらも作る事を許さないならば――少くとも、コムミユニストの排除を條件としなければ政黨組織を許さぬとするならば、政黨と云ふ形態を強いて取らなくてもいゝではないか。當面の必要として、先づこの日常鬪爭並びに暴露反抗を活潑に行ひ得る組織があればよいのだ」（四月十六日無産者新聞）

「多かれ少かれ左翼的戰鬪分子を排除し、社會民主主義に屈從せざる限りこの結合は不可能である。（中略）それは支配階級の分割支配の前に降服する事を意味する」（五月八日勞農新聞）

　そうだ。解散直後の勞農黨はかくして支配階級の前にヒロイズムな決意を示した。支配階級の許可する樣な政黨なら作らぬがよいしかし大衆政黨は必要である。されど新黨準備會は大衆的威力をもつて否でも是でも支配階級に結黨を許可せしめ、先の禁止命令を一片の空文たらしめて了ふのだ――これが彼等の意圖であつた。そして、彼等は熱情的文章をもつて大衆に呼びかけた。曰く「見よ、獨逸の赤色戰士同盟は政府の解散命令に抗しベルリンに十五萬人の大示威運動をして遂に最高法院をして禁止取消をなさしめたではないか」と。

　そして、無産大衆黨が結黨するや、口をからして流產を祈つた。「無產大衆黨は官許黨である。警視廳と取引されたニセ無產黨である。」かくして、新黨準備會は大衆的壓力によつて支配階級に否應なしに許可せしめんとする方針の下に戰つた筈である。然るに、解散後七ケ月を經過せる今日迄未だ結黨されず、反幹部派による地方政黨の出現となりその合同も實現し、新黨準備會の地盤は日に日に沒落しつゝある。

　されば、八月廿三日新黨準備會は左の如き結黨方針を決定した。

（一）大山氏は委員長を、細迫氏は書記長を辭任し、新黨の書記

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

長は上村進氏とす
（一） 綱領政策の草案は、あらかじめ官憲の内閲を受け、折衝によつて修正されるも已むを得ない
（二） 大體舊勞農黨解散直後の準備會の結黨方針即ち無産者新聞の「勞農協議會」の提唱に應じたる前の方針にもどること

× × ×

一見して、新黨準備會の指導方針の變更が明瞭である。むしろ、從來の結黨方針の失敗を完全に裏書きするものである。即ち所謂「官許黨への屈服」へが行はれんとしてゐる。方針の（二）にそれが明かであり、結黨を十二月頃に延期すると云ふのが又それを示してゐる第一に、結黨方針の決定が新しくされると云ふ事自身、すでに新黨準備會の方針の行詰りを物語るものである。ベルリンの赤色戰士同盟の解散命令反抗の示威運動の夢はさめた。

しかし乍ら、新黨準備會のデマゴーギ式の釋明は初まる。曰く、

「しからば吾々が結黨の具體化に進まんとする條件は何であるか？

（イ）準備會の全國的並びに地方的組織が漸次確立に進み、大衆的に結黨運動を進め得る實力を備へるに至つたこと。更に結黨によつて舊黨員並びに未組織大衆をより容易に、より速かに政治的に結成し、且つ勞農政黨合同運動の進展を一層容易ならしめ得る條件が熟して來たこと。

（ロ）無産大衆黨、日勞黨の一部裏切的指導者、合法萬能主義者等の準備會に對するデマゴギー、準備會排除の合同說等々の如き非階級的陰謀を結黨運動によつて堂々と擊破すべき事情が切迫した事。

（ハ）全國の舊黨員並びに戰鬪的勞農大衆の果敢なる闘爭により、支配階級は、舊勞農黨の戰鬪的政治勢力の實體たる新黨準備會を彈壓し盡し得ないことを經驗した。かくて、新黨の公認を確認せしむべき條件が熟したこと。

わが準備會は以上の條件を充分に考慮し當面の闘爭の計畫に從つて結黨に進むのである。………」

然らばこれを本質的に批判的に見たならば

（イ）準備會の全國的組織が確立したのではなく、實はその闘爭的力が休止した

（ロ）其處で、速かにその結黨方針を變更しなければ、大衆の支持を失ひ孤立化する事情に立至つた

（ハ）支配階級が準備會の組織を彈壓しない事を經驗したのではなく、何時まで立つても準備會の運動は進展せず、政府の反動策の餌食になつてゐるから、支配階級に否でも應でも結黨を許可させるのでなく、否でも應でも自分の方から、

「われわれは結黨の爲めに戰ひ、これを實現すべく努力する。從つて當面の情勢に對して充分な政治的考慮を拂ひ、技術的な驅引をも出來る限り利用しなければならない」事になつたのである。その結果として、所謂「官許黨」なる天へはきかけた唾が自分の面へ落ちてくる事になつたのである。

勿論、支配階級に氣兼ねして結黨する事は實に悲しむべき事た。しかし、この態度をも甘んじて、明日のよりよき收穫の爲めに努力する事は、受難の無産階級にとつては止むを得ない事である。

合法的無產政黨を大きくする事こそ、無產階級にとつて最も必要である。×××の勢力を強くしてから、それを大きくするのではなく大衆政黨を擴大してこそ、左翼的勢力の增大がある。

されは、吾々は事あらは、何を措いても合法政黨再建の急務を力說し批判し來たつた。今や、新黨準備會は、合法政黨の否認的再建を捨て、眞に左翼的な道が何であつたかに氣づいて來た。あゝ夢醒めた勤勞赤色戰士同盟よ。

矛盾せる平和主義

清水寛一

一

不戰條約に對するソビエットロシヤの參加承諾の回答文は、同時に各帝國主義國家によつて支持される不戰條約に實に忌憚なき批判を試みたものだ。

「勞農ロシヤは常に世界平和の爲めに努力して來た。今後もその爲めに最善をつくすであらう。

勞農政府は、戰爭を防止する唯一の實行手段は全世界のあらゆる國家が、徹底的に軍備全廢を斷行する以外には無いと確信するものである。何故なれは、各國が軍備の充實に注意すればするほど戰爭の危險は免れぬからである。されは、勞農政府は徹底的軍備全廢を立案して國際聯盟主催の軍縮準備委員會に提出した。しかし、これは各帝國主義國家の反對するところであつた。勞農政府はこれにもこりず各國の民衆の負擔を輕減する機會を逸しない爲めに、又軍備全廢に至るべき過程としての軍備縮少の具體案を提出したが之亦否決の運命に立至つた。彼等は軍備縮少なしの平和、軍備撤廢なしの不戰案のあり得ない事を知り乍ら反對した。然るに、各帝國主義國家は不戰條約に調印した。」

勞農ロシヤはかくして、先づ各帝國主義國家の基礎的矛盾を暴露してゐる。

「不戰條約の提議が各國に持ち出されるや、其の一切の討議からわが勞農聯邦を除外した。單に、ロシヤはかりでなく、支那、トルコ、アフガニスタンの樣な世界平和と絕大な關係を有してゐる諸國を除外してゐる。この事實は、不戰條約がこうした國々を對象とする帝國主義的共同戰線であるやうに見えた。勞農政府は右條約の正文の、正に對して各國同等の權利を要求するものである。」

「不戰條約の定義する戰爭の解釋に反對するものである。戰爭には各帝國主義國家間の國策の具としての戰爭はかりではなく、國民的獨立運動を壓迫する一切の戰爭をもふくまれてゐるべきである。」

「英國の提出した保留條項によれは、英國は特殊地域における行動の自由をもつものとされてゐる。英國の所謂特殊地域が若しカナダ、印度の自治領を意味するものなら、他國からの領土侵略の條項に包含されてもいゝ筈だ。英國が其等領域以外の特殊領域に對する

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

行動の自由を固執してゐるのは一體何を目的としてゐるのか、不戦條約がこうした英國の權利を承認するならば、不戦條約は世界平和の爲めの條約ではあらずして、帝國主義遂行の手段であると政府は斷ぜざるを得ない。」

「不戦條約は、其の基本的問題であるべき軍備問題、又世界平和への障害である條件を保留する事によつて、事實上すでに骨抜きされたものである。

然し乍ら、勞農政府は、この不戦條約を機會として軍縮問題、其の他一切の平和への手段が提供され、討議される事、又世界平和への努力の表現として、不戦條約に參加する」

二

以上によつて不戦條約の本質的矛盾がはつきりと見られる。米國の一ブルヂョア自由主義者においてすら、

「自國の權益を擁護すると云ふ名目の下に行はれなかつた戦爭がかつてあつたであらうか」と冷笑してゐる。

正しく不戦條約は、世界平和の爲めに何等の役割をも持つものではない。それを支持してゐる、各帝國主義國家の矛盾對立は愈々激しくなつてゐる。各國はせつせと、民衆の血税を搾りあげて、軍備の充實に血眼になつてゐる。この事實からして、各帝國主義國家に戦爭と徹底的に抗爭する意志が全然缺けてゐると云はねばならない。

吾々は正しく戦爭の時期に生活してゐる。吾々は、戦爭を防止する決定的力は無産階級の握るところである事を確信するものである。無産階級は戦爭は一部支配階級の野心を滿足せしめるに過ぎぬものである事を知りぬいてゐる。殊に、來るべき帝國主義戦爭は、必ずや帝國主義同志間の戦ひに終るものでなくして、世界に澎湃と惹きおこされてゐる無産階級の勢力を斷壓せんとするに違ひない。否、すでに各國は戦爭の準備が、無産階級の政治的躍進をおさへつける事によつて可能である事を信じてゐる。八月三十一日の全國非戦同盟の演説會が中止に次ぐ中止の比類なき斷壓の下に終つた事が何よりも雄辯にそれを物語つてゐる。

吾々は、この襲ひくる帝國主義戦爭の危機と戦はねばならぬ。全民衆は、かつて子を失ひし親、夫を失ひし婦人、兄を失ひし者、弟を奪はれし者、いな、一切の民衆は悲慘極まる戦爭に一大抗議を送らねばならぬ。

三

されば、吾々は全國非戦同盟を支持して、積極的運動を開始しなければならぬ。それは一切の急進ブルヂョアジー、平和論者、等を網羅した同盟である。しかし、その中心指導權は無産階級によつて固く握られてゐる。然らざれば、この同盟の前途は暗澹たるものであるが日本勞農黨その他の無産政黨は、積極的支持を聲明してゐる。

世界平和は、帝國主義者の所謂「不戦條約」によつて確保されるか。否、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事日誌

自八月二十二日
至九月二十日

■八月二十二日
鐵道現業員第五回總選擧に日本最初の婦選實施さる

■八月二十三日
天理教研究會の不敬事件發表さる

■八月二十五日
大阪郊外の諸電鐵會社、電燈電力値下發表、英國船舶、綿業關係の諸會社に依り支那產業振興を名目とする一億五千萬圓以上の借款團組織さる

■八月二十六日
一時解散せる支那天津の卅五の勞働組合は合同す
社民黨主催上野に於て東京市會糺彈の市民大會開かる

■八月二十七日
巴里に於て各國全權不戰條約に調印、參加國四十餘國。ソヴエート、ロシヤも參加の意嚮あり
支那交渉決裂、再びコロンバイル獨立運動起る
國際運輸自働車部に爭議起る

■八月二十九日
九州の共產黨員卅九名起訴

■八月卅一日
全印度會議は自治派の主張を容認し、自治要望の決議を英本國に傳達す。

■九月　日
全國農民組合中央委員會は戰線統一問題の具體的解決を計劃す
民政黨不平組の反幹部黨刷新運動起る
礦夫勞役扶助規則改まる（十六歲未滿者及び女子の坑內勞働禁止等）

■九月二日
國際無產青年デー、二萬社會科學研究會員檢束さる

■九月三日
英國勞働組合會議年次大會は六十年紀念祭を兼ね、スウアンシーに開催、海員勞働組合を除名する等、左翼排擊的空氣に支配さる
第九回國際聯盟總會ジュネーブに開催

■九月四日
床次氏主盟の新黨俱樂部議員廿五名に達す。
無產大衆黨本部に赤化防止團員亂入暴行す。

■九月七日
民政黨反幹部派は黨政一新會と稱し各黨派の横斷的政黨組織企劃を發表す
國際運輸爭議解決

■九月八日
無產大衆黨、秋田勞農黨、兵庫大衆黨、關西大衆黨（京都）の合同成立

■九月十日
京都地方の共產黨員卅一名起訴

■九月十一日
文部省思想善導費十四萬六千圓餘責任支出に決定

■九月十三日
富山縣滑川町電燈爭議は電燈町營に決し解決す

■　月十五日
大阪地方共產黨員九十七名起訴

■九月十六日
長野地方共產黨員九名起訴
北支直魯軍奉天に寢返り反擊し、奉天軍直魯軍、國民軍の三巴戰となる

■九月十七日
札幌地方共產黨員卅六名起訴

■九月十八日
新潟地方共產黨員十六名起訴

■九月十九日
直魯軍潰滅す

■九月二十日
伊國ファシスト黨大會議の結果、同會議は事實上の統治者とする法案を可決。
皇位繼承に就きても同會議の決定によるものとし、ムッソリーニの野望漸く露骨となる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞農政黨と合同問題

上杉定義

一

勞農戰線の統一は長い間我國の無産階級に課せられた問題であり各勞農政黨もこれに對しての忠實ぶりを示す事によつて、自黨の立場を擁護するための一つの武器たらしめてゐた。

然しながら、一度合同實現のための具體的問題に入るや、常に外交的言辭を弄し合い、何等かの理由によつてこれを阻止し實質における分裂行動を合理化せんとして、デマゴギーの製造に沒頭する事が、各政黨の指導者達の一つ仕事であつた。ために合同問題は增々その實現に困難を加へるのみであつて戰線統一論は徒らに空想的な架空の問題の如く思わしめたのである。

この各勞農政黨の指導者によつて行われた泥合戰の中にあつて、殆んど絕望的な問題の如き合同問題も戰鬪的な勞働者、農民によつて追々と整理せられ、全國農民組合の成立によつて農民戰線の統一を斷行し、勞働組合全國會議の準備會も回を重ねる事二回に及んで經濟戰線の統一は一段と合同の機運が熟して來た。

この經濟戰線統一への忠實なる歩みは、必然的に行詰らんとする勞農政黨の合同の打開のために働きかけずにはゐない。最近に至つては左右中間の何れの政黨も少くとも從來よりは眞面目に合同問題に對して、具體的方法を講ぜんとしつゝあり、外交的合同論より時に一歩進出して來た事を認める事が出來る。

二

三月十五日事件以來、支配階級のために遂に解散された新黨準備會は「大衆の威力をもつて合法性を戰ひ取れ」「結黨迄 三 大衆を獲得せよ」の如く、現在の我々にあつては到底不可能なる問題を提起して、一般大衆に重き負擔を課し、たゞ徒らに英雄的言辭を弄するをもつて滿足し、合同問題に至つても準備會そのまゝの姿をもつてこれに望まんとしたのである。

總選擧以來の支配階級の狂暴の前にあつては、徒らざ彼等に解散の口實を與へる事は警戒しなくてはならないが、合法性を戰ひ取らぬ準備會のその儘の入黨はその必然の結果として、他黨を崩壞せしめる事となる。それに對して日勞黨が拒絶したるをもつて合同に不忠實なるものとして攻擊するに至つては、彼等の階級心をも疑わ

ざるを得なかつたのである。

かくの如き態度を持して來た新黨準備會の當時における客觀的狀勢を見る時、或は彼等に首肯わしむれば止むを得ない事であつたかも知れない。三一五事件以來神經過敏となりし田中反動內閣は、例へ綱領、政策を右翼政黨の水準に迄引き下ても、舊勞農黨の再建は不可能であり、御大典を前に控へて勞農政黨に彈壓の魔手を振いつゝある時にあつては、非常の困難であつたであらう。

それと同時に、革命家としての夢に陶醉した前衞戰士達は、支配階級に解散された憤激とそのヒロイズム的な悲壯なる決心とによつて、合法性を極度に壓縮されつゝも僞官憲の前に結黨の許しを乞ふは、所謂官許黨たる事も潔しとさせなかつたであらう。そこにおいて合法政黨否認の傾向は現れ、「例へ合法政黨にあらざれども、我々の鬪爭は勇敢に續ける事が出來る」「我國の勞働者、農民は未だ合法政黨以外の鬪爭の經驗を有せざるが故に、合法政黨に依らざれば鬪爭の不可能なるが如く信ずるのである」等の合法政黨否認を合理化せんとしてかくの如き理論を生むまでに至つた。

然しながら、これを合理化する事によく務めると雖も、現實當面の問題として、到底我國の現狀に入れられざる時、彼等指導者に從つて躍る事は出來なかつた。そこにおいて、始めて永き夢よりさめて現實を眺めた時、そこには無產大衆黨の出現ありて、舊勞農黨員の中に着々と鬪爭を續けて行きつゝあり、新黨準備會も自黨防衞の一手段としても、例へそれが官許黨であれ、鬪爭によつて獲得した黨であるにしろ、一度は合法政黨としての形態を備へなくてはならぬ必要に迫つた事を知つた。

斯うした客觀的情勢の變化と新黨準備會の認識不足であつた事を悟つた彼等が八月二十三日の大山氏邸において合法政黨組織に立戾る事にその方針を決定したのである。この結黨方針は「三萬の黨員獲得」の如き或は「我々の鬪爭によつて合法性を戰ひ取れ」でも無くして、舊幹部は一時辭任、綱領、政策の草案も豫め官憲の內閱を必要とし、その折衝によつて修正する事になつた。これに對しての反對意見は東京合同その他より提出されたが、兎に角合法政黨否認より合法政黨結成への正道に忠實なる歩みを進めて來た事は、日勞黨との合同問題の中にあつたその障害物が取除かれる事となり、その結黨は少くとも左翼戰線の統一を速かならしめる重大なる意義が含まれてゐる。

三

少くとも我國の勞農戰線の統一の聲が擧つてより、これを阻止し分裂せしめた原因の一つは、左右兩翼の指導者であつたと言へる。殊に右翼幹部鈴文・松岡の如きに至つては愈々勞働貴族としての容姿を整へて來た。關西における猛烈なる支持ありし全國勞働組合會議準備會をして、總同盟不參加によつて經濟戰線の統一を遲延せしめたのも彼等であつた。それはかりでなく、世界的勞働ブローカーとして有名なトーマ來朝を機としてアジヤ勞働會議の大準備を成し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働者、農民を帝國主義ブルヂヨアジーに賣り渡さんとして、鈴文一派は双手をあけて歡迎してゐる。

かゝるダラ幹さ勇敢に戰つてこのコソ泥式策動を尻目にかけて社民黨の大衆は左翼的に進出して來た。殊に關西における社民黨大衆は合同問題に對つて一段さその躍進ぶりを見せてゐる。大阪聯合會は社民黨の中軸とも言ふべき勢力を擁してゐるが、この關西大衆の全國勞働組織に對しては、總同盟幹部の不忠實ぶりに反抗してその成立のため勇敢に闘つてゐる。八月號の時評欄において私が總同盟の幹部の傾向を逃說した所、それに對して猛烈なる抗議を一部の人より受けたのであつたが、「我國の一般情勢が未だ總聯合すべき情勢に達してゐない」さの理由で中央委員會において不參加を決定した幹部の專横は關西における大衆の進出によつてこれを實證したのである。この左翼のアッピーリングさ勞働者、農民の進出は社民黨内部の合同反對論者をして讓歩せしめ、日勞黨さの合同問題も個人的にその結成に盡力する事さなり、ここにも合同論の一進歩を見受けられる。

社民黨内部に芽生えつゝある社會青年同盟準備會は、右翼的指導精神に反逆して、單なる民主主義の擁護をもつて滿足せず、左翼指導意識迄進展せんさして戰ひつゝある。これに對して社民黨幹部は、この内部よりの反逆兒に驚き、これが壓縮のために全力を注いでゐるため、今一應は右翼青年同盟の結成に止めざるを得ないかも知れないが、總ては統一の使徒さして社民黨ダラ幹を屈服せしめるであらう。

四

最も合同に對して有利の立場にあり、この有利の立場を利用してその速成實現のために割合に忠實にその任務を遂行して來たものは日勞黨であつた。合同問題もその實現を少くとも一番期待せられたのは日勞黨さ勞農黨であり、昨年の各政黨の中心問題は一に合同問題であり、その後も幾度さなく繰返されたが、勞農黨の指導精神の個執によつて一頓挫を來し、勞農黨の無條件合同論さ共に、日勞黨の單一絶對條件出で、二頓挫し、勞農黨の解散によつて三頓挫したのであるが、それに對する批判は幾多繰返されたため、再び述べる事は避けるが、日勞黨は常に合同問題には忠實であつたが、最近に至つて愈々進展し、「合同は緊急を要するが故に、最も可能性のある部分的の合同にても成されねばならぬ」さの叫びが高く愈々最近開かれた中央執行委員會によつてその態度の決定を見るであらうが、他黨に比して一段の進展を示してゐる。

無產大衆黨の出現によつて日勞黨内部にあつても、意見の一致を缺く點のある事も致し方もない。例へば關西側における日勞黨は社民黨さ密接な關係を有し、關東側の一部には無產大衆黨さの合同に積極的に力を盡しつゝあり、中間政黨さしての苦悶はある。

清算主義、分裂主義さ罵られつゝ遂に結黨した無產大衆黨は戰線統一を唯一の中心スローガンさして生れたのであるが、未だ結黨

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

許もなくして、批判の余地は少いが、八月二十九日三地方政黨との合同によつて、勞農戰線の進出的再建の第一歩を踏み出した。清算主義、分裂主義の陽聲に答へる事は、今後の闘爭による實踐によつてのみ、成す事であるが、少くとも無産大衆黨の出現は合同問題を再燃せしめた。

五

以上によつて、各政黨の合同への動きを一通り見て來たのであるが、この傾向より見る時確かに勞農戰線の統一に一歩前進したと言ひ得る、たがこの合同問題の裏面には、幾多の難關障壁ありて、この表面上の事實を見て、樂觀する事は出來ない。

新黨準備會の内部にあつても、合同の前提條件である合法政黨の結成も、單に無産大衆黨の防戰のために一時的戰術としての合法政黨を企圖する一派と、その具體的組織の過程において對立して眞に合同のために合法政黨を組織せんとする二派の對立あり、合法政黨成立後においても、如何に轉變して行くかは絶對に豫測されない。

それと同じく最近における海軍勞働組合聯盟の社民黨との合同機運が熟したるに對して鈴文、松岡、赤松の如きは右翼政黨の結成を夢見て「量的合同を排して、質的合同へ」の如きをもつて社民黨大衆の合同の要望を抑へつゝあり、合同問題の前途は實に暗澹たるものがある。

合同問題は各政黨を通じて幾多の障害を生じてゐるが故に、これ迄の合同問題に對しての努力に倍し、決死的闘爭を要する。單に自己防衛の手段として合法性を獲得するのみで、何も分裂行動を捨てようともしない左翼宗派主義を克服し、右に勞働ブローカーの一派はことごとに支へ、階級に勞動者農民を賣り、統一による無産階級の增大力を阻止せんとするに對してこれを牽制しなくてはならない。

勿論この合同を阻止せんとする分裂主義者は、あらゆる理由の基に自己の行動を合理化せんとして、デマゴーグを飛ばして民衆を欺瞞するであらう。しかし如何に粉飾して、合理化せんとしても、それが實踐において、戰線を分裂するものなる時は、斷乎としてこれと闘爭しなくしてはならぬ。それは唯全國勞農大衆の大衆的壓力によつてのみ可能であり、それが我國のプロレタリアに課せられた歷史的使命である。特にその具體的方法としては、經濟戰線統一のために開催せられたる全國勞働組合會議、全國農民組合會議は、これに絶對に參加し、これに參加する事によつて、合同統一に對する一つの連鎖とする事は、必然に政治戰線統一の實現の可能性を增大せしめる事となる。

今や支配階級によつて、治安維持法改正事後承諾案、欺瞞的勞働立法の上程を來議會に成されんとしてゐる。これに對しての戰備は既に我々勞農戰士によつて整へられなくてはならない。

全國農民組合會議、全國勞働組合會議を支持して、戰線統一を實現せしめよ。（九月十日）

講座

無産政黨とは何ぞや

福田狂二

こゝに掲載するのは去る二月の總選擧に私が「立候補の挨拶」として島根縣第一區の有權者諸君へ配布したものである。編輯部から今月號には「講座」がないから是非このまゝ題を變へて載せてくれとの賴みであつた。これは「立候補の挨拶」としても甚だ不備なものであつた。けれども、この挨拶狀によつて一回も演說しない所から、豫期しない投票があつた事は事實である。しかし、このまゝで「無産政黨とは何ぞや」と題して講座にするのも甚だ變なものであるが、無産政黨の使命は不充分乍ら述べてある。材料も古いものであつて讀者諸君から定めし苦情が出る事と思ふが、それは編輯の方へ云つて下さい。

はしがき

普通選擧による第一回の總選擧に臨んで、不肖私が小作人、勞働者、俸給生活者、小賣商人諸君をもつて組織された日本勞農黨公認候補として、出馬する理由は、一は、日本勞農黨の立黨の精神と私の年來の主張を諸君の正當な批判に訴へ眞に民衆政治の土臺を築きあげようとする熱烈な希望と今一つは、既成政黨の腐敗、墮落、金持地主本位政治の爲め、愈々生活が苦しくなつた日本の民衆諸君の双手を擧げての總態殊に私の郷里である島根縣第一區の小作人小市民その他民衆諸君の火の出る様な要望に感激したからであつた。かうした民衆諸君の輿望を一身に荷ふた以上は、死を期しても民衆の生活擁護の爲め民衆の生活を窮乏のどん底に陥入れた民政黨、政友會の金持達の政黨を堂々と向ふに廻して戰ふべく突進する事に決意した。

諸君のすでに御存知の様に今回の選擧は普通選擧であつて、新に今迄口を塞がれて金持達の議會を齒ぎしりしながら見てゐなければならなかつた一千萬の無産階級を相手とする事が出來る以上、私達は愈々使命の重大を感じてゐる。

私は叫びたい。

「小作人、勞働者、俸給生活者、小賣商人諸君が民政、政友の既成黨に信賴してゐる事は自分達で喜んで長く貧乏してゐやうとする結果になるのだ。何時迄も高い小作料を拂ふ事を喜んでゐる結果になるのだ。小賣商人の諸君は民衆の貧乏の爲め品物が賣れて行かない事を喜んでゐる結果になるのだ。「天は自ら助くる者を助く」だ。小作人や勞働者が貧乏を追拂ひ、小供達に暖かい御飯と着物、學用品を與へやうとする愛があるならば、無產階級の生活をおびやかす金持政黨を蹴飛ばして、自分達の政黨日本勞農黨に一票を投ぜよ」と。

吾が親愛なる小作人、勞働者、俸給生活者、小賣商人諸君。

民政黨と政友會を一寸見ると喧嘩してゐる樣に見えるが吾々貧乏人いぢめの金持政黨である事においては二つとも同じい。その證據には二つの金持政黨は無產政黨を共同して叩きこはそうとしてゐるけれども、私達の政黨は血と涙の歷史をもつてきづきあげられたものである。三黨首妥協とか何とかするゴマ化し政黨と違つて切れば血の出る政黨だ。吾が日本勞農黨が日本全國小作料合理化運動や失業反對、賃銀値下反對、電燈料金値下運動が頑固な冷酷な資本家と衝突して爭議となつた時、民衆の先頭に立つて生活擁護のため戰つた事は、如何に民政、政友の諸君が非難、攻擊しようとしても嚴然と民衆の心にきざみつけられた、切れば血の出る事實である。

いざ、小作人、勞働者、俸給生活者、小賣商人諸君。

私は、今少し微に入り細をうがつて日本勞農黨の使命と私の立場を發表したい。

日本勞農黨は何故生れたか

社會の柱は誰れか

世の中で一番大切なものは勞働である。百姓や勞働者がなかつたなら、皆飢死して了はねばならぬ事は分り切つた事である。社會のすべてのもの、即ち、敎育、政治、宗敎とかいふいろ〳〵なものを支へてゐる、家で云ふ大黑柱の役目は小作人や勞働者である。「おれは金持だ」と云つて自慢して見たところで、働く者が無くて米や野菜や着物がなかつたら駄目である。「おれは大地主樣ぢや」と云つて見たところで、働く小作人がなかつたら、稻は出來ないで草ばかり生へて荒れて役に立たない樣になつて了ふ。「おれは澤山の税金を納めてやるから國家や縣や市町村がやつて行けるのだ」と云つて見たところで、遊んでをつて税金の税の字も生れて來ないから、矢張りその税金の全部は實際働いてをるものが作つたものだと云ふ事が分る。その上に地主や金持が遊んで贅澤してゐる費用まで作つてやる。さて、勞働者や小作人は、遊んでゐる地主や金持達に「さあどうか遊んで自動車を買つて乘り廻して下さい」と云つて働いて得たものを喜んでもつて行つておしつけるかと云ふに そうでない。地主や金持は、勞働者や小作人が働いたのを强制的にでも取立

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てるように出來あがつてゐる。「泣く子と地頭には勝てぬ」といふ昔の言葉がある。徳川時代には殿樣といふ人があつて百姓の作つた米を取立てたものである。「出さぬ」とか「負けてくれ」とか云へば「なんだ土百姓が」と云つて刀のつは元を叩いておどしつけたものだ。

地主は土地を私有し、資本家は工場を所有して了へば、小作人や勞働者はどうしても地主の土地を小作し、勞働者は資本家の工場へ雇入れて貰はねばならぬ。そうしなければ、働く事はおろか、食ふ事さへ出來なくなる。其處で、世の中で一番必要な土地とか工場とかいふ生產機關を所有した金持等は土地を借して小作料を取立て勞働者へは實際の力よりはるかに安い賃銀をやつて、その殘りをふところに入れる。働いたものゝ上前をはねて了ふ樣な世の中の社會組織の中では、必ず、働く者は貧乏する、社會の柱である小作人や勞働者が貧乏神にとりつかれる。

稼ぐに追つく貧乏あり

一生懸命働け働け働きさへすれば貧乏は逃げて了ふ。怠けてゐると貧乏になると普通云はれてゐる。怠けてゐて貧乏になればそれはあたり前であるが、働いても働いても貧乏になつたら不思議である。その不思議な事が現在もあるから不合理である。例を取つて見れば小作人が朝暗い中から夜は星の出る迄汗水流して働いても、收穫の大半をすつかり地主の倉へおさめて了ふから、後には一年の食糧さへ殘らず、ぼろぼろの屑米ばかり食べてゐる樣な始末だ。殊に不作でもあつた時は大變だ。そんな實例は私がこゝでくどくどと云はなくてもみなさんがよく知つてゐられる通りである勞働者たつてその通りで、安い賃銀では、家庭を滿足に養つて行く事が出來ない。その上に何時首が飛ぶか知れない。首が飛ぶと云ふ事は、刀で切られる事では無いが仕事が無くなる事を首が無くなると云つてゐる。失業したらどうなる。食つて行く事が出來なくなる。「稼ぐに追付く貧乏なし」なんて言葉は眞赤な嘘だ、働きさへすれば後から貧乏がにげるどころか影法師の樣にくつついてくる。

貧乏の原因は何か

さて、働く者はこうして貧乏して苦しんでゐるがこれは一體どうした譯か。怠けてゐないにかゝはらず、貧乏するからには、それには何等かの理由がなければならない。それは前にも一寸ふれておいた樣に、遊んでゐる奴等が一生懸命働く者の後から、澤山の上前をはねて行くからである。

地主は小作料として取立て資本家は勞働者を長い事使つて短い時間だけの賃銀を支拂ふからだ。また、その外、現在の政治が地主本位資本家本位の爲め、地主の利益の爲ならどんな事でもするが、小作人や勞働者の事なら、食ふが食へまいが勝手だといふ樣な政治であるから、愈々貧乏するのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現在の政治

悪い政治の下には必ず、人民が貧乏して苦しむのは世の中の法則だ。有名な佐倉宗五郎は、悪い政治をやつて人民から血の出る様な取立てをやつた殿樣に向つて、百姓の爲め死を賭して戰つた人である。悪い政治は、佐倉宗五郎の昔を見なくても、現在を見てもそこら中にころがり横行してゐる。その證據には人民が愈々貧乏してゐるではないか。それは、現在の政治が働く者をおろそかにして、遊んでゐる地主や資本家の利益の爲めばかりの政治だからだ。こうした政治は今迄、民政黨とか政友會が金持や、地主本位の政治をやるのは、その代議士が金持である上に、今迄の選擧が貧乏人を除外した制限選擧であつたからだ。

民政や、政友は口を開けば自分は國家の選良だと云ふ。ところが彼等の政治は國民の要求や國民の生活の安定なんて問題にしてをらない。私利私慾の爲めの政治である。かの松島事件の如き、また昨年春の金融恐慌以來、小數の金持の爲めなら、臨時議會を開いてさへ、金持の不始末の尻ぬぐいとして九億圓といふ金を民衆の上におしつけたに徴しても既成政黨は到底眞の民衆政治の實行者となる事は出來ない。

民衆の自覺

又、佐倉宗五郎の例を取らう。悪政の下に佐倉宗五郎は百姓の爲めに戰つた。今や、日本の農村、工場においてかゝる不合理な高い小作料を取立て、又は不當に解雇し賃銀の値下げをやるところの資本家地主に對して、勞働者、農民は團結して立上つた。そして、勞働者は勞働組合、小作人は農民組合をもつて、團結の力をもつて民衆の生活擁護の運動を起しはじめた。そして、組合の力はさしも横暴な地主や資本をこらしめて、地位は次第に向上して行つた。ところがこうして、組合が大きくなり、民衆の生活が向上してくると地主や資本家に取つては大變不利益な事になつて行く譯になるのだ。そこで地主や資本家は、自分達の代表者である政治家をして、こうした民衆の運動を壓迫しはじめた。しかし、眞の民衆の爲め戰ふ正義の士はかゝる壓迫をもこりず、民衆の先頭に立つて奮鬪した。しかし、私達無産階級は單なる組合運動だけに止まる事は出來なかつた。民衆は吾々の自らの力をもつて、自らの政治を行ふべきである事を痛感した。

「天は自ら助くるものを助く」

こゝにおいて、吾々勞働者農民は吾々の政黨無産政黨を結成して民衆の爲め既成政黨をコラしめる事になつた。

無産政黨は眞に民衆の味方

無産政黨の威力を示せ

無産政黨は、民政黨や政友會とは違つて小作人や勞働者等社會の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生として働きつゝある者の利害を代表する政黨である。働いても働いても貧乏する民衆の眞先に立つて、小作人や勞働者、小賣商人の爲め最善の努力を拂ふ政黨である。小賣商人、小市民の諸君は生活の窮乏が、小作人勞働者の生活の窮乏の結果である事を知られたなら、喜んで無産政黨を支持しられるであらう。

無産黨は小作人勞働者の味方であれば、それは必ず小作人や勞働者の膏血を搾り取る地主や資本家の反對側に立つ事になる。されば金持の政黨は、權力を濫用し、或は金をもつて民衆をごまかして行かうとする。けれども民衆はゴマ化されてはならない。

無産者の味方は金持ではない。金持は貧乏人が無ければ一日も生きて行けないから吾々の反對だ。

見よ、吾々無産政黨の主義主張を、曰く

失業者を救濟せよ。

働く農民に土地を保證せよ。

小作料を合理化せよ。

すべての人民に仕事を與へよ。

かの府縣議戰において、民衆の力をもつて送り出した無産者の代表は如何に目ざましい活躍をなしつゝあるか。栃木縣においては只一人の無産議員、日勞黨の石山寅吉君は孤軍奮鬪遂に自轉車税を撤廢した。そして、今尙無産階級税の撤廢を主張し、税金は地主資本家に拂はせろと云つてゐる。尙兵庫縣會においては日勞黨選出の行政坂本、勞農黨の長尾の三縣議が轡を並べての奮戰振りは、縣會の空氣を一新させてゐる。長知事の社會政策論に對しては、行政縣議が多年の經驗をもつてこれを欺瞞政策なりと論じ、坂本君は、内務部長、警察當局の選擧干渉の事實を指適して猛烈なる攻擊をしたため縣議場騷然として殺氣立つた。或は農村問題に關する質問、又は兵庫縣民によつて未知の世界であつた、そして今まで既成政黨が同じ穴の何こかで絕對にふれる事を避けてゐた土木事業に關する質問をして既成政黨を青くせしめる等、兵庫縣會を唸らせてゐる。

以上を見ても無産黨こそ、吾々の味方であり、公明正大な政治を行ふものである。之れに反し既成政黨のやる政治のすべては、みな金持本位で無産階級をゴマ化、事はかりである。その一例を農民諸君に一番密接な自作農創定案を解剖すれば分る。

百姓をゴマ化す自作農創定案

既成政黨の農村振興策の金看板として自慢してゐるものに自作農創定案がある。ところがこの政策も實は農村振興ではなくて、小作人いぢめの地主様萬歲の策略がひそめられてゐる。既成政黨は云ふ小作人を自作農にすれば農村が振興されると。それは眞赤な嘘だ。農村の疲弊は遊んで食つてゐる連中がはびこつてゐるのを許容してゐる組織全體が悪いのであつて、小作人が自作農になつたからとてすぐ農村が振興され、農民のふところ具合がよくなると云ふ譯ではない。現在は、小作人より自作農の方が餘計苦しい立場にある。農林省の農家經濟調査にも明かなる如く小作人が一ケ年四十四圓十錢

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

損してゐる時に、自作農は百八十一圓餘も欠損してゐるからで、毎年一萬戸づゝ自作農が小作人になつて行く樣な狀態であるから、農村の振興どころか反つて農村の混亂を惹起す樣になる。

ところが、この自作農創定案は地主樣に取つては大變都合のいゝ政治である。何故なれば、農業が他の工業に比して割が惡くなりかけたと同時に、小作人が次第に自覺して高い小作料を合理化せよと云つて爭議がおこる樣になつてふところ具合が一層惡くなつたので地價が下落しない中に高い値段で小作人に賣つけて、他の景氣のいゝ商賣に代へようとするづるい考へである。しかも、今迄うんと小作人から取り立ててもうけた上でだ。小作人がだまされて土地でも買つたら大變だ。毎年、今度は地主に代つて政府が小作料に相當するものを取立てる。そうなつたら、不作でも凶作でもお構へなしで取立てられる。滯納すれば土地は取上げられて了ふ。

自作農創定案は農民をだまして、地主の御氣嫌を伺ふ欺瞞政策である。

民衆奮起の秋

兎に角、既成政黨の政策は到底吾々が信頼する事が出來ない。こうした政策者流に何時迄も政治を任せておけば民衆の生活は益々窮乏し、種々な社會悲劇を發生するであらう。民衆を踏臺にする事が既成政治の法則である以上彼等のかゝげるところ盡く民衆の敵である。地租移讓も、肥料政策も、表面一寸立派に見えても、いづれも勞働者、小作人の負擔となるのだ。成程市町村へ地租を移讓すれば、少しは樂になるかも知れないけれども、それによつて穴のあいた中央の財政は、民衆泣かせの公債か増税かである。

吾々無産階級は、金持政治にたよつては駄目だ。吾々の政黨無産政黨の力をもつて、自らの地位の向上を促進すべしだ。今や、總選擧は來た。吾々は金持の買收や切崩しで固めた八百政治を蹴飛ばして、吾が無産政黨を支持すべしだ。

四　無産黨の中に於ける日本勞農黨の立場

現在無産政黨は四つある。これは、色々の事情の爲めに分裂してゐたのであるが分裂してゐるのが民衆の力を示して行く上に非常に不都合な爲め今や無産黨の合同は着々と實現されつゝある。

吾が日本勞農黨は、この無産黨の大同團結の爲めに生れ民衆の爲め常に戰つて來た。

見よ。いかなる僻村僻地においても農民、勞働者、小市民の生活が窮乏してゐるところ、亦、農村に工場に坑山に民衆の生活擁護の運動があるところ、必ず吾が黨の旗はひるがへつてゐるではないか。

吾人は無産階級の行くべき道と日勞黨の大精神をあまねく民衆諸君の正當な批判に訴へて、民衆政治の基調を建設せんとするもので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。

普選を徹底せしむる者は民衆自身だ

民政黨は「自分こそ普通選擧の實行者」だ「自分こそ民衆の味方だ」と云ふかも知れない、馬鹿を云つちやいけない、民政黨が普選を實行したと考へるなら大きな間違ひだ。民衆が普選を要求したからこそ出來たのだ。

民衆が普選の徹底を要求してゐるにもかゝはらず、不徹底極まる普選法をもつて、民衆の味方を僞候補せしめない樣にしたものは誰だ、普選の大精神であるあまねく民意を議會に反映する事をさまたげたものは一體誰だ、しかも現在の民政黨にはかつて普選に反對した政友會の殘黨がゐるではないか、主義主張か自分達の御都合によつて猫の眼の變る樣にくるくる變る連中が「自分こそ普選の實行者だ」など、大きい顏をする譯もあるまい、もし彼等が眞に普選の實行者であるならば普選法の通過と共になぜ制限議會を早く解散しなかつたのか、そして天下の輿論をもつて公明な政治を行はなかつたのか三派妥協さか待合政治をもつて命脈を保つ事に汲々さしてゐたのは一體誰れた、既成政黨はいづれの方面より見ても普選の實行者ではなく、その破壞者である。

見よ政友會は昨年秋の府縣會議員選擧において大々的地方官の更迭を行ひ選擧干渉をやつて普通選擧本來の大精神である言論の自由を束縛したのを見ても普通選擧を生かすものは既成政黨ではなく無産政黨である事が分るではないか。

吾人は明治四十年以來大井憲太郎安部磯雄加治時治郎氏等と共に普通選擧同盟を創設し天下の輿論を捲起し、大正五年六年に請願運動をしたが大正七年の請願運動は遂に國民の輿論さなつた。

これは普通選擧同盟會の力であつた。大正七年は卅萬の請願案をたづさへて私等は民衆の先頭に立つて議會に迫つた。そして普選を要求した。

此事を幾回さなく重ねた爲め警視總監を詰問し普選運動を妨害するさ言つたから大に詰問して彼等の心膽を寒からしめた。此爲め私は禁錮三年に處せられた、しかし翌年において私の入獄中普選は通過するに至つた。之は在野黨なる憲政會が民衆の輿論をもつて政府を攻擊する材料さしたこれは今迄普選に反對してゐた憲政會さしては不思議である。憲政會内閣當時普通選擧によつて議會を解散するが當然だつた。然し之に反對した。今日に至つて普選を憲政會がやつたさ云ふなら舌を釘拔で拔いてもよい。憲政會の某は「普選獲得史」を出してゐるが之には吾が普通選擧同盟の事は一事も言はない。彼等は斯の如くゴマ化そうさしてゐる。彼等既成政黨は普選によつて沒落してしまうから普選を喜ぶ管がない。

現在の普通選擧法は普選の本來の大精神を骨拔きしてゐる、保證

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

金制度の如き民衆の代表を押さへつけようとする大缺陷をふくんでゐる。之に對して普選の御様、本家本元の様に云つてゐる民政黨は何等改正しようとはせぬ。

普通選擧を眞の普通選擧たらしめるものは無產政黨をおいて外にはない。

吾が日本勞農黨の徹底普選獲得の運動はこれを雄辯に物語つてゐるではないか。

嶋根縣第一區民衆諸君に望む

普通選擧の使命は民衆政治を出現する事であり、すべての人民に仕事と食を與へる事である。されば、普通選擧による總選擧は、あくまで言論によつて民衆の正當なる批判に訴へる事である。

然るに、昨年秋の府縣會議員選擧において、政友會内閣は如何なる事をしたか。地方長官の更迭をやつて極端な干渉をして、普通選擧の本來の使命をふみにぢつた。今次の總選擧にもまたそうした沒常識な干渉をやり、ある者は金權をもつて民衆諸君の批判力を鈍らそうとするに違ひない。しかし、民衆諸君はだまされてはならない。島根縣民諸君によつて、普選の美果がもたらされる事を私は確信してゐる。吾人の行動は民衆政治を建設すべき希望を實現する以外何物でもない事を述べて民衆諸君の御批判を仰がんとする次第である

（をはり）

市政革新無產者同盟の聲明書

板舟權問題　京成電車乘入問題を中心とする市會議員疑獄事件は今や全市民大衆の面前に曝露されつゝある。市會は魚市場の極めて少數の人々を利するに過ぎぬ板舟權、平田船權の補償金拾萬圓を全市民の激烈なる反對を押切つて可決した。また本所區民の激烈なる反對運動にも拘はらず、突如京成電車の乘入をも通過せしめた。果然この背後には醜惡なる事實がひそんでゐたのである。たがこの事件は、市會伏魔殿の一端を曝露したに過ぎない。更に暗から暗に葬られた東京ガス疑獄事件、或ひは電力購入問題等、問題の存する所、必ず代議士及び市會議員の魔手が動いてゐる。彼等はこれ等の事件を通じて資本家の利益を圖り、私腹を肥して來た。

ブルヂョア階級が市政を蹂躙し自己の利益を圖りつゝある時に、無產市民は益々重り行く負擔に苦しみ、市從業員の待遇改善の要求は事每に蹂躪されて常に生活の窮迫に脅されてゐる、今回の板舟權補償七十萬圓もその全部が一般市民の負擔に歸せしめられんとしてをり、家屋稅所得稅附加稅等は益々重くなるばかりだ。

こゝに東京市從業員大衆の組織せる市電自治會、市從業員組合、市電協同會は無產市民の利益のため鬪爭し來れる日勞黨、新黨準備會、無產大衆黨と共に市政革新無產者同盟を組織して、その攻擊力を集中し、ブルヂョア階級の支配する腐敗市會の徹底的糾彈、市政革新のために蹶起した。

一、板舟權補償を即時取消せ！
一、京成電車乘入認可を即時取消せ！
一、ブルヂョアの壟占する市會を解散せよ！
一、醜類と彼等に策應せる市長を葬れ！
一、普選による市會總選擧を即時施行せよ！
一、市長は一般投票で公選せ！
一、全市民の手に市政を奪還せよ！

昭和三年九月八日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

一月二十八日、×××××の××となりて松本聯隊に入營したる同志赤尾は、去る七月二十四日兵卒を××の如く扱ひたる羽生伍長に××して、遂に、上官侮辱、上官暴行、持兇器上官暴行未遂と云ふ恐ろしい罪名の下に、宇都宮衛戍拘禁所の××につながれた。

松本聯隊は去る濟南事件のため出兵してその××××××××××××、羽生伍長の如きは自己の職務を放棄して、成澤上等兵にその事務を委任して省みず、成澤上等兵は不寢番割付けのため忙殺を極めて、伍長の命を遂行する能はざりしを怒つて、長がこれを毆打したるに端を發したものである。

それ以前にあつて、成澤上等兵が布哇に雄飛して十數年にしてかへり、入營したために三十に垂んとしてゐるを羽生伍長は「隱居」「々々」と呼びてこれを侮蔑したるも成澤上等兵は涙を呑んで忍んでゐたのであつた。それと同時に赤尾君は社會主義者なりとしてその待遇は××を極めたる事は云ふ迄もない。然れども同志赤尾は、所謂主義者扱としてその自由の凡てを拘束され、あらゆる侮辱をも堪へ忍んで、只單なる××××××××××××××××××をなさんとして、隊内にあつては、忠實に軍務に服してゐたのであつた。

然るに前記の成澤上等兵に對する羽生伍長の行爲の餘りに不法なるに憤慨し、伍長の行爲を制止せんとせるを伍長が毆打したるため遂に持兇器上官暴行。上官侮辱、上官暴行の恐ろしい長い罪名と共に軍法會議に附せられるに至つた。

私は去日、同志赤尾を宇都宮の拘禁所に訪ふたが、例へ一時でも階級戰線より離れなくてはならぬ事を慨きつゝ、軍隊内の餘りに階級戰士を冷遇する事をほのめかしてゐた。その面會も監視の下におかれて充分語る事は許されずその眞相すら知る事を得ぬが同君の口より洩れた片々たる言葉の内にもこれを察する事が出來る。

今や豫審は終結して、愈々起訴される事となつた。必ずや彼等は××××××××××××んとするであらう。これに對して我國の辯護士界にあつて令名を唱われた松谷與二郎氏が快諾、進んでこれの辯護に當る事となつた。氏は且つて北原泰作の直訴事件にその名辯護振りを發揮した人であつて、氏の辯護には絕對に期待する事が出來るが、それと同時に同志赤尾に對して一つには××××××××はのためにも同志を軍閥の手よりはねばならぬ（上杉）

◇

進め社の裏は小ガ平の家である。シヤクに障る建物だ。小ガ平の爲めに空氣の流通もよくない。それたから、

「小ガ平、小ガ平」と怒鳴りたてる。近所の連中はビックリしてゐる。何しろ、今を時めく鐵道大臣に向つて「小ガ平」を連呼するものは吾等あるのみだ。小ガ平の女房が時々ピアノを彈いてゐるが何時聞いても眠氣のさす樣な音色だ。永久に上達しつこない低腦兒らしい。

反動主義者、禿チヤピン、「小ガ」よ無產運動は永久に若く成長する。（古川）

◇

富山電燈爭議の中心地滑川町の指導者達は多年「進め」の讀者で

ある。應援に行つた各無産政黨の人々に「電燈爭議は「進め」によつて根強く植つけられた階級意識の表現である」と語つた。見よ、雜誌運動を象牙の塔であるとあざ笑ふ輩は、この事實を見よ。

◇

左翼劇場の公演を見た。仲々立派なものであると思ふ。しかし、鈴木文治を知らず、松岡駒吉の何たるやを知らざる書生ッポがカフエーの場におけるダラ幹に向つて「鈴文そつくり」「松駒の樣だ」と怒鳴つてゐるのは笑止の至りだ。帝國ホテルで結婚式を擧げるブルヂヨアイデオロギイの絶對的信奉者によつて演出される左翼劇場よ。ダラ幹、小ブルが左翼の口吻をもらしかつさいを受けるのも、芝居においてのみ可能な事だ。

◇

赤松克麿君のデマゴーギに至つては、頭腦の健康をうたがはざるを得ない。大阪において「日勞黨」は來年解散されると云つた。社民黨ばかりが、政府のいゝ子になろうとする樣なデタラメは、慨して無産者の物笑ひの種、憤激の種になるからな。

◇

新黨準備會の結黨方針によれば大山を止めて上村進を委員長にかつぎあげるとの事である。學識無く、運動の經驗なく、何のとらへどころなき上村進をかつぎあげる新黨準備會の血迷ひぶりはどうだ。それは、そうとして進め社の前を通る新黨の人々には近頃とんと元氣が無い。

◇

加藤力君、高田保一君、大野佳良君等が入社された。同君等は入社すると同時に各方面に活動される事になつた。大野君は大阪進め社にあつて、仕事される事になつたし、他の二君は東京本部にあつて活動される事になつた。

◇

大阪進め社事務所で研究會が開催されてゐる。全土戰報欄にくわしくその事が書いてあるから、關西の同志で希望の人は、どしどし申込まれたい。

◇

ポスターが作つてあるから、申込んで貰ひたい。但し、折角送つて街頭に張つて貰はなければ困る。集合所でも、掲示版でも、其の他の人のよく集まる目につき易い所へどしどし張りつけて貰はねばならぬ。「進め」は書齋だけの本ではなく、實に街頭の雜誌である。

◇

時は、收穫の鬪爭を前に控へ、農民勞働者の活躍の秋、讀者諸君の益々健鬪されん事を祈る。

（八十一頁より續く）

さ、この時だつた。やにはに現れた警官は彼の利腕を兩方からつかんだ。彼は急に自由を失つたので蟹のやうに捉へられた。

「卑怯。卑怯だ」彼はかう云つて暴れる丈け暴れやうとした。たが駄目だつた。

二人の警官に捕へられた彼はすぐ雨の中を警察へ送られた。

「卑怯だへ。警察へ頼みやがつてこんな者を闘つて貰くなんて」吉はくやしさのあまり聲を上げて泣いた。

そして雨の中を歩きながらも榮養不良のやうに青い顏をした自分の妻や子供の事を思ふと彼は其處へ倒れさうになつた。

（終り）

搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係（五）

加藤利藏

刑餘者の社會的經路

一

前に述べた如く、所定刑期の滿了により社會生活に放たるゝその第一歩から、刑の延長の社會的執行を意味する公權剝奪に由る「刑餘者」又は「前科者」といふ特稱を冠せられることによつて生活的手段の先決要件である就職上の範圍を極度に狹められてゐるといふ關係上――即ち官公衙方面への就職の不可能なるは周知の如くであつて、更に雇傭契約の永續關係が要件となる會社若くは工場方面への就職等も頗る至難であるといふ窮地に放置されてゐるといふ點もあり（尤も雇傭主との個人的な特別關係に繫がる者とか、過去の經歷を餘程巧妙に隱蔽し得る者等は別だが）たとへその受刑中「刑務作業の目的は彼等に釋放後の基礎を授け――激烈なる競爭場裡に生活し得る勞働能力を涵養せしむるにある」なぞといふ、行刑當路者の仰せ通りに仔々として、その服役作業に技術修得に勉勵して見たところで、これまた當局者が屢々言明してゐる「社會における產業制度の全般的傾向が分業制の徹底化に針路を進めつつある故受刑者に對する作業訓練もそれと同樣の方法に據らねばならない」といふ所謂分業的技術の訓練をうけたのでは、既に雇傭契約の永續關係が要件となり、その生產機構も分業的手法に基礎をおいてゐる現在社會の工場、或は會社方面への就職が至難であるといふ以上さうした在刑中の分業的技術の訓練も釋放後の「前科者」の社會生活上の實際問題としての價値も甚だ心細いものであり、他面から見るときは、被支配被搾取階級に對する搾取支配階級のいつもながらな矛盾と僞瞞の片影がこの邊からも窺はれやうといふものである。

然しながら、數ある雇傭主達の中には「受刑といふ過去の經歷が祟つて、擧世指彈の裡に無緣孤獨の身世を喞つ前科者の境遇が憐憫に堪えぬ」とか「犯行の償いとして法定刑期を了し終つた者に對し飽くまで指彈擯斥の冷遇を以てその生活を彈壓するのは人道上、或

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は社會問題上から見るも甚だ誤つた考へでもあり、寧ろ進んでそれらの者に對しては先ず生活上の保證を與へ溫かい社會的同情の手を以て順良なる社會生活の水平まで誘導してやるのが文明的刑事政策の目的にも合流するものでもある故」などといふ一見刑餘者に對する同情氣分滿溢の如くに思はれる俠名の下に主として釋放者保護會經由の刑餘者のみに限つての雇傭を歡迎してゐる、といふやうな者等もある。が刑餘者に同情するとか或はその救援のためとかいふ義言俠語も畢竟搾取階級常套の表面を裝ふ一片の口實に過ぎないものであつて、例を擧げると、刑餘者の雇用を歡迎するといふそれら雇傭者達の先づ全部が釋放者保護會の手を經由せる刑餘者以外の個人としての雇傭契約の單獨交渉等は常に斷乎として拒否してゐるといふ點である。尤も突然「刑務所を放免されて來た者ですから」とその同情を求められたのだけでは果してその者が過去における己れの罪行を改悔し、その雇傭後において刑務所で搾られ通しに搾られてゐたときと同じやうに、唯々として雇傭主の搾取の儘に「善良」なる奉仕をして與れるであらうかどうか、或はまた雇用後の將來に何等か警戒を要する計畫でも抱いてゐるではなからうか？などといふ「杞憂」を抱いて見ねばならないから」といふやうな一面の理由もあらう事故、その者の過去の罪質或は性向、又は受刑中における行狀（無作業成績も含む）等詳しく調査濟みの上「これならば」といふ釋放者保護會の 保證付きの 者ならば安心して 使用出來る故「刑餘者の雇用は保護經由の者のみに限定してゐるのである」など・いふ理由を列べてゐるが、その反面においては、雇傭契約の個人的交渉者――即ち刑務所を單獨にて釋放せる者、若くは釋放せしめられたる者が大部分を含む――の雇傭後の將來に要する「警戒すべき杞憂」とか、飽くなき搾取に堪え得る者があらうかどうかといふ利己打算からの「不安」のあるそれらの雇傭を拒否して「安心出來る雇傭者」であるといふ保護者」であるといふ保護會經由の釋放者を雇傭してゐるといふその底の底には、如上列記の理由とは又別個な意味における、頗る巧妙なる資本家的利己の魂膽が伏在してゐるのである。それは勞資紛爭の際における前科者の利用である、と云つた。さたけでは一寸分り難くからうと思ふ――即ち釋放に際し保護會に吸收され、更にそれら刑餘者の雇傭を歡迎するといふ僱主達の手許に送り込まれる釋放の先づ全部が、その在刑中、當局者の間斷なく全力を注いでゐる反動的カルトの鑄型に、意識的に又は無意識の間に格好良く嵌り込んだ者、といふ認定濟みの者等はかりたからである故にそれらの者の就職する會社、若くは工場等に勞資間の經濟的紛爭でも惹き起つた際、イの一番に罷業破りのスタートを切るのはそれらの前科者の面々であると斷ずるのに私は憚らない。

序に、現段階における反動團體構成分子の半數位が前科者であり時々罷業破り用心棒のエキストラに雇はれ兄弟牆に鬩ぐの醜態を演ずる「自由勞働者」の過半が同じく前科者であるといふことを付記して置く。

尤も當局者が受刑中の者に對する頗る巧妙なる反動的カルトの必

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要は、無論、右に述べた如く釋放後の彼等をしてブルジョア陣營擁護の走狗に利用せんとするの意味も含んでゐるではあらうがさうした當局者の意圖は寧ろ第二義的に位するものであつて、それよりも現行行刑政策の眼目である受刑者搾取の目的遂行をより完全ならしめんがための手段が主であると見るのが至當であらう。

そんなら當局はどんな方法の下に、刑務所において受刑者反動化の手段が講ぜられてゐるか。項を改めて述べる。

二

刑務所の中で、よく受刑者相互間が密々話して話題に上る次のやうな意味の小話がある。

「二人連れの母子が高い塀に圍まれた刑務所の傍を通りかゝつたとき、足を停めた幼児がその母の袖を牽き「この塀の中には何がゐるの」と云ふ問ひを發したとき母は「この中には大泥棒の手に捕まつた小泥棒達が大勢押し込められてゐる」云々と答へた」といふ小話である。かう云ふ話しに異様の眼を輝かしながら話し興じてゐる受刑者の腦裡に往き來する大泥棒の手に捕へられた小泥棒？といふたとへそれが已れ達の身世を中心にする現社會に對する、政治的並びに經濟上の明確なる意識の批判點からの「刑罰觀」のそれであるか、或は「犯罪」といふ過去の行爲の結果としての「受刑」といふ現在の境遇に對する朦氣なる自覺のそれであるか、の穿鑿は姑く別として、刑務所において受刑者の話題に上る右の小話は資本主義及強權主義社會における「刑罰制度」の本體を極めて簡單に、そして意味深く表現し得た至言であるとして玩味するには充分足ると同時にロンブロゾーやケトレー等の論中に屢々現はれてゐる「根本的な社會制度の改變に俟たなければ犯罪者の根滅は期し難い」云々といふ意味の言も、一面から見るときは、右に述べた大泥棒意識把持者對社會關係の意義を別途から裏書せる言であるとも見ることが出來る。

それと同じやうに「搾取と泥棒とは結局同じものである」と、誰やらが云つた如く、只前者にあつては潤澤なる資本の運用と、有力なる社會權への苟合或は社會的勢力の把握とを根據とし、後者にあつてはその出發點において經濟力の皆無と社會的教養の不足と、腦の容積の輕重と、その決行の方法が比較的拙劣であつたといふ程度の上の差こそあれ、不勞所得の經濟力搾取といふ結果においてはいづれも五十歩百歩の親戚關係である。

此處では犯行の目的及動機を個人若くは一集團に對する經濟力の破壞、掠奪、騙取等に原因をおく者――總括して「經濟的犯罪者」とでも呼んでおかう――主とし、他の受刑者全數中の極く少數を占むるこれとは正反對の目的及動機に原因をおく經濟上並びに政治上の思想犯、或は、過失若くは病的疾患に原因をおく性犯行、又は傷害殺人等のそれらを除外する。

前陳の如く刑罰そのものに對して、明瞭不明瞭の程度の差こそあれ、何れも大泥棒の手に捕へられた小泥棒意識の所持者である受刑

者の大多數に對し、矛盾とも誤錯ともいいやうのない「犯罪者の改悔善導」といふ表幟の下に、陳腐極まる勸善懲惡主義や、改過遷善主義の月並手段を以て所謂改悔遷善の期待を望んだところで恰度道樂親爺が道樂息子への意見と同樣何等の効果のあるべき筈のないことは言ふまでもないことであつて、さりとて威嚇拷問の強壓手段につつてその「矛盾せる反省」を強いたところで「さうせかうなり」や北海道と定め市ケ谷監獄假の宿」云々の捨鉢氣分の助長を促す位いが落ちであらう、といふことも既にさうした拷問や威嚇の壓制手段を一般に行使せる時代に（表面では〆分上受刑者に對する威嚇拷問の直接行動は禁ぜられてゐることゝ故對社會的には極秘の裡に行つてゐたことは無論である）幾多の狂暴なるピス健達を社會に送り出した經驗もあり、さうした著名な群小のピス健とまでは行かぬまでも、壓制や拷問の手前だけはその痛苦から逃れ得る便法として、表面上柔順と改悛を裝ふてはゐるが「今に見ろ」といふ復讐と反抗と呪咀との兇暴性を内部的に壓縮して居り、さうした壓縮せる兇暴な潜在意識が比較的自由な社會生活に放り出された後に、その生活の上に有形無形の姿となつて現はれ出で、全社會面には何等かの波紋を惹き起した筈である事も將來起すであらう事も容易に想像される事でもある故、前陳の如く、恰度内面生活においては、埒滿と惡辣の限りを盡しながら一度愚男愚女の前に立つに及んでは俄に端厳の相を裝ふて世の教化を說く罪僧流の口吻を以て大泥棒に捕へられた小泥棒的意識の所持者である受刑者に向つてその改悛を迫つたところで冷笑と揚足とりの批評以外、何等の効果も期待出來ないし、といつて壓制拷問の強壓手段に訴へたところで、これまた既に述べたる如く、反撥的に兇暴性の激動を唆るに過ぎないといふ、刑事政策の表看の期待に背く結果を誘出せしめたのでは、對社會の手前もあり斯うしたジレンマから脫出する方法として案出したのが受刑者の搾取と反動化の二方法であらう。それは受刑といふ不自由極まる境遇裡にある者の必然的要求として全受刑者の腦裡に激しい欲動を惹き起してゐる衣食住の給與に頗る巧妙なる手加減を施し、恰度南極地方にあるといふ、車端の一角より吊し下げた一塊の肉片に猛烈なる食欲を唆られ、その肉片を喰はんとして本能的に步を運ぶ中、いつしかその肢體に括付けてある重荷を牽引して行くといふ犬車の「犬」の如く、一人前以上何割の作業能率を昂めた者には日に何回副食物の增給をしてやるとか、入浴の回數を何囘增してやらうとか、作業賞與金を日に何割か多く與へてやらうとか等々の所謂階級處遇規と稱する好餌を以て巧に經濟的搾取の第一段の目的を達し、斯うした好餌に釣られる受刑者にあつては不知の間に、過度の勞作による多量なカロリーの消失によつて體質上に生理的の變化を惹き起し、二三の本能的な欲情を除く以外の（内面的な意識の活動が漸時鈍くなり、六ケ月乃至一年位を經る中には精神力の能さが全く單純なものとなつてしまう――のが先づ受刑者の大部分であると見ることが出來る。就中生來脆弱な體質の受刑者などは極めて短期間の中に、内面的には全く拔け殼同然の者とされてしまう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯うした、受刑者個々の内面に起る精神活動の單純化は、彼等當局者の要望措く能はざる即ち第二段の目的であつて、その虚の乗ずる「精神的訓育」と稱する拔け目のない方法が頗る綿密な計畫の下に、教誨師とよぶ刑獄坊主等の宗教的去勢手段と相俟つて受刑者の感動に全力を注いでゐるのである。

二三の例を擧げて見ると「荒み切つたる受刑者の品性を教化向上せしめ、他面においては、實際的社會の圏内より嚴重に隔絶せる刑務所といふ一廓内に監禁しておく受刑者に對し、彼等が釋放後社會歸住の際の豫備智識を涵養せしむるため移り行く世相の概況を知らしむる」云々といふスローガンの下に刑務協會より（行刑事務研究改善の補助機關であつて司法省内にある）發行してゐる雜誌の紙面を埋めてゐる記事といふ記事の總てが、軍國主義やら資本主義或は國粹主義等の宣傳或は讚讀に終始する文字羅列のものであつて、これは全國を通じ（植民地を含む）一般受刑者に閲覽せしめてゐる。受刑者の大多數もまた「世相の一端を窺ひ得る」といふ好奇に牽かれかなり熱心に讀んでゐるやうでもあり、生活が單調であるといふ故もあらうが同雜誌の配給日などは指折數へて待つてゐるやうな狀況にある。それと同似の刺戟を受刑者の腦裡に印してゐるのが、刑務所より受刑者へと貸下する官本の看讀による不知の間の感化であつて（私本の看讀は未決收容者及特別處遇者を除く以外の受刑者には絶對に許可せぬ方針をとつてゐる）先づ刑務所に藏してゐる書籍の殆んどが、これまた軍國、國粹、資本主義等の宣傳、讚議の文字羅列のものか、同樣の意義を御用文士等の筆端によつて巧妙に粉飾せる小說、講談物の類か、諦め主義や屈從主義を高調せる宗教本の類であつて、受刑者の中には、兎角カルトの足りない人々に通有な不定見な智識慾の衝動に驅られて、さうした御用本を無批判に熱讀するといふ不心得な者等もあるが先づ受刑者の大多數は、月に二回乃至三回位にある休役日の長い一日を、狹隘な居房に屏置され他囚との交談も出來ず、同時に居睡りも禁ぜられ、一定の時間以外には膝も崩されないといふ（最も雜居房獨居者達にあつては巡廻看守の目を盜すんでの密々話しや居睡り位は甚だしいのになると、鼻唄や手踊などもかなり巧妙にやつてのける勇敢分子もある）兎に角、長い窮屈なしかも苦痛まで伴ふ休業日の退屈凌ぎに「本でも讀んで見やう」といふ動機からの書見が多い。かたさへ、退屈凌ぎのそれからの讀書であつても、反復して讀んでゐる中には、いつしか批判的の皆無に等しい、觀察力の鈍い、受刑者の腦裡に何等かの印象を刻し、遂には彼等の心理上に當局者の企求してゐる反動的氣分の濃厚な變化を惹き起して來る、といふやうな事は見易い道理であつて「統計をとるに受刑者の大部分は保守的な反動的氣分の濃厚な者等である」といふ誰やらの所論を如實に立證する結果が現出してくるわけである。

右に述べやうな行刑當路者が主力を注いでゐる搾取政策と、それに兩面の關係を結び、釋放後におけるブルジョア陣營擁護の利用をまで考慮に入れた反動的カルトの期待に背く如き逆行に出づる者或

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、行刑設備の不備缺點を指摘して、その改善を刑務所當路者に迫る者とか、或は同様の情苦、又は刑務官吏の私的若くは公務上の醜行を摘發せる訴願なとを行刑當路の上司の許に呈するとかする（實際において、受刑者に對する食糧の給與、衛生設備等その他萬般に亘つて法規通りの處遇をしてゐる刑務所は全國を通じて、先づ皆無と斷じて差し支ない、と共に時折り新聞紙の社會面を賑はす、何々刑務所の××事件なと〻いふ問題も、五十歩百歩の差こそはあれ、何れの刑務所においてもそれと同似の暗黑面はあるやうである）等の當局者に對する所謂不穩のいかい行動に出づる者には寸刻の容赦もなく直に所內における集團生活の圈內から摘み出し「行狀性向不良」或は「改悛の思念毫もなき者」など〻いふ理由の下に獨居拘禁に付されて嚴重な監視を受けるか、次ぎから次ぎへの移監送置によつて放免間際まで、いくつもの刑務所を引き摺り廻はされるかする。（尤も受刑前に職業關係——主として雜誌新聞の記者の如き、或は、思想運動等に從事せる者に對しては、所謂「分類拘禁」と稱する手加減によつて、受刑當初より獨居拘禁に付する方針をとつてゐる）かうした部類に屬する者の釋放後における保護會への被保護の如きも、無論テンデ受け付もしないし、又これらの人々も釋放後に保護會の厄介になりたいなど〻いふケチな考へは毛頭抱いて居ないといふのが普通である。

右に述べたところによつて、釋放者保護會に吸收する者と然らざる者の區別に對する當局の手加減と、それら保護會に收容され、更に社會生活に送り出される者等の殆どが、意識的、或は無意識の間にブル陣營擁護の走狗に養く反動分子であるといふ——即ちそれら「刑余者の社會的經路」の一般が知られること〻思ふ。

以上は主として釋放に際し「直接保護」若くは「間接保護の手を經由する刑余者に對する論述であつたが、今度は筆を換へて、釋放當初より「單獨釋放」の道を辿る者、即ち保護會の厄介にならなかつた者、なりたくつてして貰へなかつた人々の社會生活上の經路に就いて少しばかり述べる。

三

先づ刑を了へて、社會に放たれる日々數百の釋放者全數の過半が「單獨釋者」であつて、それら單獨釋放個々の思想的色分を見ると大體において、約半數位が「意識的の反逆分子」であり、後半は「意識的又は無意識的な反動氣分の持主であると見ることが出來る。

それから、釋放に際し保護會の被保護を拒否する者、又は拒否されて獨行の社會生に還入るこれら單獨釋放者の受刑中における行動を「單獨釋放」といふ統計表中に編入されるの理由は、前項中にも或は前文中にも記しておいた如く、當局者の所謂「行狀性向不良」の者か「作業成績劣等にして事毎に官吏の命令に戻り、改悛の思念毫もなきもの」など〻いふ勇敢なる者か、老衰又は病弱のため、作業成績なども頗る劣等であり、從つて作業賞與金等の所時も少く、保護會に收容して見たところで徒に保護の費用のみ嵩む者であるか

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ら體裁よく放り出してしまおう」といふ取扱ひをうける者があるが、稀にはかなり高額な賞與金などを所持して居るため、敎誨師や、その他の係りの者から甘言を盡しての被保護の歡誘を斥けて、自ら單獨釋放の道を選ぶ者もあるが、これらは「保護會に收容されて窮屈な生活をするよりも、ピヨセくになつてやうやく貰ひ貯めた賞與金で二晩でも三晩でも自由に面白く遊び暮して見て、將來のことはそれからでもなんとかならう」といふ享樂氣分からのそれであつて、先づ僅かの間に有金全部を費ひ果し、享樂の繼續を欲求する餘り、又々「一寸早いところ」をやつて再び元の古巣に歸つてゆく出戻り分子が多いやうである。これらは同じ單獨釋放といふも、數においても極めて少數でもあり、その動機においても或は行動においても一寸異類に屬する者等である故此處で例外として置かう。

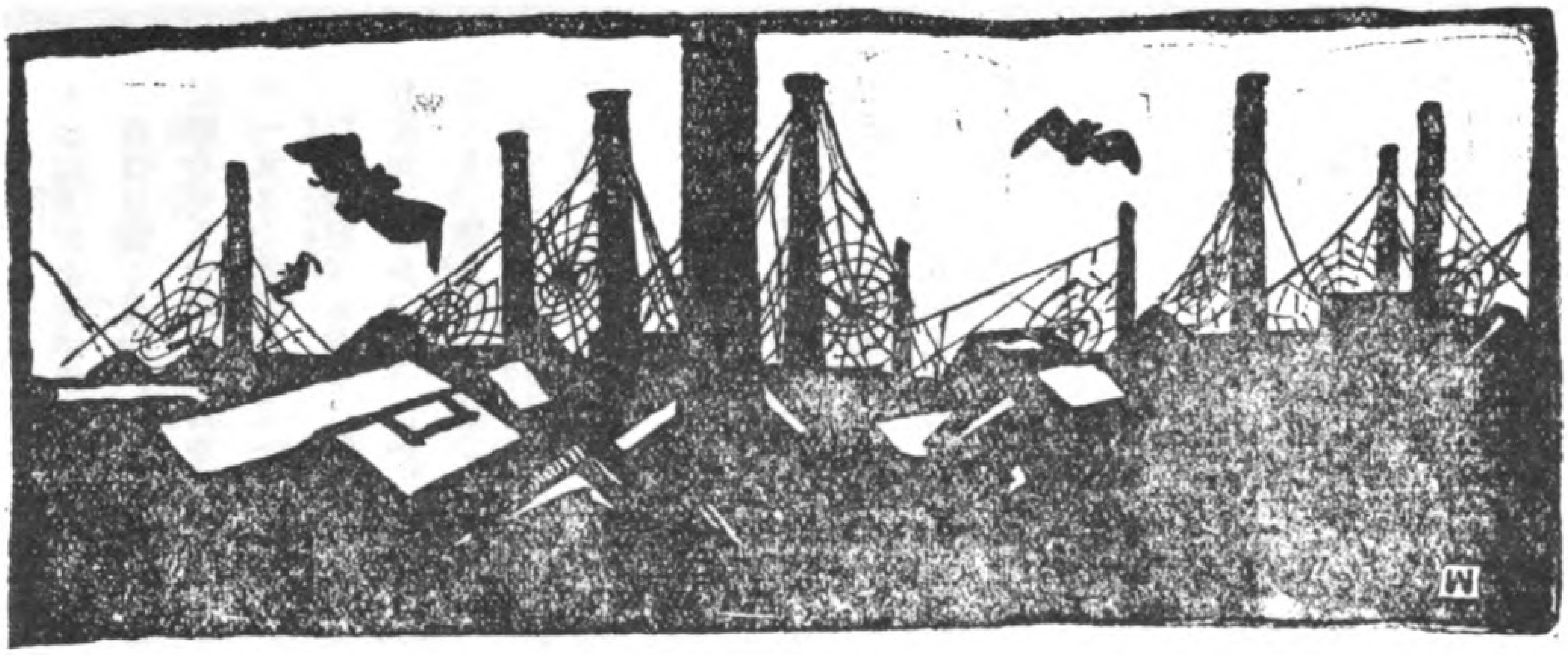
そんなら他の單獨釋放者はどういふ經路を辿つて實際社會の生活保證を求めてゆくか、言ふまでもなく先決要件は就職の問題である。既に前陳の如く前科者といふ經歴が祟つて會社及工場方面への就職が先づ困難であるといふ位置におかれてゐるのであるが、といつて小資本の運用による露店商ひでも始めやうとしたところで、先決問題がその「小資本」である。たとへその受刑中に一人前以上の仕事をして毎月五十錢乃至一圓前後の支給をうける作業賞與金の計算高を所持してゐたところで、一年や二年位ひの短期刑では（受刑滿六ケ月間は作業賞與金の給與はしない）との規定もある故（この規定は現段階における反動階級の領袖山岡萬之助が行刑局長時代に立案實施するものである）全く多寡が知れてゐる、殊に釋放時に際し、衣類その他の調付にもいくらかを費消せねばならないし、釋放後充分とまではゆかぬまでも、受刑のため營養不良や過勞によつて衰弱しきつた身體の靜養に少くとも三四日位は要するであらうし、その間に要する費用も最低限度に見積つたところで一圓前後は要すると見ねばならない、（先づ半數位は、四五日位の靜養どころか、明日の日からの糧に追はれる者等である）かうなると勞作の難易とか、賃銀の多少とかいふ選擇などはする遑なく、焦眉に迫る生活指針を急速に他に向けねばならなくなる。即ち資金も不要で雇傭關係も簡單である自由勞働中の「筋肉勞働」でもやつて見やうといふことになる。

斯うした必然の軌道を辿つて單獨釋放者の群は續々として自由勞働市場へと落ち込んでゆくのである。

果してそんなら是れら刑余者の群は自由勞働市場において生活の安定を求め得られるであらうかどうか。（未完）

× × × ×

進め



創作と特別讀物

憎まれ者

吉田金重

「貧乏人の子供が、學校へはかり通つたつて何になるもんか！」

尋常小學校を卒へた私が、更に高等小學校へ入學しやうとした時、まづ反對したのは嫂であつた。嫂に取つて、私はこの家の餘計者であつた。餘計者の私は、いつまでもこの家にゐて高等小學校までも通ふよりか、早く丁稚奉公でもするか職人の弟子にでもなつて、出て行つた方がましであつた。長兄はそれをいゝとも、惡いともいはなかつた。素知らぬ風に、顏を反向けてゐた。高等小學校へ入學して通ふことよりもむしろ、讀んだり書いたり――とにかく學問の好きな私は嫂を怖ろしく、長兄を慊らなく思ひながらも、誰かに教ひを求めなければならなかつた。自分の可愛い息子のために、唇を噛みしめながら耳を欹てゝゐた母は堪まらなさう、

「何になるもんか……なんて、そんな無茶なことをいふもんぢやない、學校へ通へは通つたたけ德になる」といつた。

「なんの德になるもんか、學校へ通ふて飯が食べられるやうになる譯ぢやあるまいし」

「またそんなことを……またよし學校へ通ふて飯が食べられるやうにならないにしても、これからの子供はせめて高等小學校ぐらひは卒業させとかなきや……」

「ふん、仰しやいますあ……そんなこたあこちとらのいふことぢやなくて、岩井のやうな分限者のいふことぢや、金や田地をあり餘るほど持つて、働かずにでも食べて行けるやうなお大盡のいふことぢや……それよりか鍛冶さんなんか當さんのやうに大工の弟子にでもなるか、町の吳服屋へ丁稚奉公で

もした方がよつぽどましぢや」

嫂は口賢く母をいひくるめてしまつた。氣に弱い母はいつかな險に涙を光らせながら口を噤んで父の方をちらと見やつた。

「父さん僕あの……」

私は歎願するやう、父の顔を覗つた、この上はもう、父に縋るよりほかはなかつた。しかし、父は容易に口を開かなかつた。私は情なくも、苛立たしくなつて來た。

「父さん、僕を學校へ、高等小學校へ入學さしてよ」

「健さんは學校へ／＼といふが學校へ通つて一體何になるつもりなんぢや？」

嫂の眼は鋭く、私の要求を咎め詰つた。それを怖ろしさうに見上げた私の視線は、そのまゝ嫂の胸のあたりにおりた。そこには食後の豐滿になつた乳房を啣んで、心持好くすや／＼と眠つてゐる者があつた。いつも學校から歸つて來た私の脊中に縛りつけられながら、膝のあたりに毎度のやう生温い小便をいばりかけ、心地惡くさぼさぼゞ濡れしよぼらしてギャー／＼と泣き立てる——私に取つては嫉ひな／＼姪があつた。さうたその竹子と、母のつい脇に胸のあたりから、膝のあたりに飯粒をぼろ／＼撒きこぼしながら、いつまでも／＼茶碗と箸を手離しさうにない松子とこそ、私から學校を、そして一家の愛をさへ奪つて行く厭はしい存在なのだ。それにしても父は、私のために一言せずにはゐられなかつた。

「まあとにかく入學して見い、健はほかの者とは違ふて讀んだり書いたりすることがすきぢやからな……しかし、うんと勉強するんたぜ」

「はあ、僕はうんと勉強して優等になつて見せて上げるよ」

つい先刻までの憂色はどこへやら、私は雀躍りせんばかりに嬉しくなつて來た。嬉しさの餘り私は、母の顔を見やりながらにこり微笑んだ。

「讀んだり書いたりすることばかり優等になつたて、何になるもんか、貧乏人の子供はやつぱり貧乏人の子供ぢや」

嫂は呟きながらふて／＼しく坐を立つと、竹子をそこへ投げやつて置いて、長兄と肩を並べて野良に出かけた。

五十戸ばかりのこの小さい字から、今年の春村立のM小學校を卒へて、I村にある共立のN高等小學校へ通ふやうになつたのは私と私の仲のいゝ友達の實三と二人であつた。ほかの學校友達の多くは牛を川堤に追ひ飼つたり、籠を脊負つて山へ草刈りに行つたりした女の子達は家にあつて小さい弟や妹を遊ばせたり、つい隣字へ裁縫の稽古に出かけたりした。

「實三さん學校へ行かうや……」

私は毎朝のやう二丁ばかり離れた友達の家の裏口から聲をかけたすると實三は裸體のまゝ眠い眼をこすり／＼、裏の脇の井戸端へ顔を洗ひに飛び出したり、眞黑い麥飯に茶をかけてさぶ／＼掻き込んたりした。

「健さん待つてくれよう」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

「健さんとこは朝早いんたからの……」

私と實三とのやう、母と仲のいゝ友達のお幸小母さんはにこ〳〵しながら好く、空豆のいつたのを手摑みにくれた。しかし大工の長五郎小父さんはもう、前の空地でゴシゴシ材木を引き切つたりてふなでペサ〳〵はつゝたり、それとも他所へ造作に出かけたりしてゐた。私は私の家よりも小さく、そして世間から貧乏の如く見られながらいつもにこ〳〵顏の父母と、快活な多くの兄弟を持つてゐる實三が羨ましかつた。亞米利加に出稼ぎしてゐる長兄の松太郎、私の母の媒介で嫁入つてゐる長姉の佐代、父の仕事を手助けするといふよりものらくら遊ぶことの好きな次兄の作次郎、母とゝもに畑の耕作に餘念のない次々兄の潮藏——妹のお春はM尋常小學校へ弟の市郎はまた木の片を積んだりして遊んでゐた。ほかの兄姉達が尋常小學校やつと卒へたか、卒へないかにもかゝはらず、實三が高等小學校へ入學するやうになつたのも、亞米利加に出稼ぎしてゐる長兄の松太郎によるのであつた。さうした。實三はいつも襤褸々々を着てゐながら、教科書や筆墨は次から次へと新しく買ひとゝのへた。

私より一つ年上で、脊さへずつと高い實三は、級中の誰よりも活潑であつた。跳ねたり飛んだり冒險ごとの好きな實三はマラソンでも角力でも、ベースボールでもいつもチャンピオンの地位を占めた。

「僕も實三さんのやうになれたらなあ……」

讀本や、習字や、作文などのほかいつも引つ込み思案で、とつちかといへは臆病で優柔不斷な私も、好く考へた。考へはしたが私には、實三の眞似は端片さへ出來なかつた。が實三は決して、自分を他人に強いはしなかつた。喧嘩の仲裁に入つたり、弱い者をかばつたりする實三も、自分から爭ひを求めたことはなかつた。その實三が、私に取つて唯一の保護者であつたことはいふまでもなかつた。

「健さんとこの嫂さんは、惡い奴たなあ……」

字を出はづれて川端に差しかゝつた時、實三は私の家の方を振返りながらふいにいつた。私はぎくッとして、同じく自分の家の方を振り返つたが、そこには何事もなかつた。

「貧乏人の子は學校なんかへ行かない方がいゝんたつて、そんな無茶なことがあるもんかなあ……」

「誰が？そんな無茶なことを……」

「誰がつて、健ちやんとこの嫂さんがいふたんぢやないか、そこら中へ振れ廻つてゐるんぢやないか、そして……」

實三はいつになく憤慨しながら、私の顏を覗き込んだ。私もまた何がそして？なんたらうと實三の顏を瞶つた。

「健さん、用心せんぢやいけんぜ、君とこの嫂さんは惡い奴たから……」

「うん、それや……」

「健さんをひとつとすると、どこかへやつてしまふか分らないとうたからな」

「えツどこへ？」

私は今更ながら身慄ひした。曾て嫂の口からしば〳〵聞かされた言葉を、この仲のいゝ友達の耳を通して聞かなければならなかつたから。

「そこへつて、そんなことは知らんが大工の弟子か、丁稚奉公かにやつてしまひたいんだつてね……そんなことを、あつちこつちへ頼んで廻つてるさうだあ」

「何、頼み廻つてる？」

「お松叔母さんが昨夜、僕のとこへ來てそんなことを話しとつた」私の家の北隣りで駄菓子や、小間物などを商ふお松は實三の父の妹であつた。世間の日常に起る色々な評判や、噂はこの女によつて次から次へと傳はつた。それにしても私は、實三の言葉は身に迫つた事實として、より痛切であつた。

「實三さん、どうしたらいゝだらうなあ？」

「さあ、それや僕にも分らないがなあ……次手に面倒臭いから、そんな嫂さんこそどこかへやつてしまふんだな、それが一番いゝと思ふ……」

「そんな無茶なことを……」

戯謔らしくもない友達の言葉を、私は心持顔を紅らせながら遮つた。しかし、私は前よりも一層憂鬱になりながら、二十丁ばかりの道程を默々と辿つた。辿りながらも私は、すぐ前を何の屈托もなく唱歌を口に歩く實三を如何に羨んだことであらう！

「健さん、君とこにやまた喧嘩をやつとるぜ、早く歸つて見い」

それは翌年の學期試驗のある日のこと、私が實三と學期試驗の問題に就てあれこれ話合ひながら、學校の歸途川端にさしかゝつた時そこに牛を飼つてゐる少年達は口々にいつた。私を間に挾んで母と嫂とのいざこざから、一家の風波の絕へなかつたこの頃、私は今更のやうに胸に動悸を打たせながら三四丁もの道程を一さんに走つたそしてやつと家に辿りつき、今しも入口の閾を跨がうとした私は、

「それほど健が憎くて〳〵ならんのなら、私がつれて出て行くから安心するがえゝ……」といふ、母のいつもになく咽喉を絞るやうな聲を聞いてはツとした。それに對して長兄はもとより、父さへ口を挿はさまなかつた。ひとり祖母の膝に縋りつきながら泣きつゞけるのは、やつとよろよろ歩くやうになつた竹子であつた。

（九十一頁より續く）

彼は芝居は甘かつた。今神奈川縣下で神主をして居るといふ。其處へ吉川守邦外大勢が萬歳々々と連呼しながらやつて來る。爭議に勝つたのだ。石井は子供を失つたが、多數の幸福をよろこんだ。これが筋であつた。女房がシツクリと他と合はず、變なものであつた

又夜間手術することは殆んどない。夜間にしなければ面白くないが、手術は晝と定つてるものだ。夫れを殊更夜間やる所少々無理なやうな事もあるが、其所が芝居なのだらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

嵐を衝いて

土佐和芳

1

空は泣き出しさうに曇つて、吹く風は砂埃をまくし上げて激しい夜が明け切れないので街はまた眠つてゐるやうだつた。

明盲の源公を誘つてやらうと思つた沖仲仕の吉は悪臭の激しい排水堀に沿うて廣ツ場の方へと足を早めた。今朝は早いせいか此處を通る青服の職工達や、法被姿の人足連中の影も折にしか見へない。

「今日も馬鹿に吹きやがるな」彼は折々怨めしさうに空を見上ると呟いた。そして沖が荒てまた仕事にあぶれはせぬかと心配した。

「源公ゐるかへ？」

汚い腐りかけた板橋を渡つて、嫌な臭ひの漲つてゐる路地に入つた吉は、角から三軒目の戸口に首を突込むと荒ツほい聲でおらんだ。

「まア、入つて呉れ」

すぐそれに答へた源公は飯を喰つてゐるらしい。坐敷では子供が火のつくやうに泣いてゐる。

「どうしたんだへ。よく泣いてるたねゑか」

吉はけげんさうに顔をしかめると薄暗いジメ〳〵した土間に入つた。

「仕様がねえよ、嬶の奴は風邪を引きくさるし、子供は泣きやがるし――」

口に一ぱい頬張つた飯を、グイと目を白黒させながら呑込むと、源公は泣くやうな顔を吉に向けた。

吉は急に氣の毒さうに顔を曇らせた。

「乳が出ないと見へるね、可哀想に」

子供は母親の乳房にすがつて乳を吸ふのだが、乳は出ないらしいそれでもひもじいいとみへて子供はやつぱり吸ひ續ける。すると終ひには疲れて泣くのである。

「どうだへ、ミルクでも買つてやつたら？」吉はあまり可哀想なので思はずかう云つた。

「ミルクかへ？」源公はチヨツト言ひ淀んだが「一昨日から時風つゞきで仕事にあふれ通したもん、そんな物を買ふゆといがねえんだよ」とかう云つて彼は急にうなだれた。

「貧乏人が子供を育てるのは容易な事ぢやねえ」吉は彼に同情するかのやうにしんみりさした口調でかう云つて「俺も神戸にゐる時は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二人も死なせたんだよ」と眼をしばたゝきながらバットに火をつけた。

「ほんとにおめえの言ふ通りだ。俺らのやうな貧乏人は一人育てるのも仲々の骨だ」

源公はかう云ひながらどす黒い麦飯を茶碗に盛ると、

「俺らの子供は病氣になりや唯死んで行くだけよ」と、ポロリと茶碗の中へ涙を落した。

戸外は烈風が激しく唸つて、破れ障子は容赦なくガタ／＼と音をたてる。

「今日もまたひどい風ぢやあるまいか?」

二人は盲合したやうにかう云つて顔を見合せた。

やがて飯を喰終つた源公は二三べん苦しさうな咳を續けると土間に下りて

「どうも待たしてすまなかつたな」と、汚い手拭を首へグル／＼巻きつけた。

「おめえも風邪引いてるんだな」

吉は心配さうに源公の顔をのぞいた。

「なに、大した事アねえ」

源公は吉の訊ねて呉れるのを遮るやうにして戸外に出た。急に砂まぢりの寒風は二人の横面を激しく撲つた。源公は續け様苦しさうに咳をした。

「おめえ大丈夫かへ?」

吉はダメを押すやうに尋ねた。

「大丈夫だ、行つて呉れ」源公は苦しい息の中からかう云つて、心配するなと云ふ風に手を振つた。

少時。二人は默し切つたまゝ狭い凸凹の道を濱の方へと急いだ。

2

二人が溜り場へ着くと外の沖仲仕連中はみな集まつてゐた。沖は昨日より以上に荒てゐる。

「こんな日和に休みもあぶれもあるものか」

のんきな奴はこんな事を云つてストーブの側で仰向けになつてねてゐるのもある。隅の方では一錢二錢と出し合つてサイコロを振つてゐるらしく銅貨の音がチヤラ／＼と聞へる。

「どうだへ。向うは明日出帆だと云ふんだからみな集まつたのなら明神丸へ行つたら」

油切つたどす黒い顔の荷役頭は忌々しくバットの吸殻を地べたへ投げつけると集まつてゐる連中を睨みつけるやうにして怒鳴つた。

だがこの時風では小さいランチで沖へ出る事は危險だから誰もが進んで行かうとはしない。

「お前達は行かないと云ふのかへ?」

荷役頭は自分の言つた事が通らないと腹を立てゝ悪魔のやうな形相をした。それでもみな顔見合せる許りで動かない。

「天氣のいゝ時はヲールナイトでも默つてする癖に、今日らのや

うにチヨツト風が吹きや文句つけやがるんだな」
「よしッ！貴樣達アもう文句吐かす事ア出來ねゑぞ？」
一座は水を打つたやうに靜まり返つた。嵐は物凄く唸る。思ひ合したやうにたれもがみなキヨロ〳〵目ばかり光らせた。
「さうたへ、こんな時沖へ行く者をくぢ引にしたら？」
誰云ふ共なく、囁くやうにこんなことが云ひ廣がつた。
「それがいゝや――いゝ案だ」
みな一致したやうに贊成した。
いつも世話好きの吉は木切れを折つて、長短のくぢを頭數だけ造らへて來た。皆我先にと拔いた。短いくぢの方は仕事に出るのであつた。
三十人餘りの中でいよ〳〵二十人だけが行く事に定つた。風邪を引いて熱にうかされてゐる源公はくぢが當つたので泣くやうな顏をした。
「だから今日は大丈夫かと云つたたねえか」
吉はかう云つて可哀想な源公の姿をしみじみと見つめた。
「仕方ねえや。こんな日和に仕事しまいと思へは貧之人に生れて來なけりやいゝんだよ。――さあ、行かう。言ふ程の大した波ぢやねえ」
沖の本船へ行く連中はこんな事を聲高く喋りながらトボ〳〵と歩き出した。
源公は激しい咳をしながら、今は打殺されに行く老牛のやうに悄然と彼等の後に尾いて行つた。

3

沖の本船へ近づくに從つてランチは木の葉のやうに跳返り廻つた。
「何程急く荷役かしらんが、この天氣に積荷が出來るものかへ。――もしもの事があれは俺らの命でも買取つて吳れると云ふのかへ？。」
ランチにゆられながらみな口々にこんな事をぼやいた。だがそれでも船を陸へ引返せとはやう言はない。それだけ彼等は弱い人間達であつた。
源公は魂の拔けた人間のやうに蒼くなつて苦しさうに唸つた。
「大丈夫だ、もう本船へ來たからな」
吉は優しくいたわるやうにかう云つて源公の脊中を何べんとはなしにさすつてやつた。
やがてランチは本船の左舷に橫着けになつた。だが船は前より以上に波の鉢返りで激しく上下した。
「あぶないぞ。タラツプにしつかりすがれ」
甲板でコワタマスターが激しく叫んだ。みな其通りに力を込めてタラツプを攀登つた。
「俺もうしんどくて動かれねえ」人より後れた源公は哀訴するかのやうに、泣顏を吉に向けた。
「このまゝぢや仕方ねえ、まあ元氣出してとにかく本船へ上れ」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

吉はへこたれてゐる源公をはげました。源公はヨロヨロよろけながら危つかしい手つきでタラップの綱を攫つた。

「さあ、早く上つたッ」

吉は今にも倒れさうな源公を叱るやうに云つた。

と、其時だつた。山のやうな鉢返り波のために激しくタラップが上下した。と思ふ拍子に唯さへよろ〳〵してゐる源公はタラップの綱をもぎとられて真逆様に海へ落ッこちて行つた。

居合せた者は急に騒ぎ出したがどうする事も出来ない。甲板からは幾つもブイが投げ込まれたが波が激しいのと、病氣のために身體を痛めてゐるのと両方でブイには、やうすがらなかつた。で其うちに彼の身體は人々の眼から失われてしまつた。

4

どうしても波が治まらないのでみなが陸へ引上げた時分からポツリ〳〵と大粒の雨が降りはじめた。

「沖まで苦しみに出て、源公を殺して來たやうなもんだ」どれもがみな行く時以上に暗く顔を曇らせてこんな事をさゝやきあふた。

そして其うちでも朋輩である吉は今にも泣き出しさうな顔をしてうなだれてゐた。

「親方。一體どうしてやる考へです」

吉は今ぢつとしてゐる場合でないと思つたのか慌てかう云つて荷役頭に喰つてかゝつた。

「どうするつて、仕方がねえたないか」

荷役頭はかう言つたものゝ、やはり苦悶の色が顔一ペイに漲つた。

「源公は死んだんですぜ。あんたの仕事をして」

吉は打殺された友のために拳をふるはせて言つた。

「と、言つてどうすると言ふんだへ」

荷役頭は益々横柄な態度を続けた。

「ヲイ、白はくれたら駄目ですぜ。どうするつて訊つてるたないか、あれにはかかも子もあるんだからな」

吉は今はもう喧嘩腰になつた。

「お前はなんだへ。人足風情で大きな口を利くと承知しねえぞ」

荷役頭は自分の何物かを傷つけられた腹立たしさに聲高く怒鳴つた。

「何だと——畜生ッ？」

吉はかう云つたかと思ふとやにはに荷役頭にしがみついた。

そして少時は激しい格闘をつゞけた。

5

みなに引分けられて吉が外に出た時は陽はずんぶり暮れて篠を突くやうな雨だつた。

それで吉は頭から法被をかぶると源公の家へ走つた。街の電燈は激しい風のために折々明滅してあやふく立止まらねばならなかつた

やがて源公の家の表まで來た吉は障子の破れ目から內部をのぞいてみた。

家の中では相變らず四ツの美代子と母親の胸に喰ひついた赤ン坊とが競爭するやうに泣いてゐた。

「可哀想に」彼はかう思ふと、思はず淚を流した。そして急に今迄の勢ひをくぢかれてしまつて今自分が持つて來た凶報を彼等にしらせたくはなくなつてしまつた。

彼女がこんな事を聞けばどんなに驚くだらう？今日のたつきにさへ追はれてゐる者がどうするだらうか？彼は破れかけた軒の下に立ちあぐんで雨の音を聞きながらにこんな事を思つた、そして何思つたか、又雨の中へ姿を消した。

吉は一體どこへ行くのだらうか？。自分の家へ歸るのだらうか？彼自身にもそれが判らなかつた。だから彼は當もなく雨にぬれながら步いた。

6

長い間雨にぬれながら步いた吉は、今迄から判然とわからなかつた物を今初てのやうに知る事が出來た。

「俺らは今迄苦しめられながら彼奴達のためにのみ生きて來たのだ――そして俺らは何の事もなく唯彼奴に依つて働きの全てをもぎ取られてゐたのだ」

彼は雨の降る中で電柱にもたれてこんな事を呟いた。

「糞だ。今に俺も源公のやうに打殺さて行くんだつたのだ。源公が何よりもいゝ手本だ。だけど俺はそれをどうする事も出來ない。しかし俺はもう我慢が出來ぬ。我々の全てを蹂躙した彼奴を今俺の手でバラにしてやるんだ。――さうではないか。いくら沖仲仕はフランテンとは云へ使つてゐる限りはやつばり使用人だ――だつたら何故する丈けの事をしてやらないんだ。仕事にあやまつて死んだのではないが波にさらはれて死んだのも、やはり惡い天氣もかまはずにやつたからなんだ。――まるで俺達を犬や猫のやうに思つてゐやがるからこんな事になるんだ。畜生ッ」

彼は怒のためにブルブル全身をふるはせて今は無我無中に荷役頭の家を目がけて走つた。

8

嵐を突いてやつて來た吉は、荷役頭の家の戶を荒々しく明けた。

「誰だへ」

それと、すぐ荷役頭は出て來た。

「俺だへ、ひるの話をつけに來たんだ」

吉はかう云つて雄々と立はだかつた。

「何を、生意氣な。貴樣のやうなガキは歸れ」

荷役頭ははげしく叫んだ。

「何だと」吉は全身に力を込めて肉彈を投げつけるやうにみがまへた。

（六十五頁へ續く）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理想郷を造らんとして支那革命に從ふ（三）

福　田　狂　二

呉淞砲臺によりて揚子江艦隊を破る

湖南には程君が居るから、私が行かなくてもよい。上海にある殷君は私をあてにしてゐるので私は再び上海に行く事とした。船の中には避難民が多かつた。上海に着くと直ちに殷君を訪ふた。殷君は呉淞が非常に危險たから、明日呉淞に行つて呉れとの事であつた。當時上海に來てゐた日本の步兵大尉備引弓太郎君等七人を連れて呉淞に行つた。呉淞は上海の入口、揚子江と黃浦江が支那海にそゝぐ中州である。この中州は揚子江の泥土が作つたものらしい呉淞の砲臺と云へは一寸有名な所である。十四五年以前には呉淞の天文臺と云つて東洋第一と稱せられた位のものであつた。上海より十三里、戶數五六百位の小市街ではあるが、東洋を航海する船は必ずこゝに停船せなくてはならない有名な所である。呉淞を稱へば支那を號する事が出來るために昔は軍國主義者の注目する所であつた。

砲臺は二十四珊加農砲、二十八珊榴彈砲が各四門宛据つけられてあつた。白文蔚君が總司令である。白君は清朝時代から軍籍にあつたが夙くから革命に志同志を糾合して、第一革命の起るまでは南京第九鎭三十三標の一軍人に過ぎなかつたが武昌革命の際は鎭江師團長となり、南京總攻擊の際は浦口攻擊の總司令官となりて專任安徽都督にもなつた。此の時は呉淞獨立軍の總司令となつて居た。容貌魁偉で品行端正眞に志士らしい所があつた。北軍が呉淞に向つて主力を注ぐ海軍は海析と云ふ支那第一の戰鬪艦（四千三百噸）を始め巡洋艦（各一千噸位）三隻をもつて攻めたが容易に陷ちない。それもその筈砲兵戰術に自信を有する劉狂民あり、この人の射擊は百發百中殆と空彈はなく海析以下碇を切つて逃た。この人は卽ち私であつた。私は劉と云ふ姓をよく用ひた。支那革命に加はつてゐるには福田と云ふ姓はよくない。支那人らしく支那四億の民衆の代表の積りで劉と云ふ姓を選んた支那では劉と云ふ姓は古來より尊はれてゐるので特にこの姓を用ひた。「狂」はくるふと云つて徹底す

る意味が含まれてゐる。民のために狂ひそして斷頭臺上の露さ消へるか、革命戰術の白骨さ化するか、私のその當時の決心はこうであつた。

海軍は南京に向つたらしい。呉淞は世界における革命家中で第一の戰術家をもつて自惚れてゐる私がゐるから十隻や二十隻の艦隊に等しいやうな軍艦ではさても陷れる事は出來ない。私が官軍の軍艦を追拂つた時の如きは例へ英國の艦隊が來ようとも、日本の艦隊が來ようとも又ネルソンでも東郷大將でも況に恐るゝに足らんやと思つた。海軍が退却したので敵の陸軍は呉淞へ……呉淞へ……さ潮の如くおし寄せて來たのであつた。

陸軍を潰滅せしむ

その時の噂には、呉淞には日本の陸軍大將が援助してゐるから官軍の力ではさても陷ちない。この陸軍の大將は關帝（關羽の事を支那人が尊稱して關帝さ呼んでゐる）の再來たさ支那の苦力等が云つてゐたそうである。これが官軍にも知れたために官軍は五ケ師團の兵をもつて呉淞に押し寄せて來たのであつた。呉淞は三角州の様な處だから、さても一ケ師團の兵すらも來る事は出來ない。これが解らぬ官軍の司令官は誰であつたか名も忘れたが戰術なさは少しも知らぬ。軍人さしての資格のない人であつた。我軍は砲臺より二里前に鐵條網を張つた。この鐵條網も支那の内亂では餘り用ひられた事がなかつたらしい。これは私が上海の日本商人より鐵金を買つて作らしたのであつた。塹壕を築き、出でては時に敵を擊つた。密集せる官軍は二三人死ぬるさ他の兵は驚ろいて潰亂するのであつた。この有様を觀測臺上にあつて雙眼式觀測鏡で見てゐるさ三里位の處が二三町位に見へて、敵の狀勢は手に取る如くである。擊退された敵は鐵條網の一里位の向ふに逃て近付かない。時に機關銃を擊つけれさもその機關銃も二三門位しかない様に見へた。

支那の戰爭は夏になるさ午前十時より午後三時頃迄の間は双方さも休憩する事さなつてゐる。それは正午の前後は砂が燒けて、さても暑くて立つておられない。その時分は木陰か塹壕の中で晝寢をして夜にかけてパチ〳〵射擊をする。夜の七八時頃になるさ増々熾になつて十二時頃迄續いて又休むのである。これは殆ど戰爭中の條約の様なものである。

外國人等でこの戰爭を見に來るものも少くなかつた。上海で一日舟を雇つて呉淞に下り夜の十一時頃迄かへる。支那の戰爭は呑氣なものださ日本の新聞が書いた事があるが、中々呑氣には戰爭は出來ない。命懸けだから却て日本の戰爭よりはつらい。餘り良い武器を與へないし、食事等もいゝ加減なものが與へ、靴でもゲートルでも一ぺん與へたら二年でも三年でも與へない。金もないためにその補充もつかない。長い野戰になるさズボンの膝から切れて跣足で歩かねばならぬ事もある。草鞋をかつぱらつたり、支那人の靴をかつぱらうのも止むを得ない。長い野營は着替が無いからジバンの替りがない。汗は出る汚れはするそれさ同時に虱は無數に湧く。洗濯や着

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ちたボタンを縫ひつけるなんて事は明日をも知れぬ武士の出來る事ではない。先づ一杯の老酒や高粱酒を飲んでこの苦しみを忘れる事だ。支那兵が掠奪すると云ふ事も又仕方のない事である。日本の軍隊ですらあつたと云ふではないか。戰爭と云ふ不道徳がある限り又こんな罪惡も起るのだ。いかに革命戰でも人を殺す事は同じだから掠奪位は止むを得まい。今年支那に起つた掠奪殺人事件等も私は亦止むを得ない事々思つてゐる。それよりも廟堂にあつて軍艦をかぢり機密費を使つたりする奴が余程惡い。

支那の軍隊は革軍にしろ、官軍にしろ、背嚢をもつてゐない。又武器も頭數の半分位しかない。丁度日本の中學生の行軍見たようなものである。半分は鐵砲をもつて半分にはもつてゐない。鐵砲をかつぐものも、かつがぬものも大布敷を背中にしよつてゐる。その中には色々のものが入れられてゐる。先づ余談はこれでやめて戰爭の話しに入らう。

私は敵が一里計り退却したから進むに進まれない。我軍は五六倍もゐる敵軍には到底追擊する事は出來ない。私は氣がついた。加農砲をもつて敵を潰滅せしめ樣と、一門の加農砲を動かし始めた。上海の工場から技師を呼び二日かゝつて砲の方向轉換をした。技師に見込まれて一萬元とられ、七十人の兵が勞力を出して漸く完成した。

時は六月中旬であつたらう。燒ける樣な陽のもとで即ち午後一時頃私は射擊の用意を命じて彈を裝詰した。これは射擊する積りではなかつたが俄に擊ちたくなつたので火藥をつめさせて擊つた。その折敵の兵六七十人を殺傷した事は後で聞いた。その夕方よりこの加農砲を四發擊つたが一發は敵の旅長（旅團長）を殺し、二百人の敵兵を殺傷して戰慄せしめた。一發は楊子浦と云ふアメリカ租界の北端に行きアメリカ人の家屋を潰して問題となつた。アメリカ領事館よりアメリカの陸戰隊が呉淞に來て抗議を申し込んで來た。先づ我軍に對してアメリカ軍は停戰を命じたのであつたが私は官軍が退却せざれば停戰する事は出來ないと彼の要求を斥けた。交渉は中々はかどらず、ためにアメリカ海軍の陸戰隊の中には、呉淞を占領して了へと云ふものも居つたが、私は「武力においては敢て貴國の軍隊は恐るゝに足らず」と大見得を切つた。

北軍は毎日四五發の加農砲を擊つたために遂に退却した。中には退却中に汽車に乘つて逃る途中上海のステーションにおいて各國の義勇隊から武裝を解除された者もあつた。

これによつて北軍は殆ど潰滅した。

身を挺して敵艦を奪ふ

敵のなくなつた私は時には上海に出て久しぶりに日本の宿屋に泊つたり、日本の料理を食ひに行つたりした。上海にある四馬樓の夜と云へば東京の銀座の如き處である。上海の附近では戰爭のあるのに、四馬樓では支那人も外國人も歡樂境に浸つてゐる。私もこの時二三回行つて見た事もある。そして人並の氣分を味はつて見た

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事もある。此の頃米租界の東洋館に日本の海軍大佐大田三十郎君が居つたので、よく私は彼れを訪問した。大田君は日本の海軍部內にあつても有數の人物ではあつたが、海軍の軍閥と快よからず、海軍の大改革を計劃してゐたが、その事を密に友人名和又八郎（海軍大將）に話した處、名和は友人を裏切つて當時の海軍の大御所山本權兵衞に告げたために海軍當局より睨まれて、豫備役に編入されて了つた。大正三年のシーメンス事件に際して、山本權兵衞を首班とする政友會內閣の海軍に對する不正事件をこの大田君が曝露して位階を遂に褫奪された。大田君は未た五十に成らず覇氣があつたから上海に遊んでゐた。その後も能く大田君と話しあつた。孫逸仙に大田君を紹介したのもその頃であつたが、その時孫逸仙も彼れを海軍の顧問にする腹もあつたらしいが宮崎滔天や山田甚三郎等の支那浪人が妨害した爲なれなかつた。この支那浪人は大抵日本の軍閥より金を貰つてゐるので日本の不平家である大田大佐を革命軍の顧問にする事を嫌つた。大田君はかりでなく僕等もどんなに彼等に妨害されたか知れなかつた。それでも我々が實戰において役立つ事によつて、彼等は我々の前には常に恐れを抱いてゐた。

七月の初め上海の殷君より機器局（砲兵工廠）を乘り取るから援助して吳れとの事であつた。總大將は陳其美であつた。陳其美は相當の人物ではあつたが彼が日本人の浪人共と日本人の旅亭で藝者をあげて騷ぐ樣な事はかりするので私は彼を革命家として遇する事は出來なかつた。それで私は吳淞に所屬して居るから行けぬと斷つた。機器局の攻擊は始まつて吳淞よりも步兵二千はかりが派遣された。私は時々この戰爭をフランス租界に出て、觀戰したが、機器局は中々陷ちそうにもなかつた。革命軍が日本の同文書院の裏に隱れたために官軍のために同文書院が燒拂われたのも此の時であつた。

わざわざ殷君が吳淞に來て上海獨立軍が敗けてゐる故是非革命軍のために援助して吳れと白文蔚と共に依賴して來たので愈々乘り出す氣になつた。そこで私はこれを破るのには機關銃の二門や三門ではどうする事も出來ないので私の得意である砲兵軍をもつて攻める事としたが、吳淞の要塞をフランス租界迄もつて行く事は到底出來そうもないので、大田三十郎君に計略を相談した所、官軍のよる機器局の陷らぬのは、官軍が海軍をもつてゐるからであるから、先づ敵の軍艦を奪つて了へとの事であつた。その翌朝、私は支那の舟に乘つて長江艦隊の巡洋艦楚有（七百五十噸）を襲つた。

この軍艦に入るため、私は日本の商人に化て、煙草やお菓子の如きものをもつて忍び込んだ。實際その頃舟の着いた時にはこんな日本人の商人がゐたのであつた。私は山口、田山の兩君と支那人十六人を連れてゐた。この人達は私がその腕力と機敏さを試驗して採用したものである。官軍の軍艦は夜は戰爭して晝間はフランス租界の各國の軍艦の中の安全地帶で休憩してゐた。私達が九時頃敵艦を襲つた際、敵艦に上らんとすると寢とぼけた水兵が誰何したが、私が「艦長は何處か」と怒鳴つたため水兵は無言で艦長室を指差した。私は直に艦長室に這入つて寢臺の上の艦長の襟上を摑

み、用意してゐたモーゼルの一聯發銃を機に乘して威嚇したそして軍艦を革命軍に渡す事を強制した所、彼は直に承諾した。他のものも私と同樣モーゼル一號をもつてゐた。この拳銃はドイツ製で千米突は有効である。日本の騎兵銃と着彈距離は同一で、そしてポケットに入れる事が出來るので非常に都合が好い。この時私は平服であつた。今の言葉で云へば便衣隊であつた。皆が拳銃を擬して百三十名の乘組員を威嚇し、降服したものには一人一人に手錠をはめた。

所謂襲撃の手入れの樣なもので、僅か三十分ばかりの間に敵艦は完全に我軍の手に歸した。この際、敵軍は一名の死者を出し、我軍は僅かに小指を撃たれたものがあつたのみで占領したのである。そうする中に革命軍の平服隊が百人ばかりこの楚有にやつて來た。そこでこの平服隊に迎へられ、楚有には革命軍の旗を揭げて吳淞に出發した。その途中日本の巡洋艦の將校や水兵がこの有樣を見て「しつかり遣りたまへ」と激勵して呉れたが、私が日本人である事を知つてゐたらしい。

吳淞に着いてからは、兵士のみを殘して、全部上陸を命じ、革命軍をもつてこれに代らしめた。この楚有の官軍の艦長であつた魏子浩大佐は私と一緒に上海に行つたが、途中彼の語る所によればもし自分が北軍にかゝれば斬罪に處せられるから、上海の親類の家に逃れ、一生軍人にならぬと云つて居た。私は別れにのぞんで彼は無一物であつたので、金十元を與へた。今この大佐はどうして居る事であらうか。私のために、折角艦長にまで出世したものが僅三十分の間に棒にふつてしまつた。武士の生涯とは云へ、人を切り人を殺すも革命なればこそ、早く我々の理想社會の出現を祈らずにはゐられなかつた。

上海の太田君にこの事を報告した。太田君は支那の軍艦ならばこそ又君ならばこそ軍艦奪取も出來たのだと大いに歡待して、酒を命じて祝つて呉れた。支那の國民黨の人々も七八人ゐて、これに對して太田君は一々紹介して呉れた。福田君は日本に生れたため一の不平家に過ぎないが、支那に生れたならば、關羽や張飛以上だと冗談を云つて、皆呵々と笑つた。酒も廻つてその夜は私は東洋館にその儘寢てしまつた。

中國社會黨首領

私が上海に着いて間もなく中國革命黨の首領江亢虎君に會つた。江君は且つて歐米に學び、社會民主々義を主張して、支那各地に支部を作り、その黨員は七十萬と云はれて居つた。その中には國民黨員であつて革命黨員である人もあつた。黨員はこの革命に對しては割合に無關心であつた。それは古い軍閥が倒れて、新しい軍閥が代るに過ぎぬと思つて居たからであつた。その當時の日本の社會主義者も矢張り同じ思想であつた。社會革命は政治革命と異つてゐると云つてゐた。彼等は政治革命を社會革命に導くと云ふ事を知らない世の中には公式主義で融通のきかぬ人達が多い。座して居て、社會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

革命の來るのを待つと云ふ虫の好い事を考へて居るものはかりた。

私は其の後江君とは數十回會つて語つたがこの人も到底革命家ではない事を知つた。私と一緒に支那に渡つた渡邊政太郎君も支那革命を社會革命に轉化せしめる事については反對して居た。その當時の日本の社會主義者はダ、イスト的で私に云わしむれは駄々子主義的な人達はかりで、堺にせよ、山川にせよ皆無政府主義的思想で、革命的經綸を抱いて居るものは無かつた。一身を賭して運動を仕樣と云ふ人も無かつた。私はこの人達の樣に文章を賣らず、詩を作らず、妙な皮肉を云つてはかり居る事は不平文士の如く厭ぜられ、革命家を裏切る樣な氣がしたので、如何にせは革命を起し得るかとそれのみ考へて居た。それで支那に革命が起れは支那に走り印度に革命が起れは印度に行かんと考へて居たのであつた。

私は無政府主義については少しの興味をも持たなかつたがバクーニンのいかなる暴動にも行つて煽動したと云ふ事に對しては、學ぶべき事であると思つて居た。その後三年にしてロシヤにレーニン起つてロシヤ革命を大成したので、世界には私と同じ事を考へて居る人もあつたと融通の利かぬ公式主義者を嘲笑した。

それはそうとして江君の中國社會黨の組織は決して無駄ではなかつた。その後の中國社會黨は袁世凱によつて解散され、幹部は殺され江尤虎君は米國に逃れた。途中横濱から東京に來て堺君や渡邊君に會つたと云ふ事たが私は丁度田舍に旅行して居たために會ふ事は出來なかつた。それより大正十二三年頃北京にかへつて復辟運動、即ち清朝の再興に參加したために名望全く地に墜ちて今は何處にゐるか知れなくなつた。日本の先覺者片山潛はロシヤに行つてその最後を飾つたが、支那の先覺者江尤虎君は餘りに終りが惡かつた。

私は或日江君の紹介で中國革命黨の漢口支部長何海鳴君に會つた。この人は國民黨員で地位は甚だ低かつたが、しつかりした人であつた。私はこの人と南京に行く事になつた。南京は黃興が三月以來二度獨立させたが二度ながら逃亡した所た。黃君が弱いのではないが從いてゐる支那浪人が惡いと思はれた。支那浪人は前にも云つた如く、日本の參謀本部より金を貰つてゐるから、支那革命の完成などは望んではゐない。清朝を倒した革命の元勳も支那浪人の手によつて日本の軍閥あたりから飜弄されたのたつた。私は黃君に忠告すべく幾度か黃君を訪ねたが、その都度支那浪人のために會ふ事は出來なかつた。そんな風で黃君は遂に南京を捨てたため、私は何海鳴君と南京獨立を計劃したのであつた。（未完）

全國農民組合機關紙
無產農民の輝くたいまつ
月刊 土地と自由 一部五錢
大阪市北區堂島濱通三丁目
發行所 全國農民組合總本部
振替大阪六七七八一番

社會主義運動思出話（其四）

岡　野　辰　之　介

五、堺利彦警視總監となる

少し安賣りなしたナ。も少し自重して貰ひたかつた。今日では總理の器だからナ。などゝ思ふものがあるかも知らぬが、何しろ今から二十年前であつて見れば、そして彼れが四十二の時であつて見れば、警視總監は相當であり、はまり役であつた。

× × ×

彼れ一度權勢地に立つや、引つくゝるわ、打ち込むわ、見事といはうか、亂暴といはうか、國民全部監獄へ送つても厭はないといふ有様であつた。されば彼れの名は上下を戰慄させた。何しろ露の赤テロに據ると、千九百九年には在監四十八萬千百三十七人と註せられ、殆んど之れが革命黨であつて、そして大部分は終身懲役たつたのである。中には千八百八十一年二月に行はれた亞歷山二世の暗殺に加擔した連中、民意黨の連類と、大事件に關係したものが大部分であつたが、夫ればかりでなく チヨット官憲に反抗したといつては十年二十年の刑に處したのであつた。これ警視總監たる彼れの爲す所であつたことは勿論である。尤も上に一代の兇暴首相ストリピンを覗いて居たのは、彼れが此の兇暴を逞うするに最も都合がよかつたのである。

されば赤テロの鋒は先づ彼れに向けられた。何時か魔手が彼れの生命の上に延びなくては止まう。千九百九年の一月（明治四十二年一月）であつた。彼れは警視廳前から馬車に乗らうとした。自動車はマダなかつた。

あのヅングリした身體に變な帽子を冠つて、黒の詰め襟服着、胸にデッカイ勳章をさげて、大玄關を出て來ると、何事もないやうに近づいて來たのは、楚々たる美人であつた。件の美人は此の寒空に眞白の服を纏うてゐる。そして其のポケツトから手早くピストルを取り出し、警視總監を狙つて、

ズドーン

實に目にも止まらぬ早業であつた。

彼は凍つた踏み固められた雪の上に顚倒したらしい。中から多くの警官が飛び出して狙撃者を捕へた。

可笑しいことには、四十二の彼れの眉毛が眞白かつたことゝ、御承知の通り無髯であるのに、矢張り眞白な髭を蓄へて居たことゝた

また可笑しいことは澤山ある。狙撃者の夏仕度も不自然であれば彼れが毛皮の外套位着て居なかつたことは、如何にも變之であつたとはいへ、チヨツト時候を超越し過ぎて居た。

不自然で、無格好であつたのも道理、これも明治四十二年一月神田三崎町吉田屋でやつた金曜會新年會の餘興の一ぐさりなのだもの諷刺に書いた山川の首縊りの次に演ぜられたので、顔に赤い粉を塗りお花見用の附け髭をつけ、眉毛と兩方を白粉で塗つたのであつた。

警視總監ではあるが日本のではなくて、露西亞のであることはいふまでもなく、その名はプロトポプフであつたと思ふ。狙撃者は誰あらう堺爲子で、これは脊が高くて長面であつたから、露西亞人に成つてゐたが、亭主に至つては曾我廼家蝶六がお巡査さんになつたやうだつた。狙撃者は革命婦人ブレスコウスカヤだつたと思ふが、其の洋服は加治時次郎夫人崎子の方のを借りて來たのであつた。今なら婦人洋服は何處でも手に入るが、其の頃之れを持つてゐるものは、ヤンゴトなき方々は知らず、平民では先づ見當らなかつた。然るに加治夫人は一兩年亭主と一所に歐米を漫遊したので洋服を持つて居たのだ。

總監の勳章といふのが振つてゐた。直徑五寸もあるカレンダーで、中にスターが出來てゐて、それを廻すことに依つて一ケ月中の七曜が分るものであつた。金屬製でメツキがしてあるものだからピカピカ光つて、夫れにマグネシユームが映ずるゝ本物よりも立派であつた。

彼れをして之れを演ぜしむるには、青年達は非常なる骨を折つた。慫慂百端といふ有樣であつたが、結局山川が首縊りをやるなら、己れも警視總監をやらうといふことに成つて、トウ〳〵二人を承諾させたのである。

兩方とも一世一代であつた。其の年の夏赤旗事件といふが起る。一年ばかりして大逆事件となり、もう道化心を起して居る遑はなくなつた。それからヅツと大正の中頃までは、鳴りを鎭めて居たのであるが、社會主義勃興時代となつて再び道化心が起つた。イヤ藝術が起つた。イヤ常に持つてゐた藝術心が、機會を得て實地にやつて見たくてタマらなくなつた。

六、服部濱次の葬儀屋

家は區劃整理で取拂はれる。洋服屋は繁昌せず、食つて行かれないで葬儀屋に、商賣替へしたと早合點してくれては困る。大正九年一月平民倶樂部でやつた新年會で、落語劇を二場演じた其の主役になつたのである。

職人らしいのが、板をけづつては箱を造つて居る。服部が夫れを鞭撻しながら、なた豆煙管でスパスパ、ポン〳〵やつてゐる。

位牌が二三基ある。白木のなら聞こえるが、戒名が書いてあつたのはチト妙だつた。所へ棺桶の註文が來る。二人連れた。昔から斯うした使者は二人ときまつたもの、今でも片田舍へ行くと、切り即

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しの草鞋はきが二人揃つて行けば、不幸の知らせにきまつて居る。唯、從つてるのは一人を入口の、然も話の聞こえぬ邊へ待たして置いて、一人だけ店へ入つて來た。

「彼奴の叔父が死んだので、棺桶を註文に來たんです」と桶の値段を聞き、直ぐ出來ますかなどゝ念を押し、それから「彼奴少し低脳ですから、親方が棺桶を送つてくれぬと、叔父の死體をドウしやうツテ、今朝泣いてるんです。で、何もいはないで「引受けた」と一言いつて下さいネ親方何もこんなこといつた所が彼奴低脳で分らないんですから、唯、「ヨシ引受けた」とだけ、ドウか頼みますよ。今呼びますから……」

「エ、お易い御用で。へ」と服部がいふ。

待つてた奴が這入つて來る。

「へエよろしう御座います。たしかに御引受けいたしました。モウ少しお待ち下さい」と馬鹿に叮嚀に挨拶する。

「夫れぢやドウか頼みます」と前に這入つて來たのが出て行きながらチヨツト低脳を小招ぎして連れ出す。

「毎度アリがたう御座います」と服部が送り出す。

前に這入つたのが小陰で低脳にいふ。

「ア、云つて引受けて呉れたんだから、大丈夫だから、モ少し待つて居て呉れたまへ。金は十五圓といつて置いたから、昔氣質で引受けたからには、七八置いても作つて呉れるんだからネ」

「ヘア、そうですか、どうも御迷惑かけて濟みません」と低脳がいふ。

「夫れぢや失敬するよ。どうも濟まなかつたネ。左樣ナラ」

「左樣なら」

「左樣なら」

低脳が殘る。直ぐ店へ行く。

「親方如何でせう？」

モヂ／＼しながら低脳がいふ。

「へ、御待たせしました。出來ました」といつて服部が棺桶を持ち出す。

「親方冗談ぢやありませんよ。お金ですよ」

「お金は三圓五十錢です」「十五圓と申しはしませんか？」

「三圓五十圓に勉強して置きます」

「可笑しいナ、アナタは今の方の叔父さんぢやありませんか？」

「赤の他人だ。お前は一體何んだネ。己れの店を素見に來たのか？」

「イエ、アノ方が素見に來たんです。昨夜、ワツシがお勵めして上がつて貰つたんですが一文も無いんで、今日ついて來ましたんです。そしてアメタが叔父だから、こしらへて貰ふといつたんです」

「馬鹿いへ。名前も知らないものだ。お前は吉原の妓夫太郎なのか？」

「エ、さうです、たつて親方先つき確かにお引受けしました、といつたぢやありませんか。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

「それは先つきの野郎がお前の叔父が死んたんたがお前が低脳で棺桶が出來なかつたら、ドウしやうと泣いてるから、何もいはずに唯一言引受けたといつて呉れと頼むから、それでいつてやつたんた。ドウして呉れるんでエ、此の棺桶はワザワザこしらへたんた、持つて行きねへ。」

「たつて親方、これを持つて市中を歩けはしないぢやありませんか？」

「イケねへ、イケねへ、跳ひて小便されちや此方が立つて行かねえ。」

「メッテ、困つたナ、困つたナ、困つたナ」

と不承無承棺桶を持ち出す。

「オイ代を置いて行つてくんな」

「一文もないんなら馬をつけてやるからよい。」

「オイ助どん此の男と一所に行つて代を貰つて來な」と番頭（石井鐵）を呼び、低脳について行かせる。夫れで落ち。

何しろ舞臺がチヤンと出來て居たんで、高い所で服部が汗を流してタンカを切る圖たらなかつた。然し甘いもんた。洋服屋をさせて置くより、高座に上らせたらと思つた。其の時の登場人物の名を殆んど逸した。知つてる方は知らせてほしい

七、新劇「停電」

これも同夜の出しものゝ一つ。これはチヤンと脚本が出來て居たのであるが、今逸してない。登場人物や荒筋を書く。

登場人物（劇の人名を失したから俳優の本名で行く。）

電燈工夫	石井鐵次
數　醫者	岩佐作太郎
女　房	失　名　氏
隣りの女房	岡千代彦
電燈工夫多勢	吉川守邦外數名
舞臺監督	吉本俊吉
舞臺裝置	望月桂

荒　筋

石井鐵二の子が死にそうたが石井は電燈會社の爭議の張本であるから、家へは碌に歸らずに活動してゐる。女房が頻りに心配しながら看病してゐる。

隣りの女房の岡千代子が見舞に來て、子供の病氣の事や、電燈會社の爭議の事を語り合ふ。何んでも愈々罫算が立たなければ、東京市中を闇にしてしまうんたといふ話をして居る。其處へ醫者が來て病人を見る。盲腸炎で直ぐ手術しなければ死んでしまふといふ。そして女房の同意を待つて手術に取り掛かる。手附の惡い醫者たし、消毒も何もあつたものではないから、手術が濟んだら化膿しなければよいがと心配させられた。

アラッ！手術中はで電燈が消へた。いよく爭議は惡化した。手術は續けなければならない。家中探して蠟燭を見付け、何とか縫付けはしたが、そんな具合で經過のよからう筈はない。子供は死ぬ石井が歸つて來て男泣きに泣く。（七十六頁に續る）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯ノート

◆清新の秋を迎へて、本誌も又面目一新の飛躍をせねばならない。既成政黨の分解作用が盛んに行はれてゐるが、これは支配階級の足並の亂れたる事を表現するもの ではない。無産階級陣營の强力な力が集中 されつゝある事を示すものである。之に反して、無産階級の分裂は、自らの力を分散する以外に何等得るところがない。吾等は之をなげく。

◆この時、戰線統一問題に就いて組合同盟の望月氏、上條氏、日勞黨關西事務所の岩崎氏全國農民組合の兩氏の寄稿を得たる 事を喜ぶ「問題の解說」は今後必ず二つ三つ位新しい問題を捉へて載せる事にした。富山電燈爭議の聲明書は當地の支局である 中島安太郎氏よりわざわざ調査して送られたもの であつて、貴重なる參考資料たるを失はない。東京市會の腐敗愈々出でゝ愈々腐敗せる時、日勞黨の調査にかゝはる東京市の醜惡史を 掲げる事は無駄な事ではあるまい。

麻田狂二氏の「無産政黨とは何ぞや」は選擧の時の挨拶狀そのまゝである。同氏もその事を斷つておられるが、編輯部がその責任を負ふつもりである。特別讀物は愈々佳境に入る。

◆今月から七半ポイントで二十二行にした。紙面に明るい感じが出る事と思ふ。

◆投書と戰報をどしどし送つてくれ。毎月編輯部の机の上に山積するほど送れ。表紙の應募が四五あつたが適當なものがない。讀者大多數の希望で八月號の樣にした。それから、廣告の一に三行廣告欄をもうけたからどしどし申込んでくれ、それから、每度乍ら云ふ事だが「進め」は一部の者の私有物ではない。實に大衆のものである。たから惡い點は勿論あらゆる批評を送つて貰ひたい。そうする事によつて「進め」は愈々大衆の物になるだろう。

◆「進め讀者はこうして鬪ふのだ」は進め讀者の行動の基準を示したものである。筆者もそう云つておられるが、編輯部の方でも不充分なものだと思ふ。大衆的討議を求むるものだ。筆者は山陰の支局をしてゐる人で全國農民組合の若き鬪士である。

定價

一部	二十錢	郵稅一錢
半年	一圓二十錢	郵稅六錢
一年	二圓四十錢	郵稅十二錢

◇誌代は總て前金拂込の事
◇成る可く振替で送金の事
◇郵劵代用は必ず一割增の事
◇住所姓名は明かに書く事
◇支局は十日迄に拂込む事

無産階級戰鬪雜誌 進め 每月一回一日發行

東京市麴町區内幸町一ノ五
發行所 進め社本部
振替東京六九八五三番

發行編輯兼印刷人 神庭仲之助
大阪市東淀川區十三西ノ町一三一
大阪事務所

廣告料

一等 三百圓	二等 二百圓
三等百五十圓	四等 百圓

大賣捌

東京 東京堂 東海堂 北隆館
大阪 大東館 盛文堂 大盛社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

喜谷實母散

金銀白金

徳

徳力商店

東京神田松田町

神 電

25 { 216.235 / 221.976 / 450. 御客用 }

讀め社會民衆黨を支持する

月刊

日本民衆新聞

一部五錢
二十日發行

發行所

東京市芝區三田四國町二の六
日本民衆新聞社
電話高輪三二九〇
振替東京七〇二一

無産大衆の戰闘的政治新聞

月刊

日本勞農新聞

讀め!! 眞の無産政治新聞を!

定價 一部五錢 一ケ年 一圓五十錢

日本勞農新聞社

東京芝公園五號地
振替東京四六六四九番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

多摩川原遊園地

京王閣設備

大浴場（モントサン）
薬湯（ラヂオカルク）
トルコ風呂
兒童遊戲室
音樂室
美容室
喫茶室
ピンポン臺
大休憩室

個人風呂
客室
撞球室
碁將棋室
大食堂
大休憩室

メリーゴーランド
スベリ臺付徒渉池
遊舟池
豆自動車
庭球コート
和食堂
活動寫眞館
プール
迷園

各種運動器具
納涼臺
展望臺
望遠鏡
サンルーム
バルコニー
自由食堂

京王電車

電話四谷三一三三一四

尾崎行雄先生序

新使命主筆 高野清八郎著

無產階級の新政策

痛切なる現代の要求を滿たす空前の大快著

次の內容を見よ。。。。。。

◇悲慘なる生活難と亡國を救ふ政策
◇富豪を保護し貧民虐めの我財政
◇實際は貧民の納める我國の直接税
◇何億の大會社も廿萬圓は納税せぬ
◇奇怪なる貧民と富豪の納税額
◇國民の階級別と財產所有の割合
◇富豪財閥が國家から取り返す金額
◇貧民の膏血を絞つて富豪に補助
◇國民生活を安定せしむる根本策
◇無產者の强唱すべき消費税全廢
◇日常必需品を暴騰せしめる關税
◇關税は全く財閥に暴利獲得策
◇勞働者の爲めに朝飯無税政策を
◇財閥保護の爲めに衰滅する我國運
◇國家の金を情實の爲めに濫費してゐる事實

◇二重の不利を防ぎ官營斷行の必要
◇財政改革の根本原則
◇課税の新學理
◇貧民と富豪の納税割合の學理
◇英國の廿分の一しか納税せぬ
◇日英兩國の所得税額
◇アイドルクラス（遊食階級）打破政策
◇日英兩國の相續税比較
◇財政大整理の必要
◇國費を半額に減じた米國
◇英國財政の大整理
◇非常なる英斷を行ふ英國と我國政
◇國費を半減し社會政策を行ふ
◇財政を半減したムッソリーニ氏
◇世界の趨勢に逆行した我國政

◇我國財政の膨脹する趨勢
◇國民負擔の激減する實況
◇國債の益々增大する趨勢
◇借金で亡滅する國を救ふ政策
◇フィリップスノーデン氏の新學說
◇悲慘なる我國民生活の現狀
◇生活難の爲めに自殺する人數
◇不良少年も貧困が原因
◇社會政策實行の急務
◇寡婦孤兒等の救濟策
◇遊食者に與ふる恩給を大整理
◇十五億の新財源を得る政策
◇無產階級最大の使命

●附錄● 普選法全文、同選擧區別表

◇理論鬪爭に沒頭せる、現代の學者、思想家を冷罵して深刻なる「生活不安」を救ふ、實際政治上に於ける政策の最高權威

定價金五拾錢　送料金四錢

◇◇！各書店は全部賣切れの所、愈々八版發行、驚く可き大賣れ行き！

發行 東京市麹町區內山下町一ノ一 振替東京六九〇六九番 電話銀座(57)三七九三番 新使命社

發賣 東京神田通神保町 電話神田三五五八番 上田屋　大阪 盛文館（丸ビル內、富山房書店にあり）

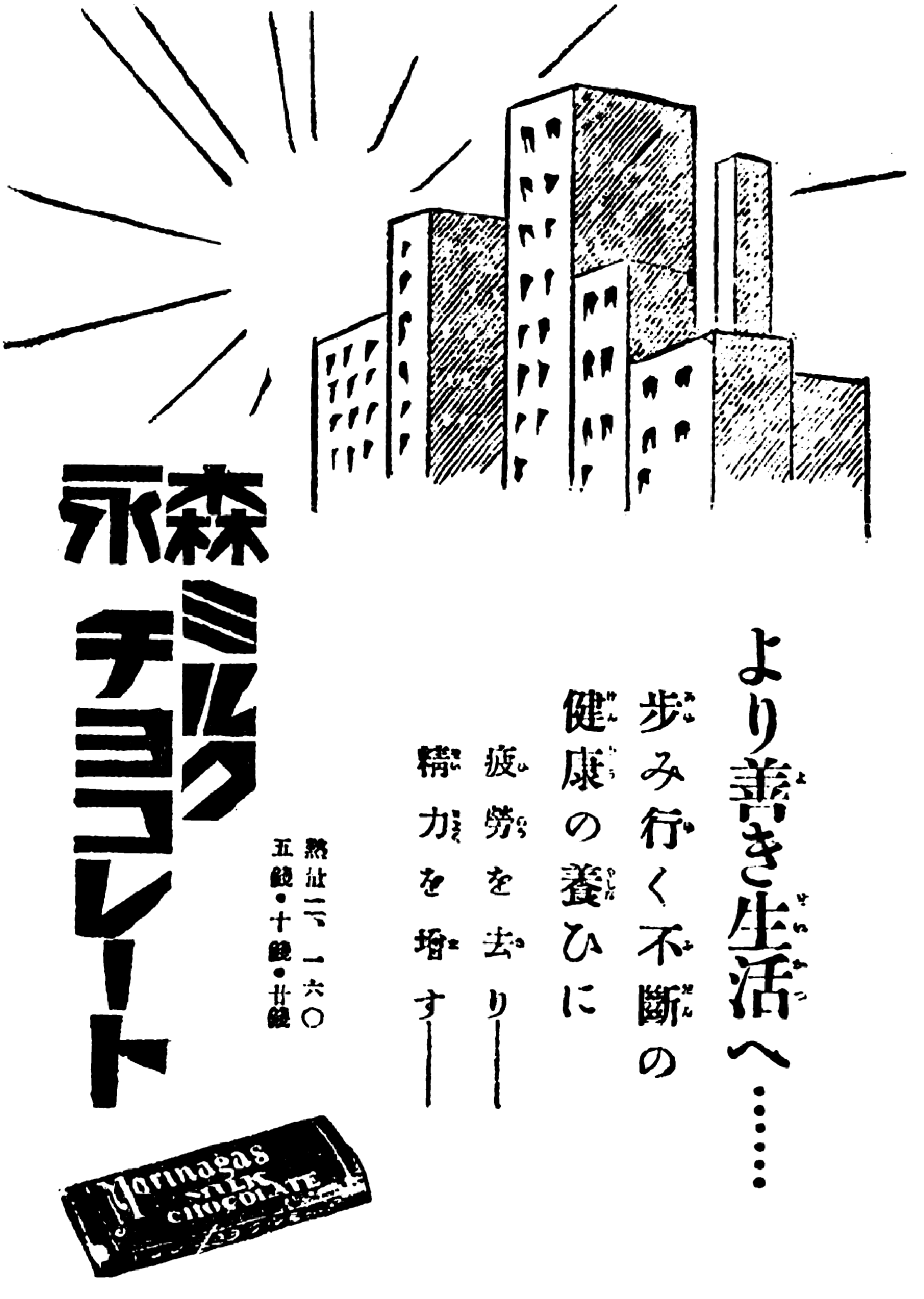
東京上野　良品廉賣　銀座

松阪屋

大阪　日本橋　實用百貨　名古屋

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



C-3

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Su-su-me- The Socialism Monthly. Vol. 6 No. 10
Head office; 1. Uchisaiwaicho, Kojimachi, Tokyo, Japan. Oct. 1928.

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年十月一日發行　昭和三年九月二十八日印刷納本

金言　平和は友誼の父なり（西諺）

○歯の爲に一番よい
仁丹のハミガキ

小粒仁丹
◉高貴薬サフランを倍加して特製す
大粒仁丹は叢に改正し常備護身薬として益々愛用せらる

日・英・米・佛專賣品
仁丹歯ブラシ

第六年・第十號　定價二十錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN